

# 第 22 回市民意識調査結果報告書

平成 30 年 1 月

盛 岡 市

# 目 次

I	事業の概要	1
II	調査結果と考察	
テーマ1	広報もりおかについて	
問1	広報紙を読む頻度	3
問2	広報紙を読む範囲	5
問3	広報紙に対する満足度	7
問4	広報紙の大きさ	9
問5	充実を希望する掲載内容	11
問6	市政の情報を得るために利用している媒体	14
テーマ2	中心市街地活性化について	
問7	中心市街地の魅力	17
問8	中心市街地に対するイメージ	20
問9	中心市街地のあるべき姿	23
問10	中心市街地の魅力を高めるために必要なこと	26
問11	5年前の中心市街地との比較	31
問12	飲食・買い物に出かける回数	33
問13	中心市街地へ飲食・買い物に出かける回数	34
問14	娯楽施設・スポーツ施設に出かける回数	36
問15	中心市街地の娯楽施設・スポーツ施設に出かける回数	37
テーマ3	2020年東京オリンピック・パラリンピックについて	
問16	希望郷いわて国体・いわて大会への関わり方	39
問17	希望郷いわて国体・いわて大会の遺産を継承するための取組	42
問18	オリンピックを目指す地元選手への支援	45
問19	ホストタウン交流への関わり方	48
問20	スポーツボランティアへの関心度	51
テーマ4	交通手段について	
問21	普段利用する主な交通手段	54
問22	主な交通手段を利用する目的	58
問23	自動車から他の交通手段に換える可能性	60
問24	交通渋滞を緩和するための方法	63
テーマ5	こころの健康づくりについて	
問25	悩みを相談できるところ	66
問26	相談できる相手	68
問27	悩んでいる人からの相談	71
問28	悩みを相談されたときの対応	73
問29	希死念慮の訴え	75
問30	こころの健康づくりに有効な手段	77

# I 事業の概要

## 1 事業の目的

市民意識調査は、市政に対する市民の考えや意見を把握し、調査結果を施策検討の際の基礎資料として活用することにより、「市民参画や協働によるまちづくり」を図るため隔年で実施しています。

## 2 事業テーマ

- |   |    |
|---|----|
| (1) 広報もりおかについて (担当：市長公室広聴広報課)                         | 6問 |
| (2) 中心市街地活性化について (担当：商工観光部経済企画課)                      | 9問 |
| (3) 2020年東京オリンピック・パラリンピックについて<br>(担当：市民部スポーツツーリズム推進室) | 5問 |
| (4) 交通手段について (担当：建設部交通政策課)                            | 4問 |
| (5) こころの健康づくりについて (担当：保健所保健予防課)                       | 6問 |

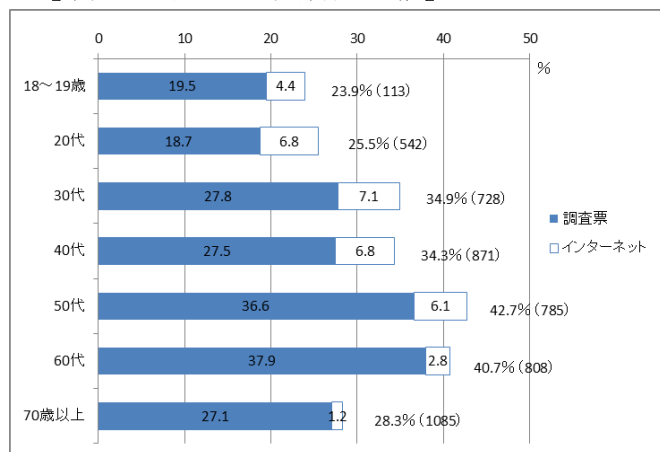
## 3 事業の設計

- |           |                            |
|-----------|----------------------------|
| (1) 実施方法  | アンケート方式による調査               |
| (2) 調査地域  | 盛岡市全域                      |
| (3) 調査対象者 | 満18歳以上の市民の2%               |
| (4) 標本数   | 4,932人                     |
| (5) 抽出方法  | 住民票ファイル(平成29年6月30日)から無作為抽出 |
| (6) 調査方法  | 郵送による配布・回収(インターネット回答を併用)   |
| (7) 調査期間  | 平成29年8月14日～8月27日           |

## 4 調査の回収結果

- |           |        |
|-----------|--------|
| (1) 対象者数  | 4,932人 |
| (2) 有効回収数 | 2,249人 |
| (3) 有効回収率 | 45.6%  |

### 【年代別回収率と回答媒体の内訳】



( ) 内の数は、その年代の対象者の人数

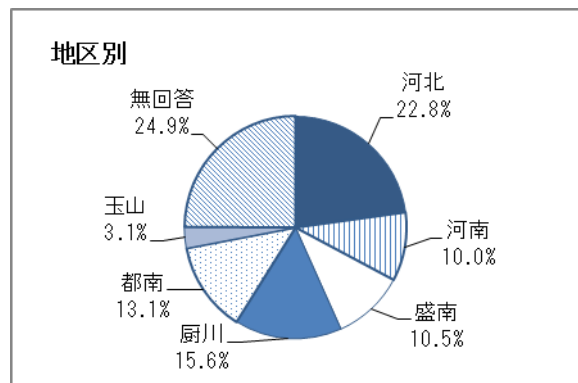
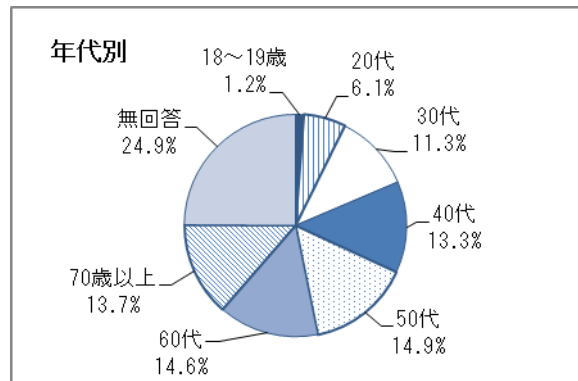
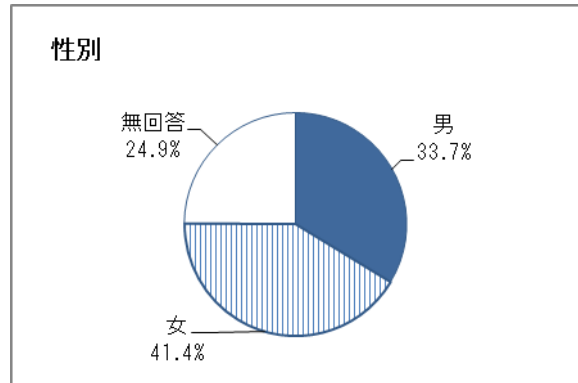
有効回収数 2,249人のうち、  
インターネットでの回答…… 237人  
調査票での回答………2,012人

全体の有効回収率は前回調査(40.7%)より4.9ポイント高くなり、インターネット回答を導入した効果が見られた。

インターネットでの回答率は全体で10.5%となった。20代では前回調査より回収率が上がっており、今後はインターネットでの回答率を高めるための工夫を検討する必要がある。

5 調査回答者の内訳

区分	実数 (人)
全 体	2,249
<b>【性別】</b>	
男 性	758
女 性	931
無 回 答	560
<b>【年代別】</b>	
18 歳 ~ 19 歳	27
20 歳 ~ 29 歳	138
30 歳 ~ 39 歳	254
40 歳 ~ 49 歳	299
50 歳 ~ 59 歳	335
60 歳 ~ 69 歳	329
70 歳 以 上	307
無 回 答	560
<b>【地区別】</b>	
河 北	513
河 南	225
盛 南	237
厨 川	351
都 南	294
玉 山	69
無 回 答	560



※今回は回答時にIDを入力または記載してもらうことで性、年代、地区を判別。調査票での回答者のうち、IDの記載がないものが560人であった。この分は性、年代、地区が不明のため、全体の分析にのみ反映。

【地区別】の区分について

現行のコミュニティ区分を基本単位とし、市域を次の6地区に区分しています。

1	河北	桜城, 仁王, 上田, 緑が丘, 松園, 山岸, 上米内
2	河南	城南, 加賀野, 中野, 杜陵, 大慈寺, 築川
3	盛南	仙北, 本宮, 太田, 繫
4	厨川	西厨川, 土淵, 東厨川, 青山, みたけ, 北厨川
5	都南	見前, 飯岡, 乙部
6	玉山	好摩, 巻堀姫神, 洩民, 玉山藪川

6 留意事項について

- (1) 比率はすべて百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入して算出しました。したがって、合計が100.0%とならない場合があります。
- (2) 複数回答を求める設問では、その回答の数値は延べ回答数に対する百分率ではなく回答者数を100とした場合の百分率です。したがって、合計は100.0%を超えることがあります。
- (3) 「N」は、その設問の回答者の実数で、比率算出の基礎になります。

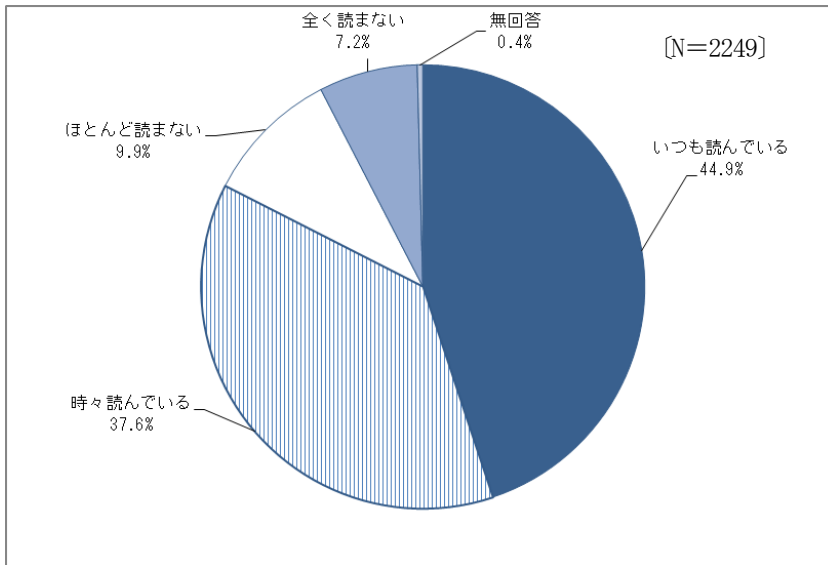
## Ⅱ 調査結果と考察

### 《テーマ1 広報もりおかについて》

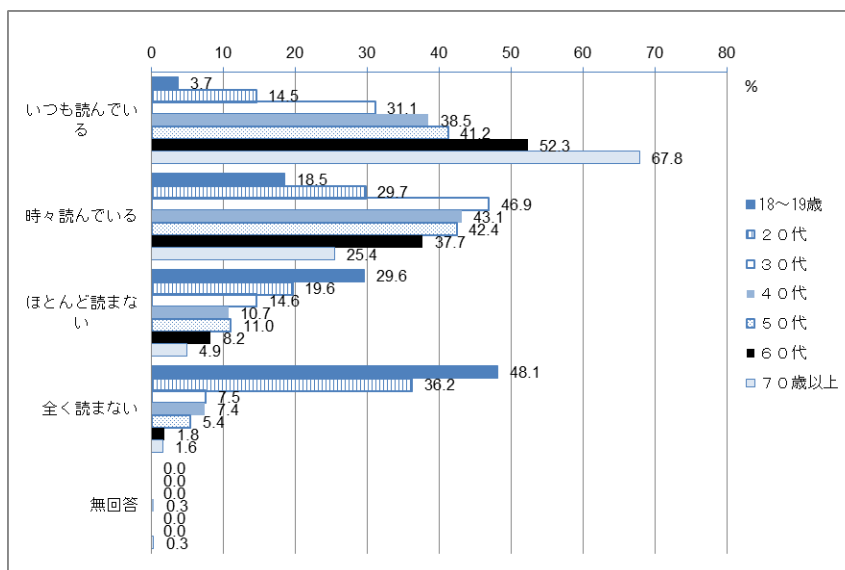
**問1** あなたは、広報もりおかを毎回読んでいますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1 いつも読んでいる | 2 時々読んでいる |
| 3 ほとんど読まない | 4 全く読まない  |

#### 【全体】



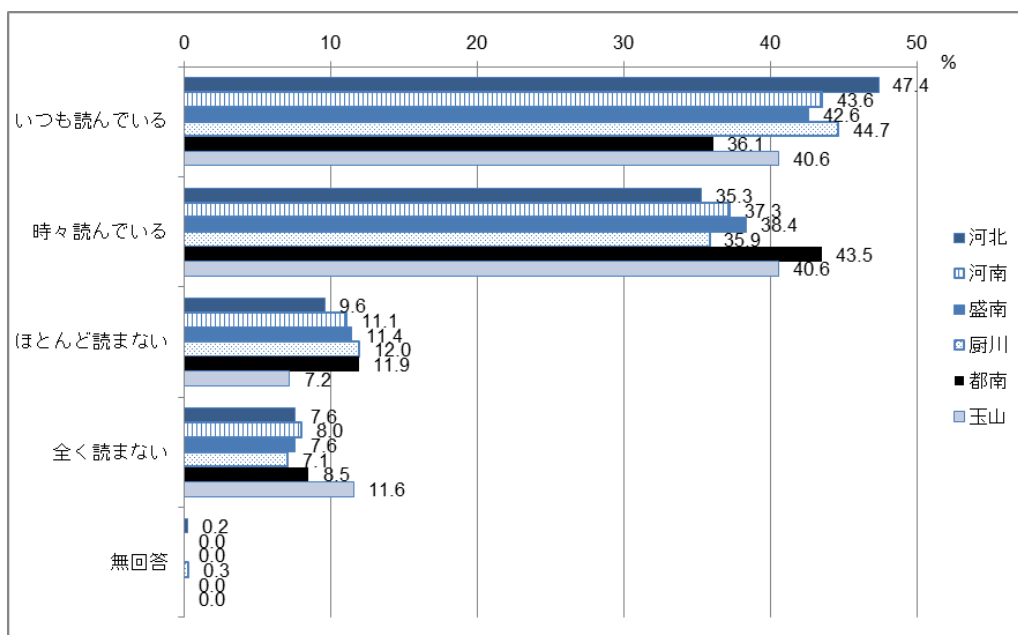
「いつも読んでいる」の割合は44.9%で最も高く、「時々読んでいる」の37.6%を合わせると、約8割の市民は広報を手にとって読んでいることが分かった。



#### 【年代別】

「いつも読んでいる」の割合は年代が上がるほど高くなっており、70歳以上では67.8%となっている。「時々読んでいる」の割合を見ると、子育て世代である30代が最も高く、次いで40代、50代と働く世代が続いている。一方で、20代以下は、「ほとんど読まない」「全く読まない」の割合が高くなっている。

【地区別】



都南地区のみ、「いつも読んでいる」より「時々読んでいる」の割合が高く、また玉山地区のみ「全く読まない」が11.6%と1割を超えているのは、市中心部の掲載情報が多いことによると考えられる。

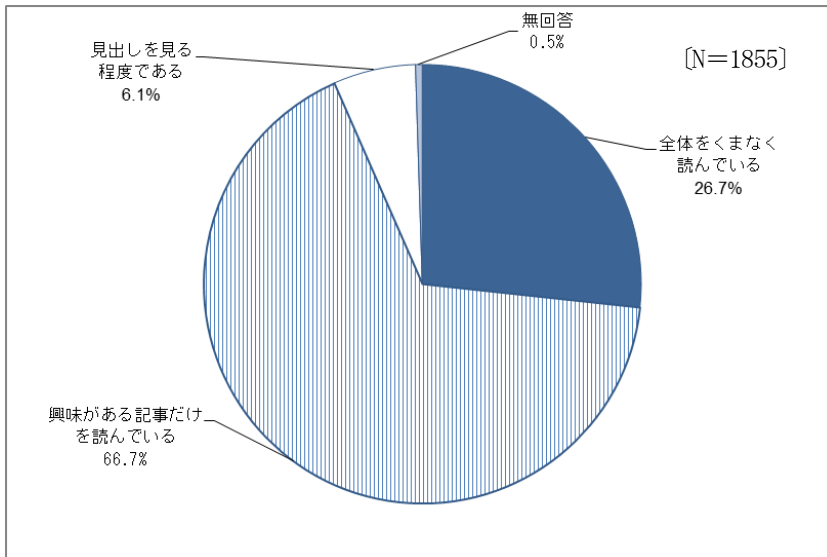
【性別, 年代別, 地区別の回答数】

		実数 (人)	いつも 読んでいる	時々 読んでいる	ほとんど 読まない	全く 読まない	無 回答
全 体		2249	1010	845	223	162	9
性別	男	758	293	290	99	76	0
	女	931	440	348	84	57	2
	無回答	560	277	207	40	29	7
年代	18～19歳	27	1	5	8	13	0
	20～29歳	138	20	41	27	50	0
	30～39歳	254	79	119	37	19	0
	40～49歳	299	115	129	32	22	1
	50～59歳	335	138	142	37	18	0
	60～69歳	329	172	124	27	6	0
	70歳以上	307	208	78	15	5	1
	無回答	560	277	207	40	29	7
地区	河北	513	243	181	49	39	1
	河南	225	98	84	25	18	0
	盛南	237	101	91	27	18	0
	厨川	351	157	126	42	25	1
	都南	294	106	128	35	25	0
	玉山	69	28	28	5	8	0
	無回答	560	277	207	40	29	7

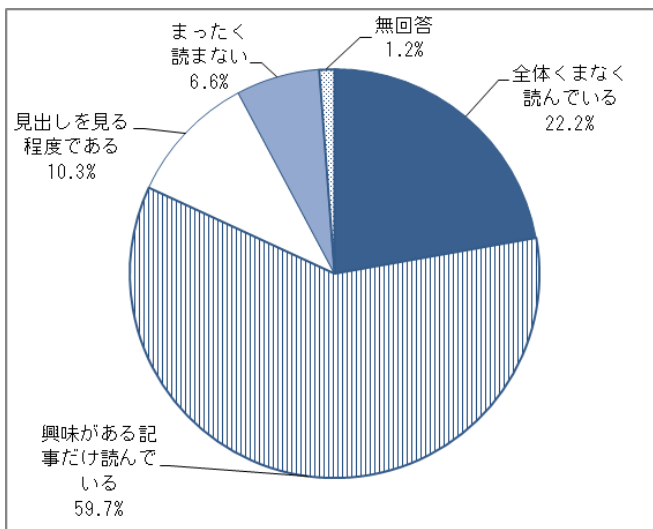
**問2** 問1で「1 いつも読んでいる」「2 時々読んでいる」を選んだ方にお聞きします。あなたは、広報もりおかをどの程度読んでいますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 全体をくまなく読んでいる | 2 興味がある記事だけを読んでいる |
| 3 見出しを見る程度である  |                   |

**【全体】**



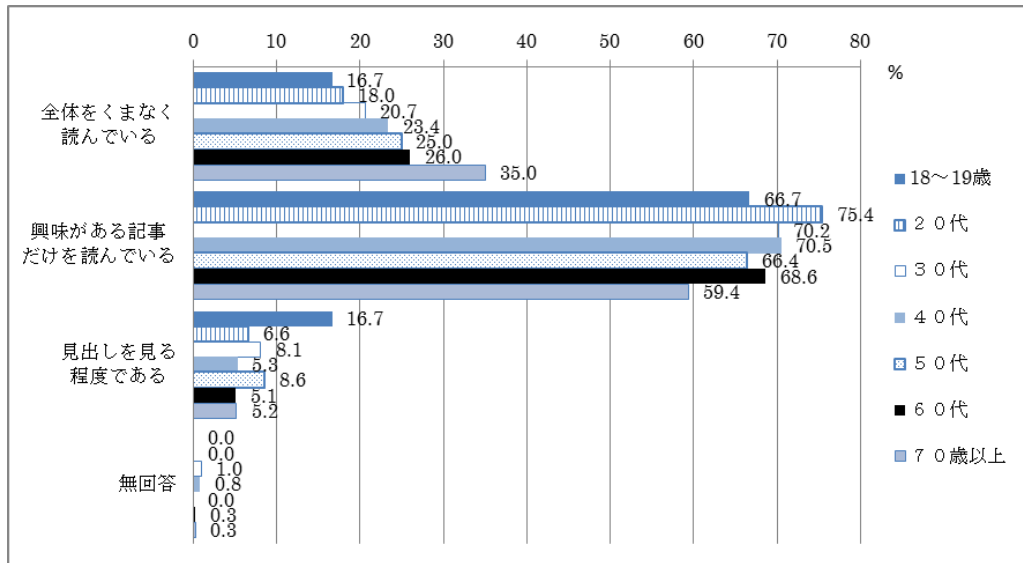
「興味がある記事だけを読んでいる」の割合が最も高く6割を超えており、平成26年度調査と同じ傾向である。このことから、市民が読みたいと思う記事を充実させるほか、見出しや写真で目を引くような工夫や、興味が湧くような記事づくりが必要であることが分かる。



**【参考】**

平成26年度市民アンケート調査の類似設問の結果

### 【年代別】



「全体をくまなく読んでいる」の割合は、年代が上がるほど高くなっており、70歳以上で35.0%となっているのは、掲載記事が保険や介護・健康など高齢者向けの記事が多いことによると思われる。

### 【性別、年代別、地区別の回答数】

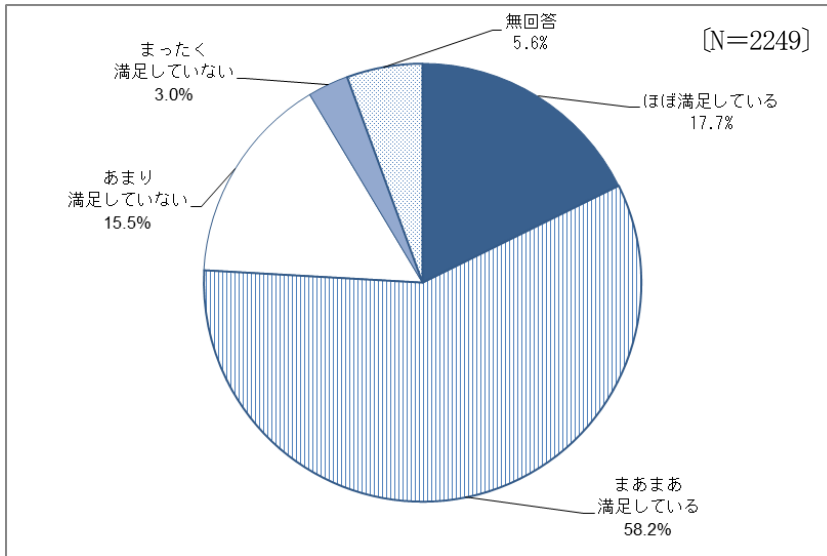
		実数 (人)	全体をくまなく読んでいる	興味がある記事だけを読んでいる	見出しを見る程度である	無回答
全 体		1855	495	1237	114	9
性別	男	583	147	386	48	2
	女	788	210	534	40	4
	無回答	484	138	317	26	3
年代	19~20歳	6	1	4	1	0
	20~29歳	61	11	46	4	0
	30~39歳	198	41	139	16	2
	40~49歳	244	57	172	13	2
	50~59歳	280	70	186	24	0
	60~69歳	296	77	203	15	1
	70歳以上	286	100	170	15	1
	無回答	484	138	317	26	3
地区	河北	424	124	274	25	1
	河南	182	45	122	15	0
	盛南	192	50	123	19	0
	厨川	283	70	193	15	5
	都南	234	55	167	12	0
	玉山	56	13	41	2	0
	無回答	484	138	317	26	3



**問3** あなたは、広報もりおかに掲載されている記事に満足していますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

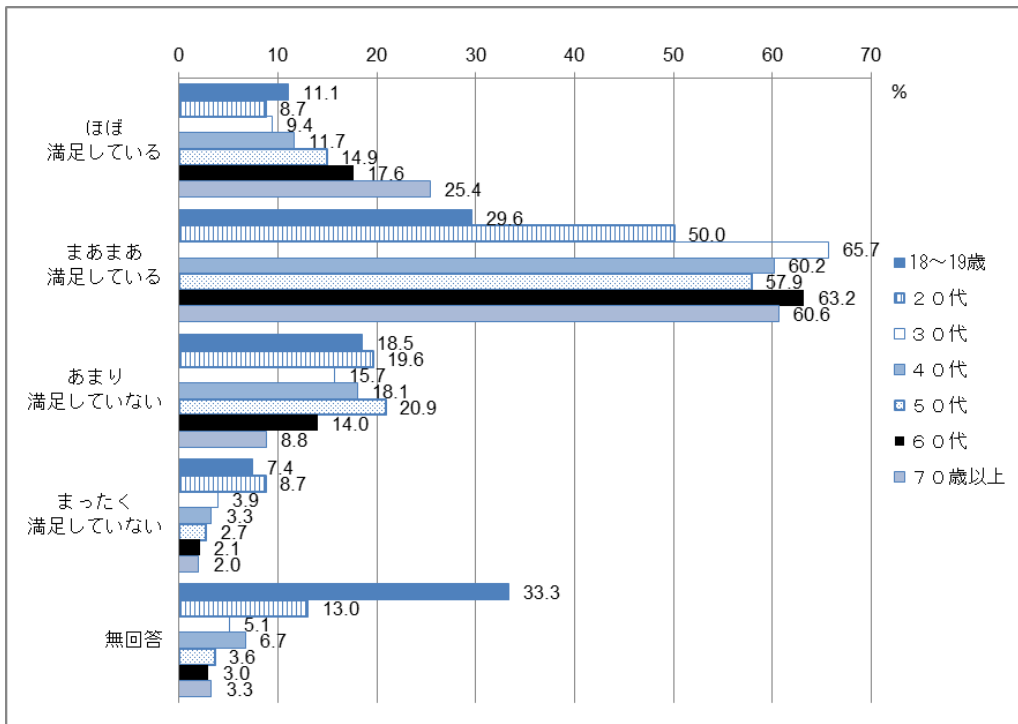
- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 ほぼ満足している   | 2 まあまあ満足している  |
| 3 あまり満足していない | 4 まったく満足していない |

**【全体】**



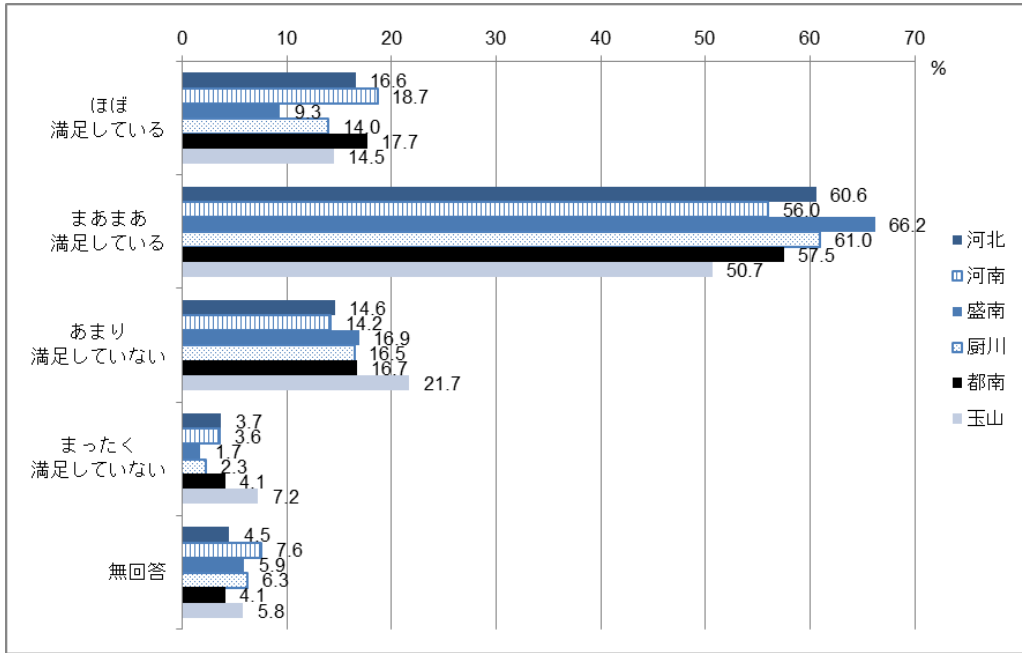
「ほぼ満足している」と「まあまあ満足している」を合わせると75.9%と高い割合となっている。

**【年代別】**



「あまり満足していない」と「まったく満足していない」の割合が30代, 60代, 70歳以上で低いのは、子育て情報や家族向けイベント情報、介護・健康に関わる記事が多いためと考えられる。

【地区別】



「ほぼ満足している」と「まあまあ満足している」の割合を合わせると、盛岡地区・都南地区では7割を超える一方で、玉山地区では65.2%と低い傾向となっている。これは、合併前の広報紙と比較して、玉山地区に関連する情報が少ないことが一因になっているものと思われる。

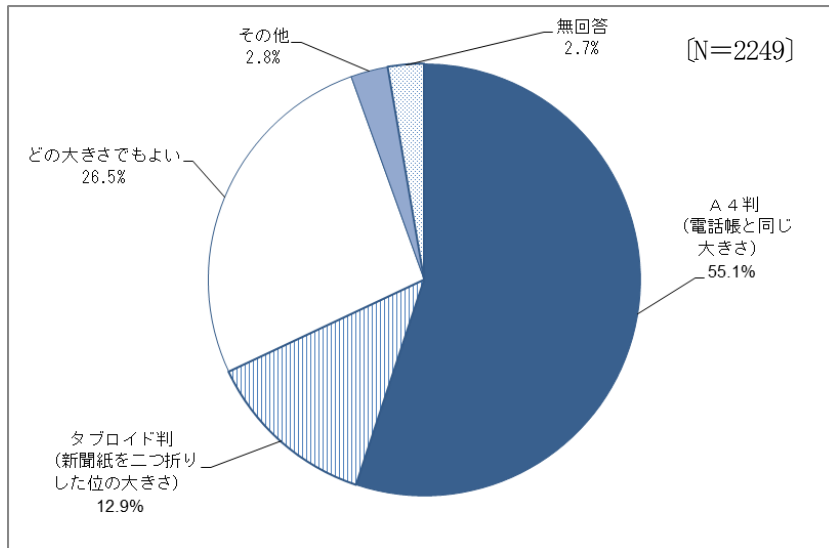
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	ほぼ満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	無回答
全 体		2249	397	1309	348	68	127
性別	男	758	102	438	136	35	47
	女	931	158	574	133	21	45
	無回答	560	137	297	79	12	35
年代	18～19歳	27	3	8	5	2	9
	20～29歳	138	12	69	27	12	18
	30～39歳	254	24	167	40	10	13
	40～49歳	299	35	180	54	10	20
	50～59歳	335	50	194	70	9	12
	60～69歳	329	58	208	46	7	10
	70歳以上	307	78	186	27	6	10
	無回答	560	137	297	79	12	35
地区	河北	513	85	311	75	19	23
	河南	225	42	126	32	8	17
	盛南	237	22	157	40	4	14
	厨川	351	49	214	58	8	22
	都南	294	52	169	49	12	12
	玉山	69	10	35	15	5	4
	無回答	560	137	297	79	12	35

**問4** あなたは、紙面の大きさについてどれが適当だと思いますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

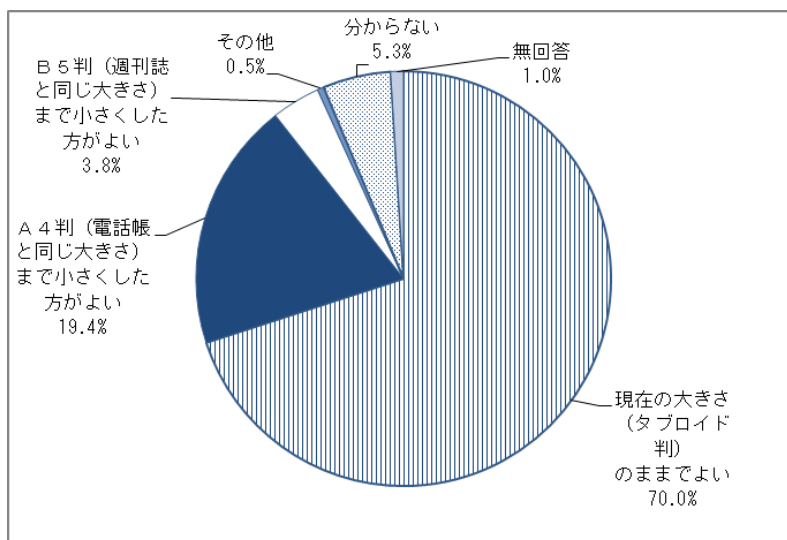
- 1 A4判（電話帳と同じ大きさ）
- 2 タブロイド判（新聞紙を二つ折りした位の大きさ）
- 3 どの大きさでもよい
- 4 その他（ )

**【全体】**



紙面の大きさについて、A4判が適当と回答した人の割合が55.1%と最も高く、続いて「どの大きさでもよい」が26.5%となった。

タブロイド判が適当と回答した人の割合は12.9%となり、平成26年度の調査でのタブロイド判に相当する「現在の大きさのままでよい」の70.0%に比べ、かなり低い割合となった。前回の調査結果とは傾向が全く違うことから、タブロイド判が現行の大きさであることを明示した上で、どのような理由でタブロイド判よりA4判が適当と考えるか情報収集する必要がある。

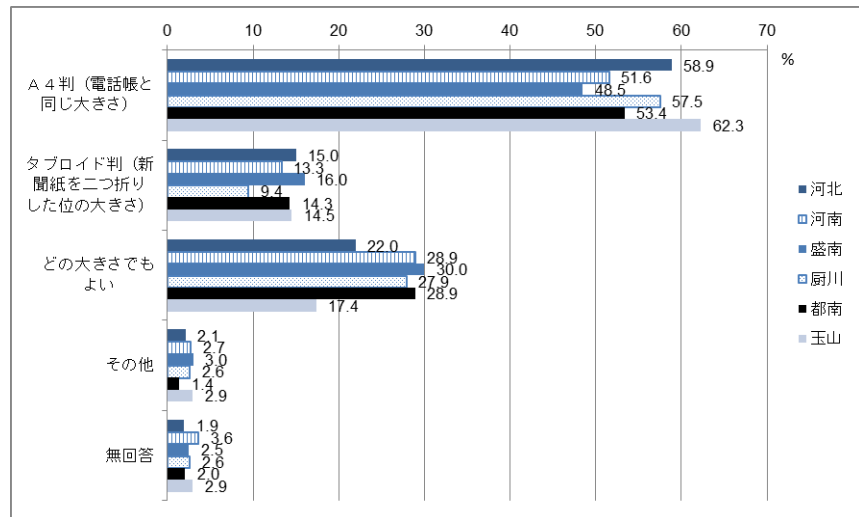


**【参考】**

平成26年度市民アンケート調査の類似設問の結果

**【地区別】**

A4判が適当であると回答した割合が最も高いのが玉山地区で、62.3%であった。これは、合併前の玉山村の広報紙がA4判であったことによると思われる。



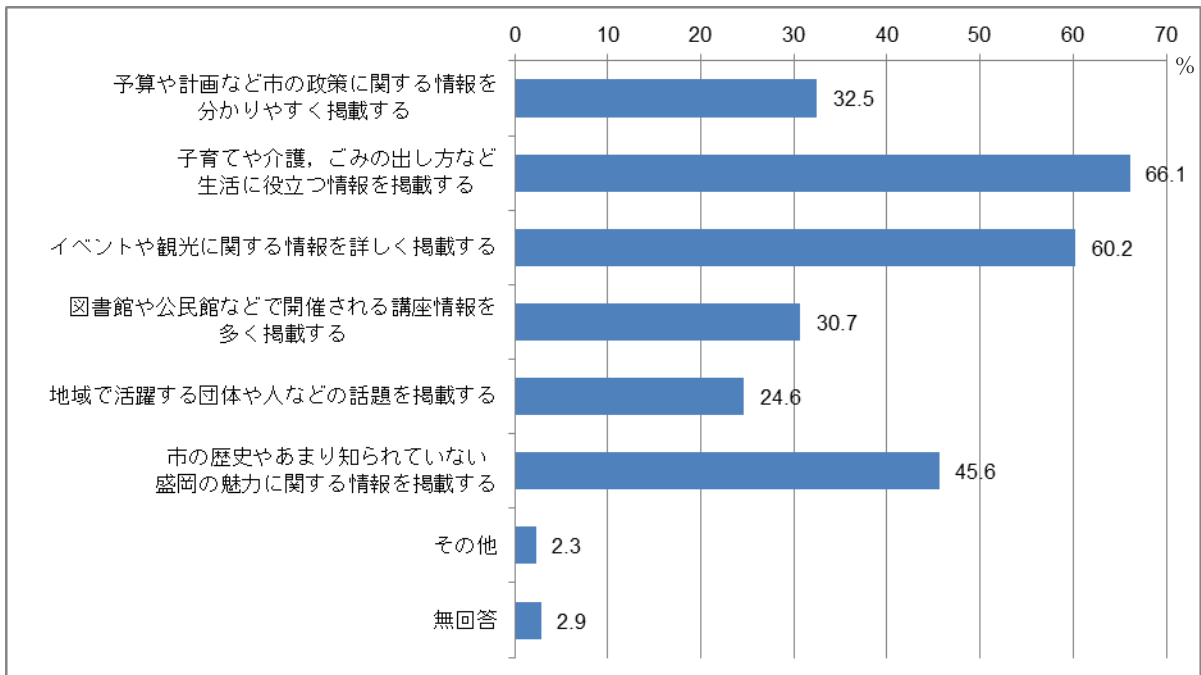
**【性別, 年代別, 地区別の回答数】**

		実数 (人)	A4判 (電話帳と同じ大きさ)	タブロイド判 (新聞紙を二つ折りした位の大きさ)	どの大きさでもよい	その他	無回答
全 体		2249	1239	291	597	62	60
性別	男	758	422	118	184	15	19
	女	931	513	112	260	24	22
	無回答	560	304	61	153	23	19
年代	18～19 歳	27	9	2	14	0	2
	20～29 歳	138	60	19	50	1	8
	30～39 歳	254	135	23	85	5	6
	40～49 歳	299	161	39	85	7	7
	50～59 歳	335	207	45	66	9	8
	60～69 歳	329	201	49	69	6	4
	70 歳以上	307	162	53	75	11	6
	無回答	560	304	61	153	23	19
地区	河北	513	302	77	113	11	10
	河南	225	116	30	65	6	8
	盛南	237	115	38	71	7	6
	厨川	351	202	33	98	9	9
	都南	294	157	42	85	4	6
	玉山	69	43	10	12	2	2
	無回答	560	304	61	153	23	19

**問5** あなたは、広報もりおかに掲載する記事をどのように充実させると、満足度が高まると考えますか。最も当てはまるものから3つまで○を付けてください。

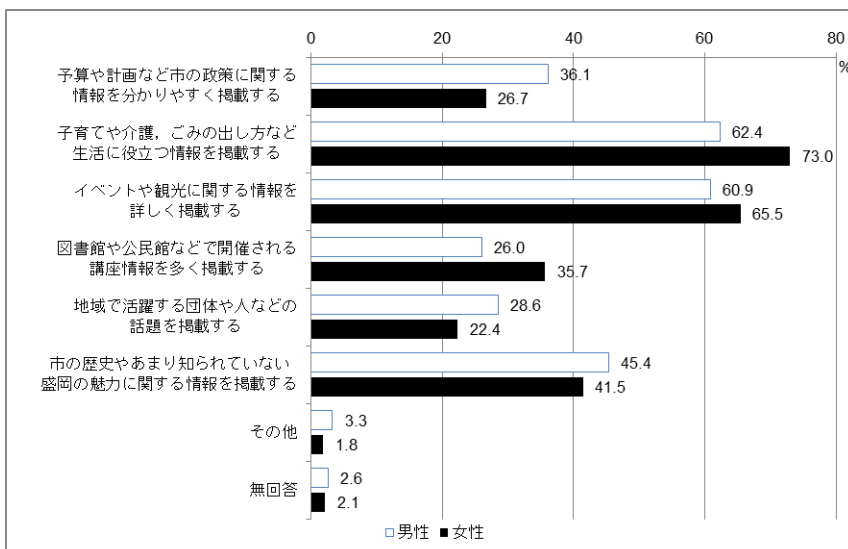
- 1 予算や計画など市の政策に関する情報を分かりやすく掲載する
- 2 子育てや介護、ごみの出し方など生活に役立つ情報を掲載する
- 3 イベントや観光に関する情報を詳しく掲載する
- 4 図書館や公民館などで開催される講座情報を多く掲載する
- 5 地域で活躍する団体や人などの話題を掲載する
- 6 市の歴史やあまり知られていない盛岡の魅力に関する情報を掲載する
- 7 その他 ( )

**【全体】**



子育てや介護など、生活に役立つ情報の充実を求める人の割合が 66.1%と最も高く、次いでイベントや観光に関する情報が 60.2%、市の歴史や盛岡の魅力に関する情報が 45.6%となっている。

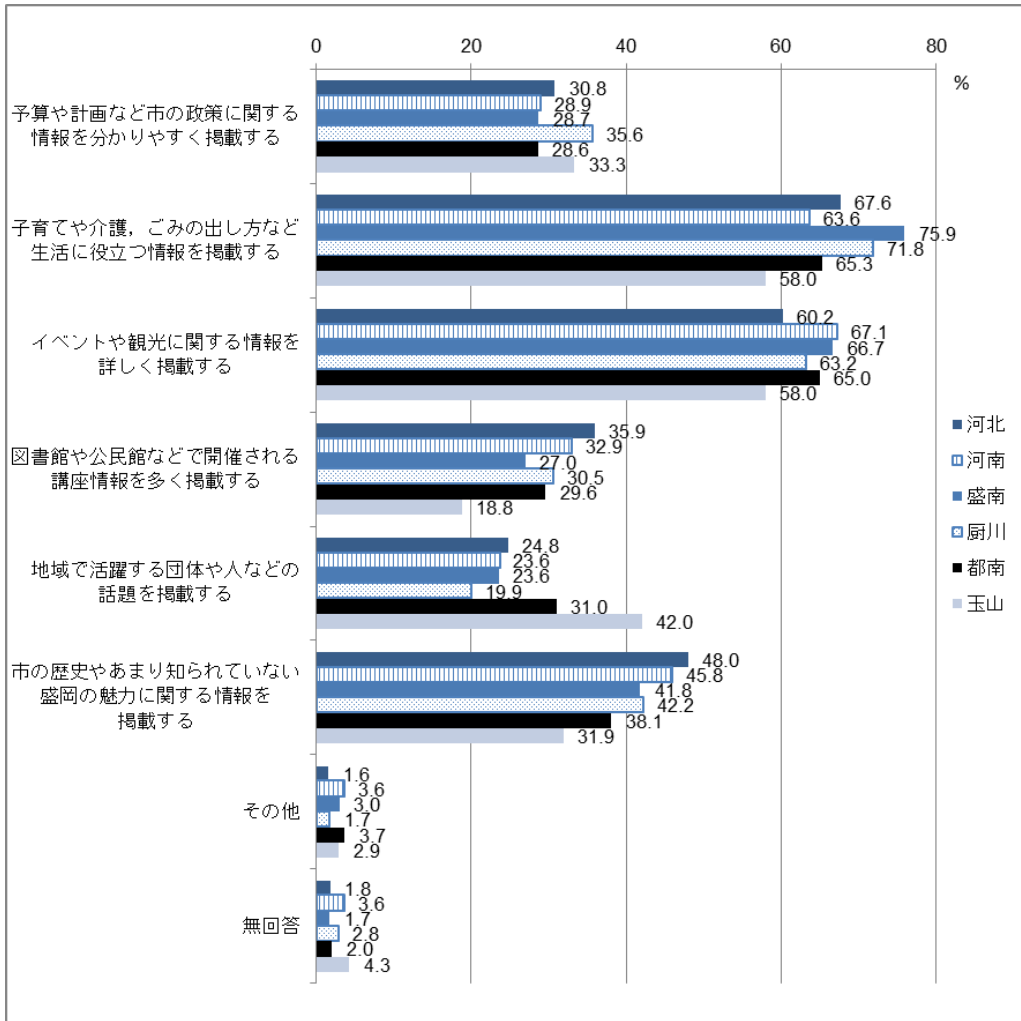
このことから、生活に役立つ情報やイベント情報を分かりやすく伝えるようレイアウトを変更するとともに、盛岡の魅力を伝える記事をカラーで掲載するなど、年代に関わらず、見やすく読みやすい広報となるよう紙面の見直しを進めていく必要がある。



**【性別】**

子育てや介護、ごみの出し方など生活に役立つ情報の充実を求める人の割合が、男性の 62.4%に比べ、女性の方が 73.0%と高く、女性の方が暮らしに関わる情報を求めていることが分かる。

【地区別】



玉山地区の回答のうち、「図書館や公民館などで開催される講座情報を多く掲載する」と「地域で活躍する団体や人などの話題を掲載する」の割合が、全体の回答の傾向と逆転している。これは、玉山地区に関連する情報の掲載割合が少ないことや、住民同士の距離が近い地域性によるものと考えられる。

※「その他」に記載された主なもの

- 市政情報の掲載についての意見
  - ・健康、医療情報や障がい者向けの情報を掲載してほしい
  - ・都市計画や施設建設の時期、場所を掲載してほしい
  - ・市の施策・課題・市民に求めることを掲載してほしい
- 市民や地域のことを掲載することについての意見
  - ・地域ごとの問題点を掲載してほしい
  - ・市民生活の問題を提起（ペットや自転車マナーなど）
- その他
  - ・市民意見の投稿欄を設けてほしい（回答も）

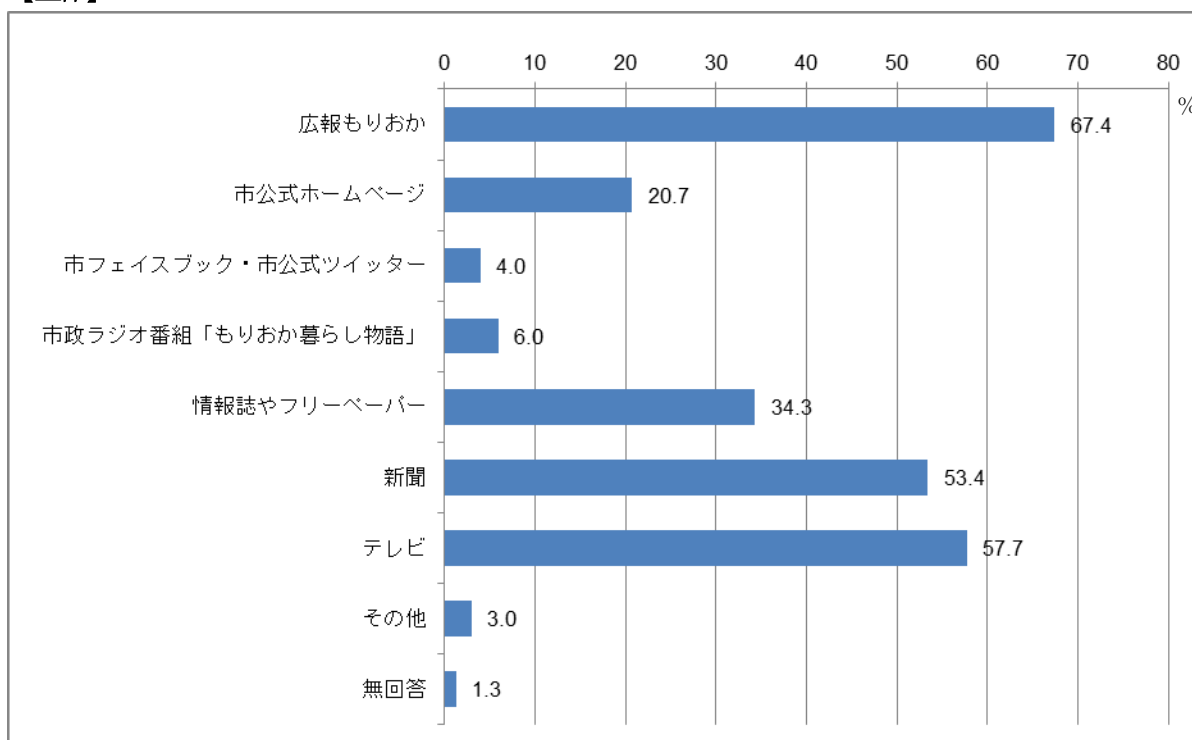
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	予算や計画など市の政策に関する情報を分かりやすく掲載する	子育てや介護、ごみの出し方など生活に役立つ情報を掲載する	イベントや観光に関する情報を詳しく掲載する	図書館や公民館などで開催される講座情報を多く掲載する	地域で活躍する団体や人などの話題を掲載する	市の歴史やあまり知られていない盛岡の魅力に関する情報を掲載する	その他	無回答
全 体		5960	731	1486	1355	691	554	1026	52	65
性別	男	2012	274	474	461	197	217	344	25	20
	女	2503	249	680	610	332	209	386	17	20
	無回答	1445	208	332	284	162	128	296	10	25
年代	18～19歳	58	2	8	16	5	14	9	0	4
	20～29歳	353	28	96	108	32	39	42	3	5
	30～39歳	664	57	191	200	78	50	77	3	8
	40～49歳	810	87	216	213	95	67	121	8	3
	50～59歳	911	95	236	213	114	84	154	10	5
	60～69歳	894	117	210	179	118	91	162	10	7
	70歳以上	825	137	197	142	87	81	165	8	8
	無回答	1445	208	332	284	162	128	296	10	25
地区	河北	1388	158	347	309	184	127	246	8	9
	河南	605	65	143	151	74	53	103	8	8
	盛南	636	68	180	158	64	56	99	7	4
	厨川	940	125	252	222	107	70	148	6	10
	都南	774	84	192	191	87	91	112	11	6
	玉山	172	23	40	40	13	29	22	2	3
	無回答	1445	208	332	284	162	128	296	10	25

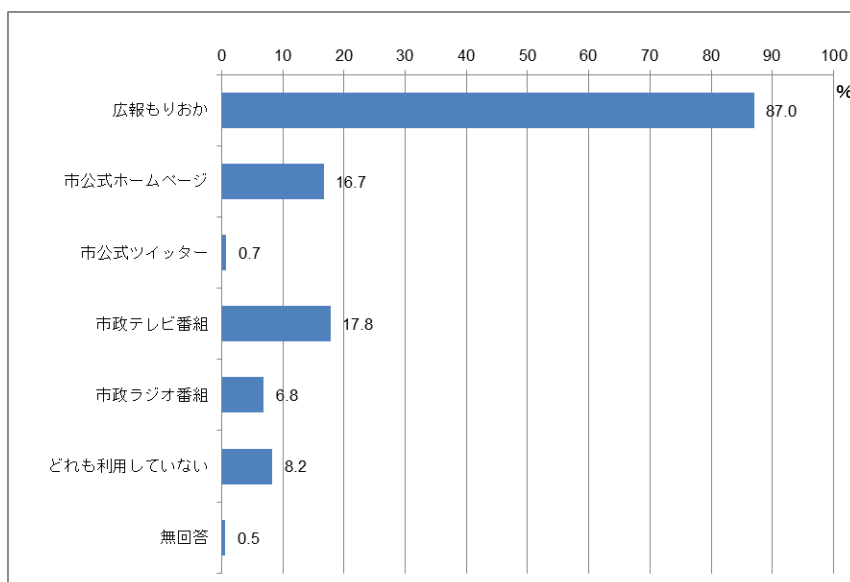
**問6** あなたが市政や市の催事などの情報を得る際に、利用している媒体は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1 広報もりおか            | 2 市公式ホームページ          |
| 3 市フェイスブック・市公式ツイッター | 4 市政ラジオ番組「もりおか暮らし物語」 |
| 5 情報誌やフリーペーパー       | 6 新聞                 |
| 7 テレビ               | 8 その他（ ）             |

**【全体】**



「広報もりおか」の割合が67.4%と最も高く、市民に身近な媒体と言える。次いで「テレビ」「新聞」が5割を超えており、市が番組等を持っているものではないことから、プレスリリース等による情報が市民に伝わっているものと思われる。「市公式ホームページ」の割合は20.7%と、前回（平成25年度）の同様の調査の16.7%を上回り、市民の認知度が上がっている。「市フェイスブック・市公式ツイッター」は4.0%にとどまっており、広報や市公式ホームページを補完する位置付けと考えられる。

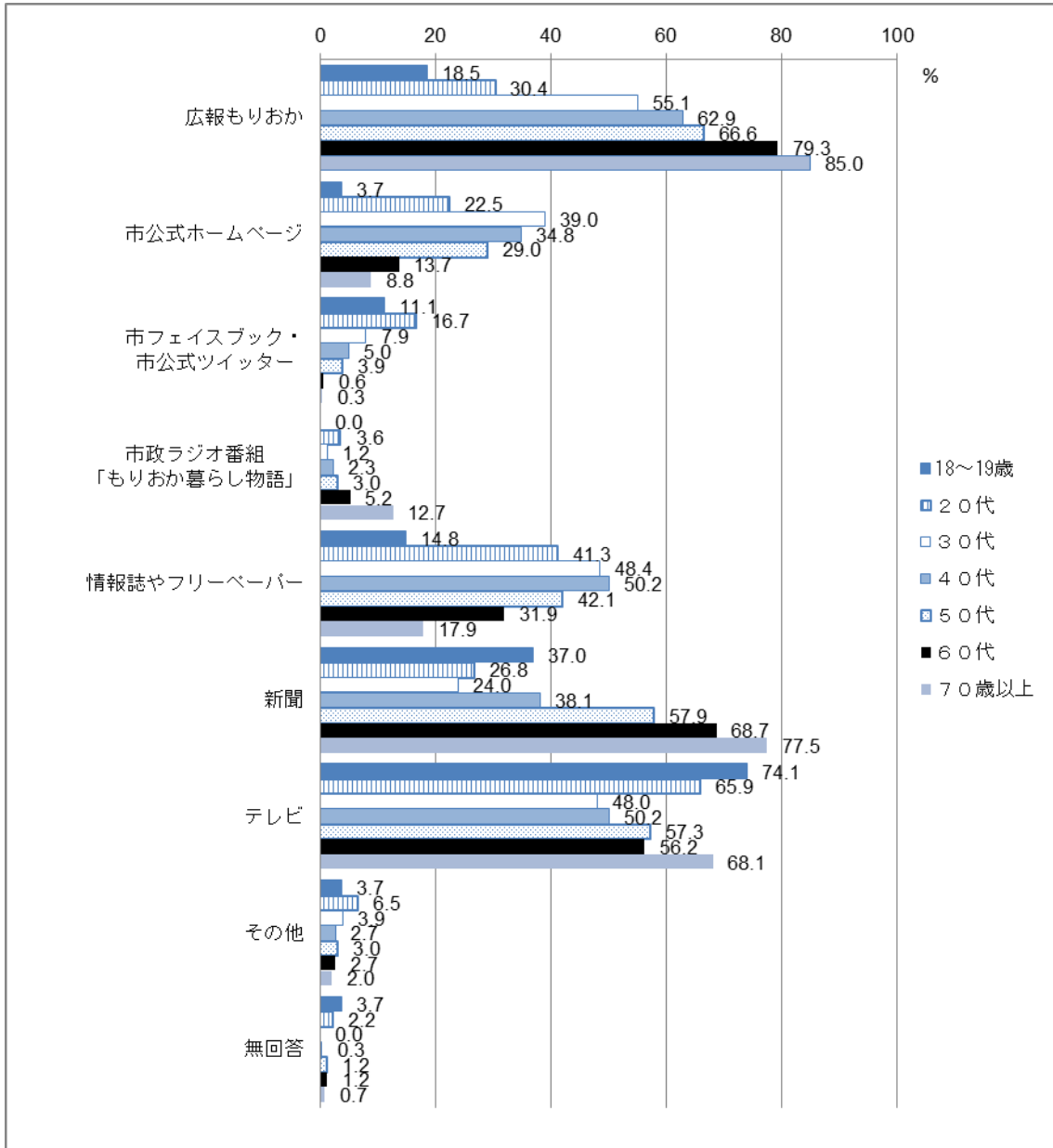


**【参考】**

第20回市民意識調査（平成25年度）の類似設問の結果



【年代別】



30代以上では「広報もりおか」の割合が最も高い。20代以下では「テレビ」の割合が最も高く、かつ広報を読まない傾向が強い。また「テレビ」の割合は70歳以上も高い。「市公式ホームページ」の割合は30代から50代、「市フェイスブック・市公式ツイッター」の割合は20代以下が高い。

【性別、年代別、地区別の回答数】

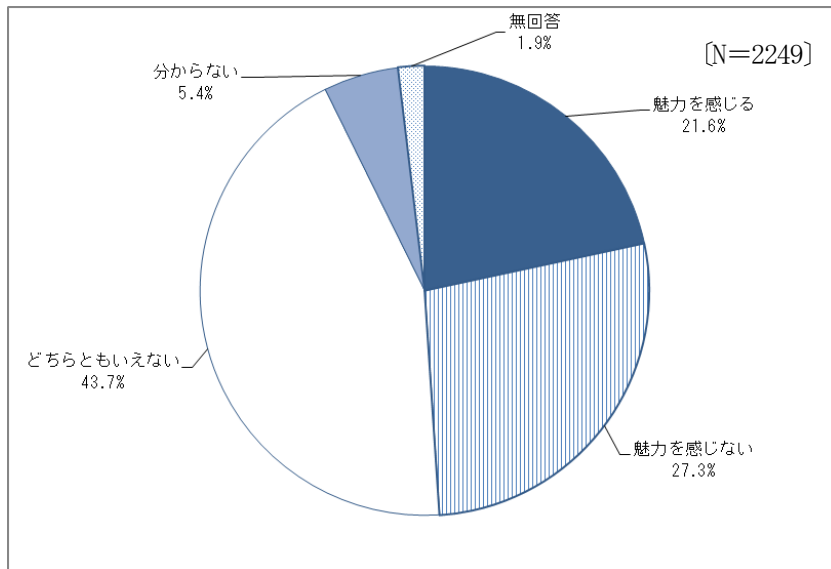
		実数	広報 もりおか	市公式 ホームページ	市フェイス ブック・市公式 ツイッター	市政ラジオ 番組「もり おか暮らし 物語」	情報誌や フリーペー パー	新聞	テレビ	その他	無回答
全 体		5570	1515	466	90	134	771	1200	1297	68	29
性別	男	1847	467	214	29	34	216	426	422	32	7
	女	2387	653	190	48	47	419	454	547	21	8
	無回答	1336	395	62	13	53	136	320	328	15	14
年代	18～19 歳	45	5	1	3	0	4	10	20	1	1
	20～29 歳	298	42	31	23	5	57	37	91	9	3
	30～39 歳	578	140	99	20	3	123	61	122	10	0
	40～49 歳	737	188	104	15	7	150	114	150	8	1
	50～59 歳	884	223	97	13	10	141	194	192	10	4
	60～69 歳	854	261	45	2	17	105	226	185	9	4
	70 歳以上	838	261	27	1	39	55	238	209	6	2
	無回答	1336	395	62	13	53	136	320	328	15	14
地区	河北	1321	364	123	32	26	190	276	293	14	3
	河南	564	149	60	9	9	90	118	119	7	3
	盛南	592	144	65	8	11	93	121	142	8	0
	厨川	894	227	79	15	18	149	179	212	10	5
	都南	703	190	66	9	13	98	150	165	11	1
	玉山	160	46	11	4	4	15	36	38	3	3
	無回答	1336	395	62	13	53	136	320	328	15	14

## 《テーマ2 中心市街地活性化について》

**問7** あなたは、現在の盛岡市の中心市街地に魅力を感じますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

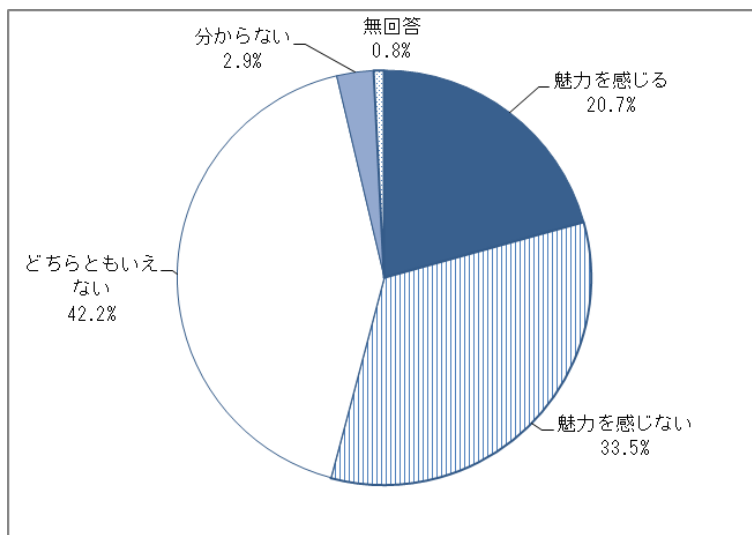
- |             |           |
|-------------|-----------|
| 1 魅力を感じる    | 2 魅力を感じない |
| 3 どちらともいえない | 4 分からない   |

### 【全体】



「どちらともいえない」の割合が43.7%と最も高く、「魅力を感じない」が27.3%、「魅力を感じる」が21.6%と続いた。「魅力を感じない」と回答した人はもちろんであるが、最も高い割合である「どちらともいえない」と回答した人にも魅力を感じてもらえるような中心市街地の魅力発信が必要であると考えられる。

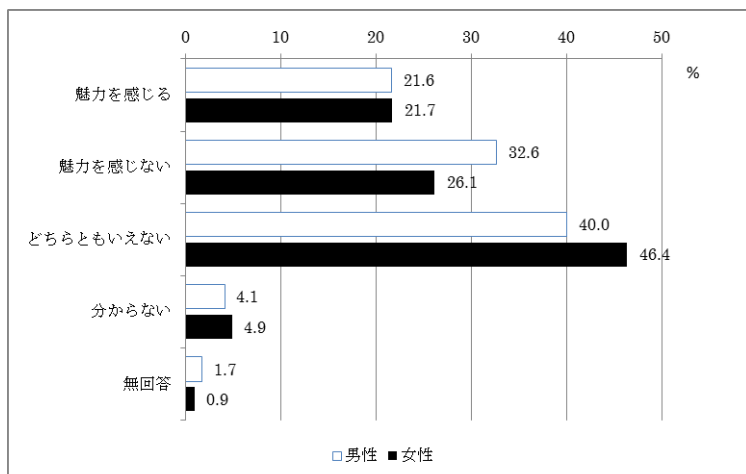
前回（平成11年度）の同様の調査と比較して、「魅力を感じる」、「どちらともいえない」の割合が微増しており、いまだ中心市街地の魅力が薄いとも考えられるものの、「魅力を感じない」の割合は6.2ポイント減少しており、中心市街地の魅力回復の兆しが見受けられることから、引き続き中心市街地を舞台とするイベント等の充実やPR強化、公共交通機関の充実、空き店舗の活用などにより、魅力を発信する必要があると考えられる。



### 【参考】

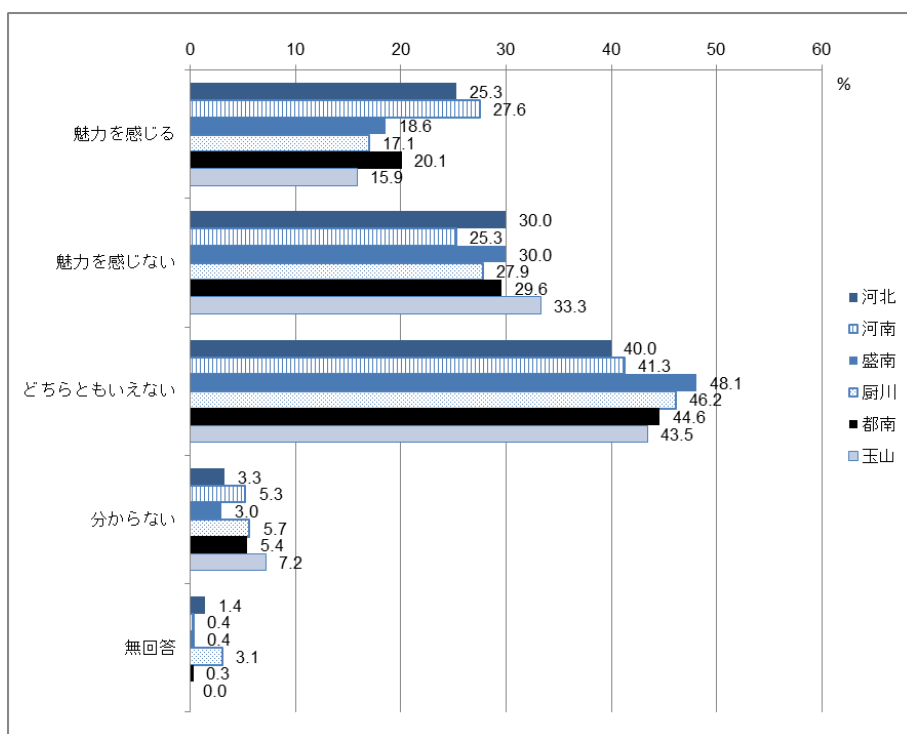
第13回市民意識調査（平成11年度）の同設問の結果

## 【性別】



「魅力を感じる」の割合は男女に差が見られないが、「魅力を感じない」は男性が女性より 6.5 ポイント高くなっている一方、「どちらともいえない」は女性が男性より 6.4 ポイント高くなっており、女性に魅力を感じてもらえるようなまちづくりを検討する必要がある。

## 【地区別】



中心市街地エリアの「中ノ橋通・紺屋町・神明町・南大通・八幡町・肴町」を含む河南地区においては、「魅力を感じる」の割合が「魅力を感じない」を上回ったが、それ以外では「魅力を感じない」が「魅力を感じる」を上回っている。

中心市街地以外に居住する人にも魅力を感じてもらい、訪れたい中心市街地の形成が必要と考えられる。

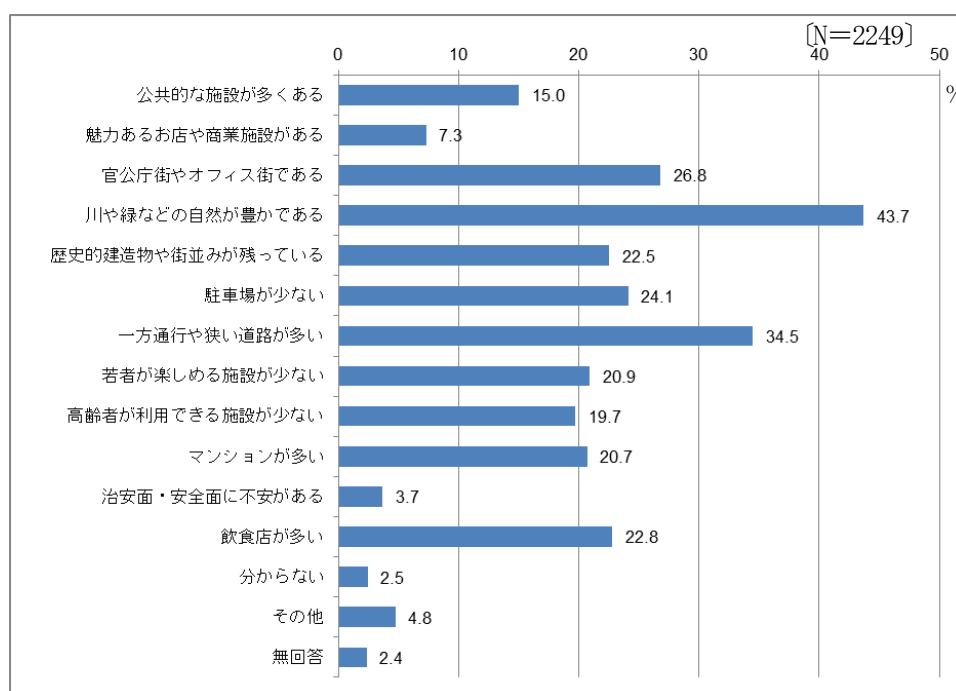
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	魅力を感じる	魅力を感じない	どちらともいえない	分からない	無回答
全 体		2249	486	615	983	122	43
性別	男	758	164	247	303	31	13
	女	931	202	243	432	46	8
	無回答	560	120	125	248	45	22
年代	18～19 歳	27	15	1	10	1	0
	20～29 歳	138	51	23	58	6	0
	30～39 歳	254	50	83	108	11	2
	40～49 歳	299	64	95	129	9	2
	50～59 歳	335	64	102	152	13	4
	60～69 歳	329	52	104	151	17	5
	70 歳以上	307	70	82	127	20	8
	無回答	560	120	125	248	45	22
地区	河北	513	130	154	205	17	7
	河南	225	62	57	93	12	1
	盛南	237	44	71	114	7	1
	厨川	351	60	98	162	20	11
	都南	294	59	87	131	16	1
	玉山	69	11	23	30	5	0
	無回答	560	120	125	248	45	22

**問8** あなたは、現在の盛岡市の中心市街地に対してどのようなイメージをお持ちですか。最も当てはまるものから3つまで○を付けてください。

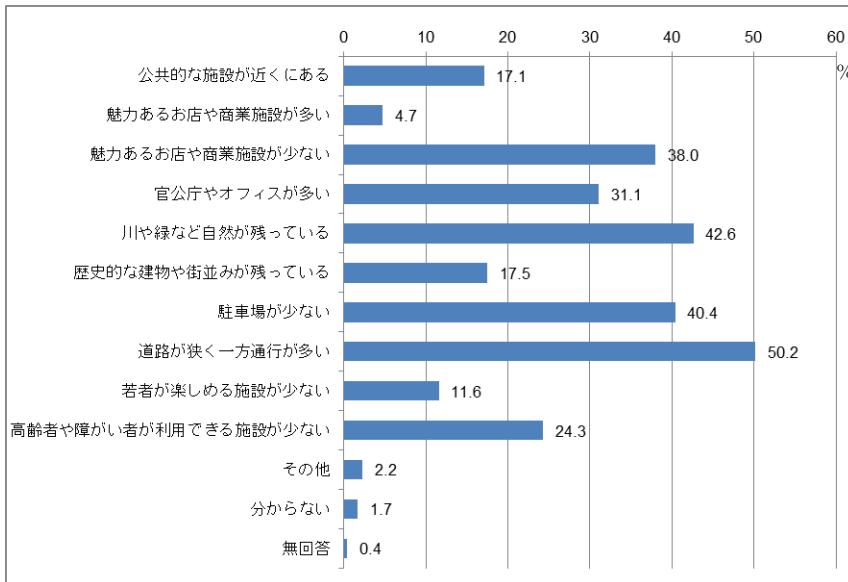
- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1 公共的な施設が多くある      | 2 魅力あるお店や商業施設がある |
| 3 官公庁街やオフィス街である    | 4 川や緑などの自然が豊かである |
| 5 歴史的建造物や街並みが残っている | 6 駐車場が少ない        |
| 7 一方通行や狭い道路が多い     | 8 若者が楽しめる施設が少ない  |
| 9 高齢者が利用できる施設が少ない  | 10 マンションが多い      |
| 11 治安面・安全面に不安がある   | 12 飲食店が多い        |
| 13 分からない           | 14 その他 ( )       |

**【全体】**



「川や緑などの自然が豊かである」の割合が43.7%と最も高く、「一方通行や狭い道路が多い」が34.5%、「官公庁街やオフィス街である」が26.8%、「駐車場が少ない」が24.1%と続いた。

自然の豊かさに対するイメージが強い一方で、前回（平成11年度）の調査結果と同様、自家用車移動に不便を感じている傾向が強いことから、引き続き訪れやすいまちづくりに向けた対策が必要と思われる。

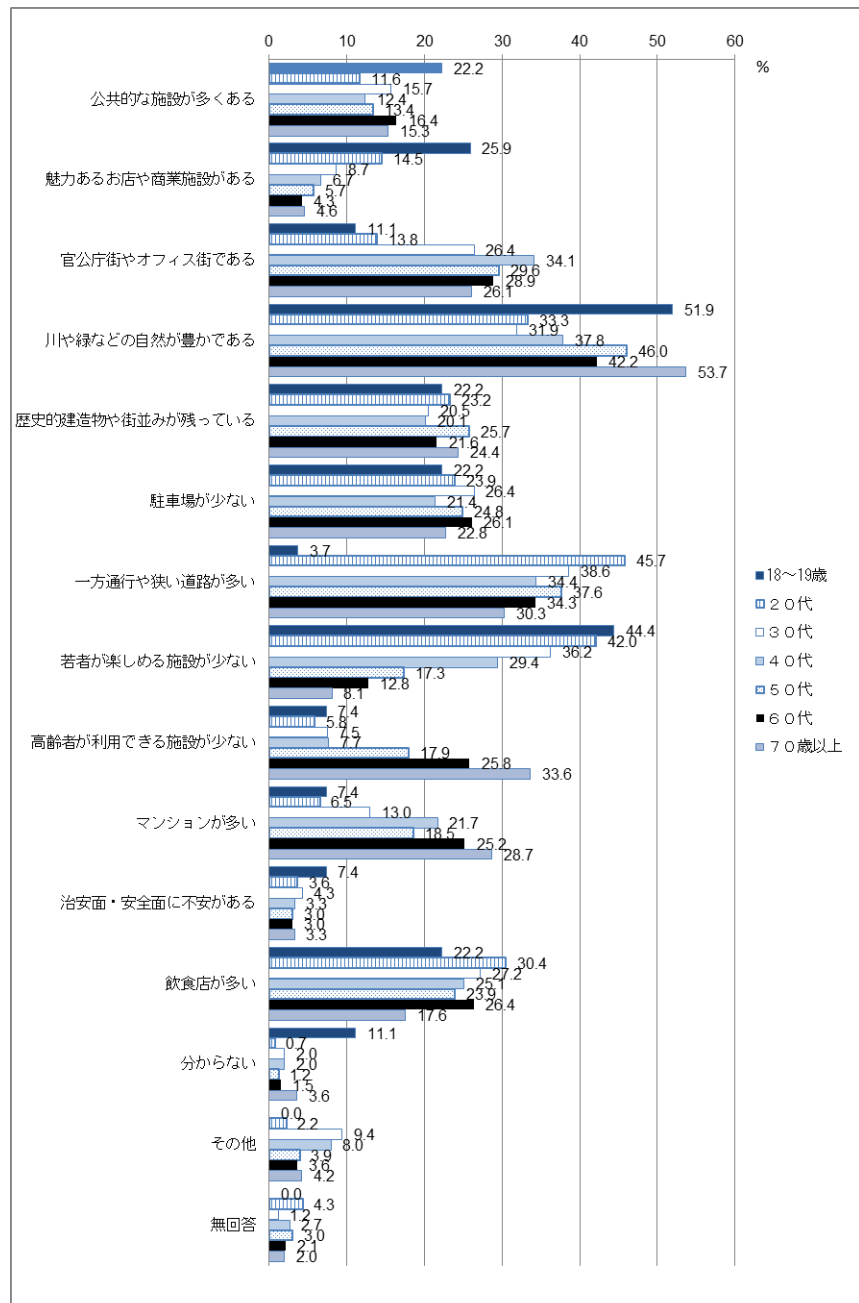


**【参考】**

第13回市民意識調査(平成11年度)の類似設問の結果

**【年代別】**

どの年代においても「川や緑などの自然が豊かである」というイメージを持つ人が多い。30代以下は「若者が楽しめる施設が少ない」と感じている傾向が強く、60代以上は「高齢者が利用できる施設が少ない」と感じる傾向が強い。それぞれの年代で、各年代に合った施設について不満を感じている傾向が強いことがうかがえる。



※「その他」に記載された主なもの

- 店舗についてのイメージ
  - ・居酒屋が多い
  - ・親子、家族で楽しめる店舗がない、少ない
  - ・郊外店に行くしかない
- 中心市街地の整備についてのイメージ
  - ・駐車場が少ない、有料である
  - ・渋滞が多い、道路が分かりにくい
- 中心市街地の活気・活性化についてのイメージ
  - ・魅力、華やかさがない
  - ・寂れている、衰退している

【「その他」について】  
 居酒屋が多い、魅力ある店舗が少ないといった意見が多く、街全体の活気や華やかさが足りないと感じる意見も目立った。中心市街地を訪れる魅力ある店舗が求められているとともに、街全体の活力を向上させる必要があると思われる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

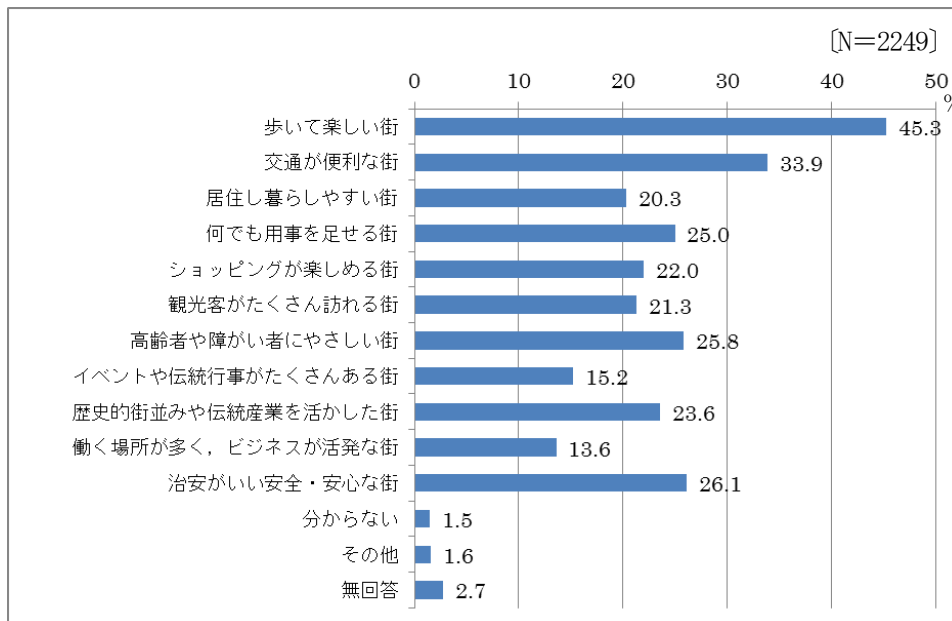
		実数	公共的な施設が多くある	魅力あるお店や商業施設がある	官公庁街やオフィス街である	川や緑などの自然が豊かである	歴史的建造物や街並みが残っている	駐車が少ない	一方通行や狭い道路が多い	若者が楽しめる施設が少ない	高齢者が利用できる施設が少ない	マンションが多い	治安面・安全面に不安がある	飲食店が多い	分からない	その他	無回答
全 体		6103	337	165	602	983	507	542	776	469	442	465	84	512	56	109	54
性別	男	2047	111	51	212	322	166	170	268	162	125	150	29	214	11	39	17
	女	2531	134	65	253	390	216	239	329	213	175	192	29	199	24	50	23
	無回答	1525	92	49	137	271	125	133	179	94	142	123	26	99	21	20	14
年代	18～19歳	70	6	7	3	14	6	6	1	12	2	2	2	6	3	0	0
	20～29歳	361	16	20	19	46	32	33	63	58	8	9	5	42	1	3	6
	30～39歳	683	40	22	67	81	52	67	98	92	19	33	11	69	5	24	3
	40～49歳	798	37	20	102	113	60	64	103	88	23	65	10	75	6	24	8
	50～59歳	909	45	19	99	154	86	83	126	58	60	62	10	80	4	13	10
	60～69歳	903	54	14	95	139	71	86	113	42	85	83	10	87	5	12	7
	70歳以上	854	47	14	80	165	75	70	93	25	103	88	10	54	11	13	6
	無回答	1525	92	49	137	271	125	133	179	94	142	123	26	99	21	20	14
地区	河北	1411	67	36	136	245	123	112	169	111	97	124	13	139	9	17	13
	河南	606	34	19	55	109	63	36	60	58	38	47	7	53	4	18	5
	盛南	641	26	19	70	83	47	68	104	53	34	52	10	47	5	18	5
	厨川	952	63	17	118	138	71	98	131	74	62	48	17	77	8	22	8
	都南	787	47	22	72	111	61	73	108	64	56	59	10	79	4	13	8
	玉山	181	8	3	14	26	17	22	25	15	13	12	1	18	5	1	1
	無回答	1525	92	49	137	271	125	133	179	94	142	123	26	99	21	20	14



**問9** あなたは、盛岡市の中心市街地がどのような街であるべきと思いますか。最も当てはまるものから3つまで○を付けてください。

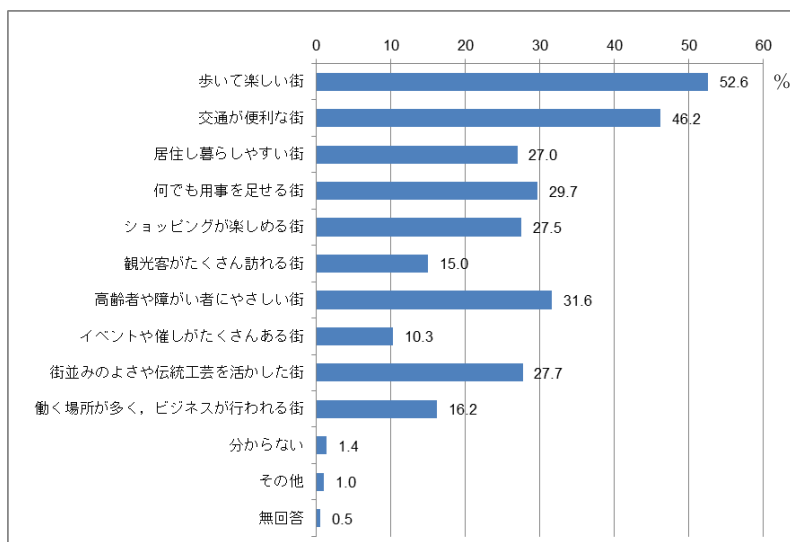
- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1 歩いて楽しい街           | 2 交通が便利な街            |
| 3 居住し暮らしやすい街        | 4 何でも用事を足せる街         |
| 5 ショッピングが楽しめる街      | 6 観光客がたくさん訪れる街       |
| 7 高齢者や障がい者にやさしい街    | 8 イベントや伝統行事がたくさんある街  |
| 9 歴史的街並みや伝統産業を活かした街 | 10 働く場所が多く、ビジネスが活発な街 |
| 11 治安がいい安全・安心な街     | 12 分からない             |
| 13 その他 ( )          |                      |

**【全体】**



「歩いて楽しい街」の割合が45.3%と最も高く、「交通が便利な街」が33.9%と続き、そのほかの設問は2割前後となっている。市が進める「歩いて楽しむ街・もりおか」の施策と、市民の求める姿が近いことがうかがえる一方で、交通に対する関心も高いことが分かる。

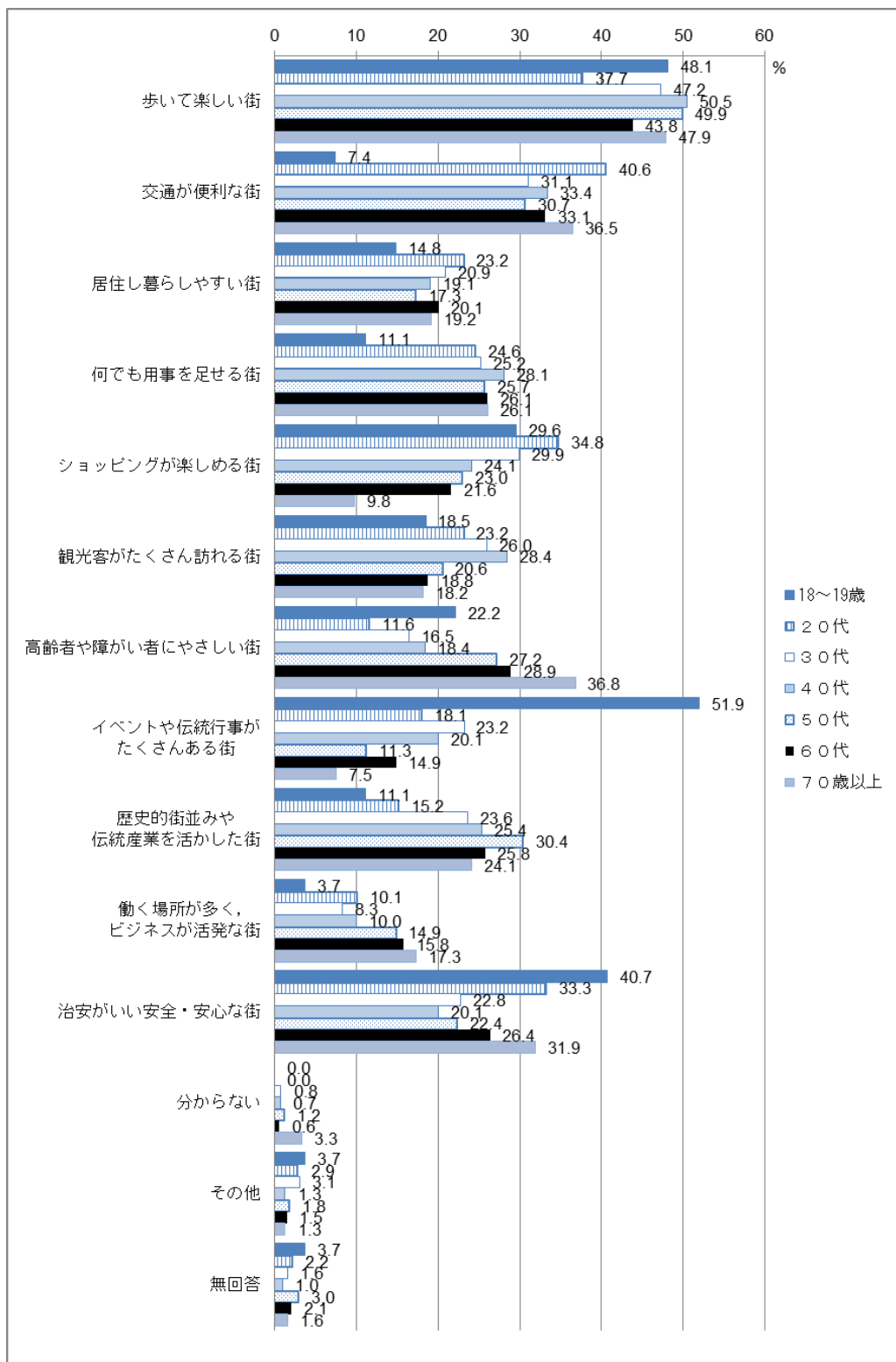
また、「観光客がたくさん訪れる街」と「イベントや伝統行事がたくさんある街」の割合が前回（平成11年度）の同様の調査と比較して増えており、中心市街地の賑わいにつながる取組に対する関心が高まっていることがうかがえる。



**【参考】**

第13回市民意識調査（平成11年度）の類似設問の結果

## 【年代別】



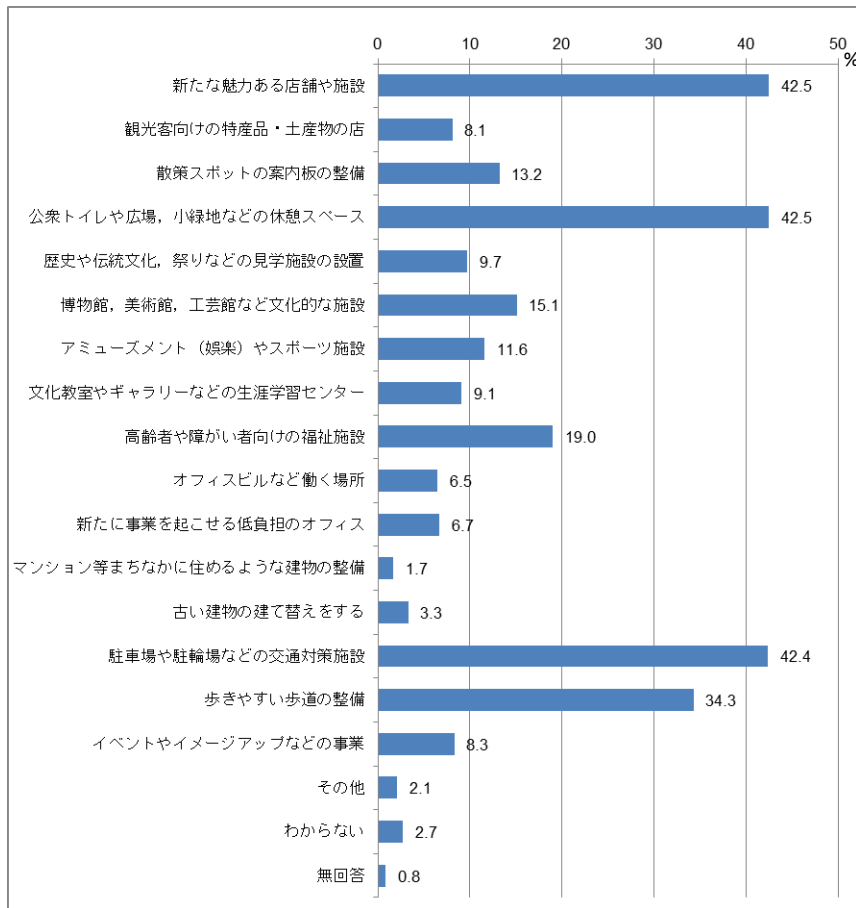
20代から60代までの年代で、「歩いて楽しい街」、「交通が便利な街」の割合が上位2位を占めており、全体に大きな差は見られない。

70歳以上では「高齢者や障がい者にやさしい街」の割合が51.9%と最も高いことから、これに対応することにより中心市街地の魅力を高めることができると考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	歩いて楽しい街	交通が便利な街	居住し暮らしやすい街	何でも用事を足せる街	ショッピングが楽しめる街	観光客がたくさん訪れる街	高齢者や障がい者にやさしい街	イベントや伝統行事がたくさんある街	歴史的街並みや伝統産業を活かした街	働く場所が多く、ビジネスが活発な街	治安がいい安全・安心な街	分からない	その他	無回答
全 体		6252	1019	762	457	563	494	480	580	342	531	306	587	33	37	61
性別	男	2091	350	239	143	205	155	164	173	129	195	108	186	8	18	18
	女	2635	444	322	186	232	227	211	245	139	226	113	249	12	14	15
	無回答	1526	225	201	128	126	112	105	162	74	110	85	152	13	5	28
年代	18～19歳	72	13	2	4	3	8	5	6	14	3	1	11	0	1	1
	20～29歳	383	52	56	32	34	48	32	16	25	21	14	46	0	4	3
	30～39歳	712	120	79	53	64	76	66	42	59	60	21	58	2	8	4
	40～49歳	839	151	100	57	84	72	85	55	60	76	30	60	2	4	3
	50～59歳	936	167	103	58	86	77	69	91	38	102	50	75	4	6	10
	60～69歳	920	144	109	66	86	71	62	95	49	85	52	87	2	5	7
	70歳以上	864	147	112	59	80	30	56	113	23	74	53	98	10	4	5
	無回答	1526	225	201	128	126	112	105	162	74	110	85	152	13	5	28
地区	河北	1444	246	159	117	153	112	102	136	66	121	68	141	1	8	14
	河南	639	109	66	53	70	50	52	50	33	60	25	60	2	9	0
	盛南	656	113	82	38	61	59	50	47	45	65	25	57	3	4	7
	厨川	987	165	125	69	80	75	83	93	58	87	43	94	7	5	3
	都南	808	130	106	42	60	70	72	69	55	69	50	67	6	5	7
	玉山	192	31	23	10	13	16	16	23	11	19	10	16	1	1	2
	無回答	1526	225	201	128	126	112	105	162	74	110	85	152	13	5	28

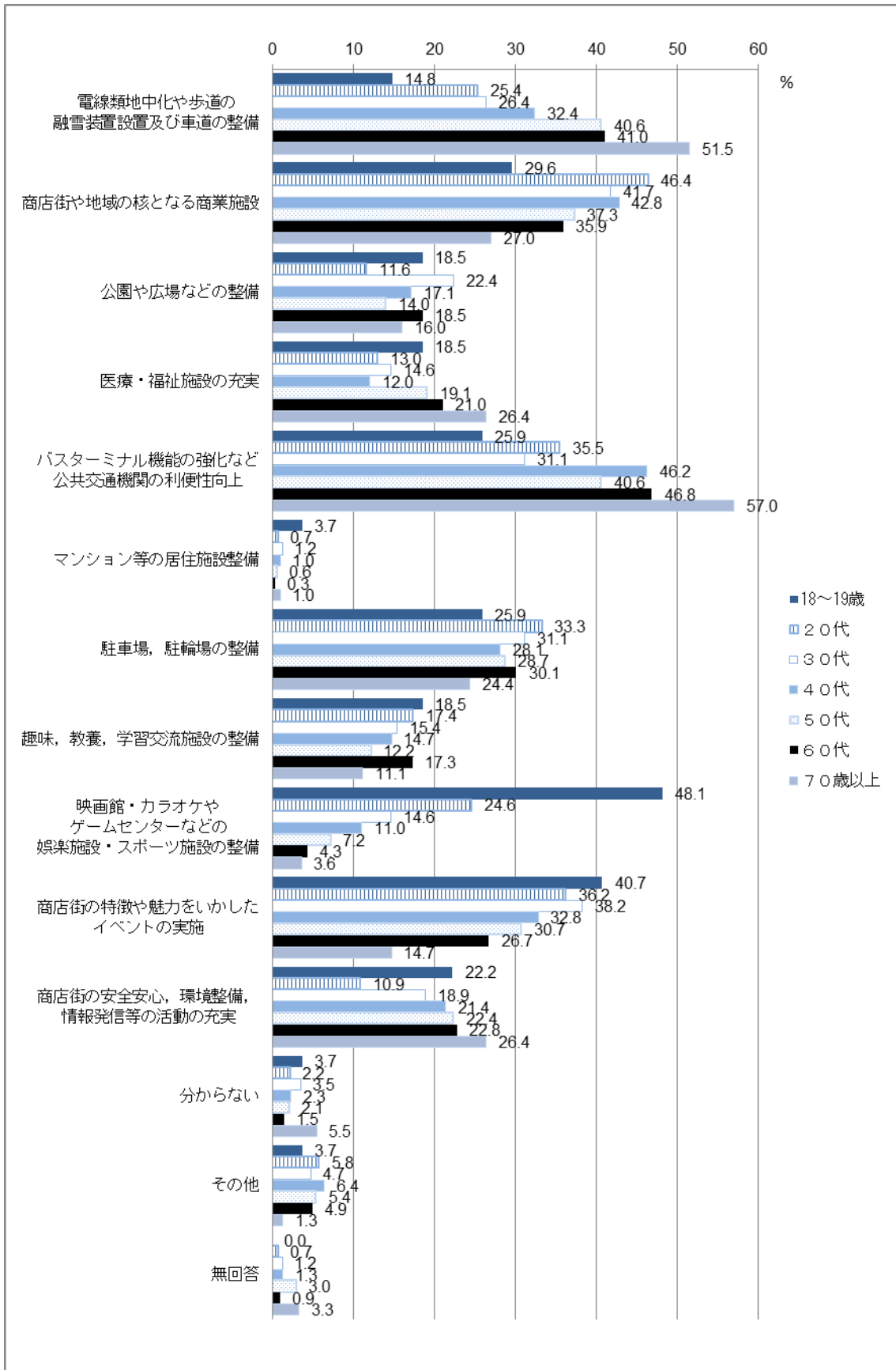




**【参考】**

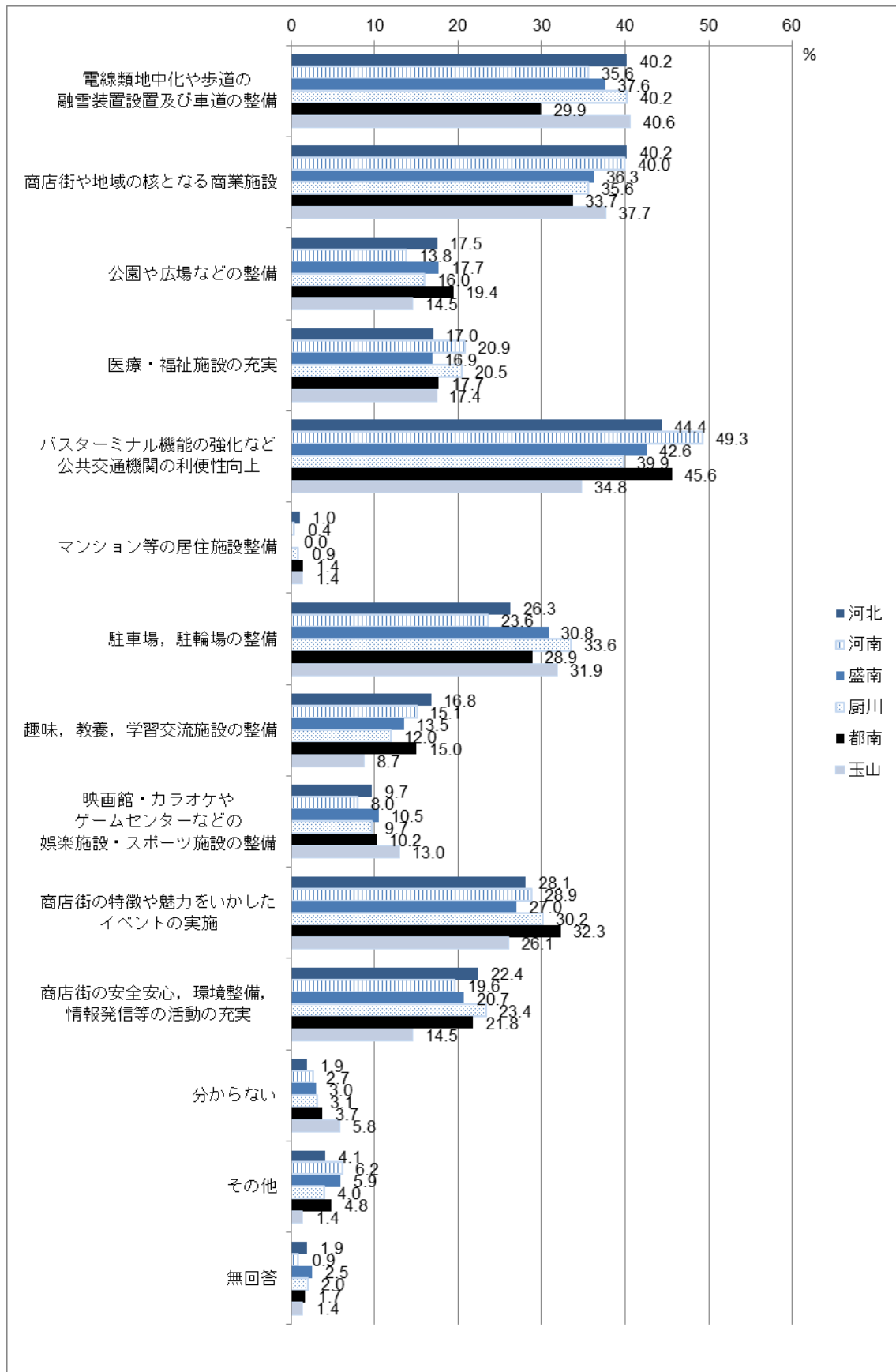
第13回市民意識調査(平成11年度)の類似設問の結果

【年代別】



20代から30代はイベントの実施や商業施設の充実を求める声が多く、40代以上は交通に関する機能の充実と商店街の商業施設の充実を求める声が多いことが分かった。

【地区別】



旧盛岡バスセンター敷地のある河南地区では、他の地区と比較して「バスターミナル機能の強化など公共交通機関の利便性向上」が必要と思う人が多く、地元においてバスセンター整備に注目が集まっていることがうかがえる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

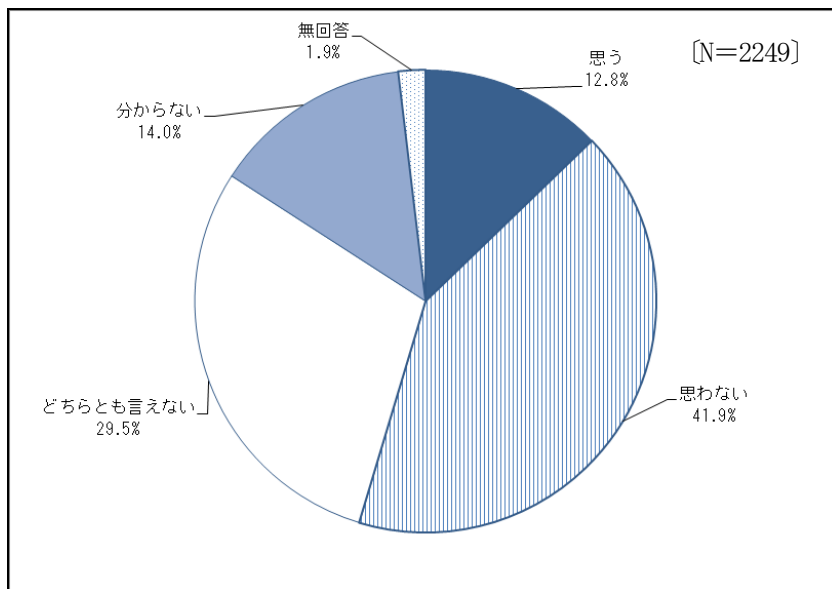
		実数	電線類地中化や歩道の融雪装置設置及び車道の整備	商店街や地域の核となる商業施設	公園や広場などの整備	医療・福祉施設の充実	バスターミナル機能の強化など公共交通機関の利便性向上	マンション等の居住施設整備	駐車場、駐輪場の整備	趣味、教養、学習交流施設の整備	映画館・カラオケやゲームセンターなどの娯楽施設・スポーツ施設の整備	商店街の特徴や魅力を生かしたイベントの実施	商店街の安全安心、環境整備、情報発信等の活動の充実	分からない	その他	無回答
全	体	5996	856	806	393	468	1008	18	617	314	210	595	493	66	101	51
性別	男	2009	285	279	144	127	321	7	214	97	87	209	160	19	47	13
	女	2513	347	353	142	183	417	7	272	147	79	283	204	30	31	18
	無回答	1474	224	174	107	158	270	4	131	70	44	103	129	17	23	20
年代	18～19歳	74	4	8	5	5	7	1	7	5	13	11	6	1	1	0
	20～29歳	364	35	64	16	18	49	1	46	24	34	50	15	3	8	1
	30～39歳	673	67	106	57	37	79	3	79	39	37	97	48	9	12	3
	40～49歳	806	97	128	51	36	138	3	84	44	33	98	64	7	19	4
	50～59歳	884	136	125	47	64	136	2	96	41	24	103	75	7	18	10
	60～69歳	895	135	118	61	69	154	1	99	57	14	88	75	5	16	3
	70歳以上	826	158	83	49	81	175	3	75	34	11	45	81	17	4	10
	無回答	1474	224	174	107	158	270	4	131	70	44	103	129	17	23	20
地区	河北	1393	206	206	90	87	228	5	135	86	50	144	115	10	21	10
	河南	596	80	90	31	47	111	1	53	34	18	65	44	6	14	2
	盛南	628	89	86	42	40	101	0	73	32	25	64	49	7	14	6
	厨川	951	141	125	56	72	140	3	118	42	34	106	82	11	14	7
	都南	782	88	99	57	52	134	4	85	44	30	95	64	11	14	5
	玉山	172	28	26	10	12	24	1	22	6	9	18	10	4	1	1
	無回答	1474	224	174	107	158	270	4	131	70	44	103	129	17	23	20



**問11** あなたは、盛岡市の中心市街地は、5年前（平成24年）と比べて活性化していると思いますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- |             |         |
|-------------|---------|
| 1 思う        | 2 思わない  |
| 3 どちらとも言えない | 4 分からない |

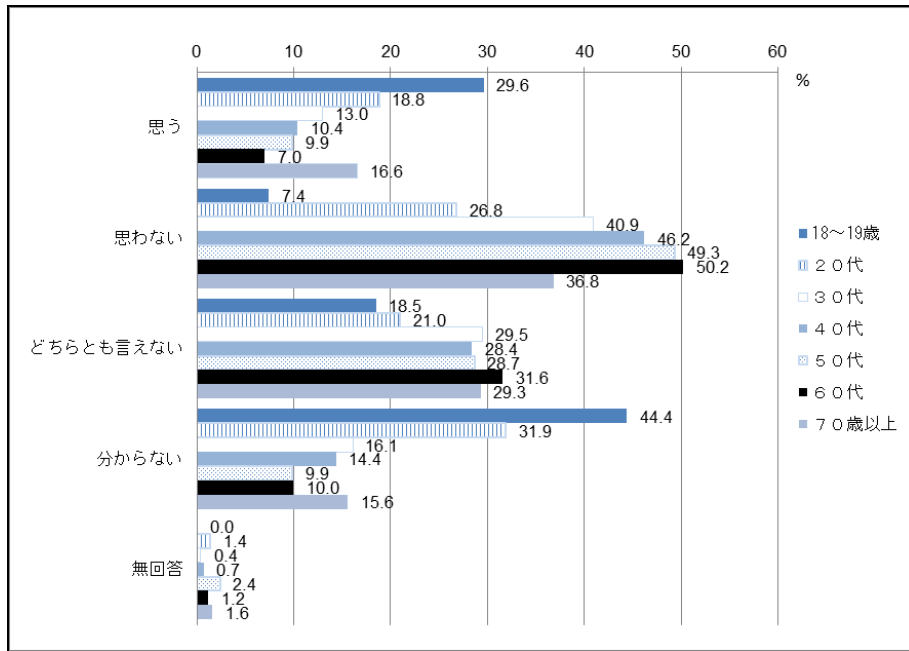
**【全体】**



「思わない」の割合が41.9%と最も高く、「どちらとも言えない」が29.5%、「分からない」が14.0%と続き、「思う」が12.8%にとどまった。

5年前と比較すると、盛岡バスセンターの閉鎖や、岩手医科大学の移転が進められているほか、郊外型大規模小売店舗の相次ぐ出店による中心市街地の個店への影響などが要因と考えられる。

【年代別】



「思わない」の割合が、年代が上がるにつれて高くなっており、60代では50.2%となっている。

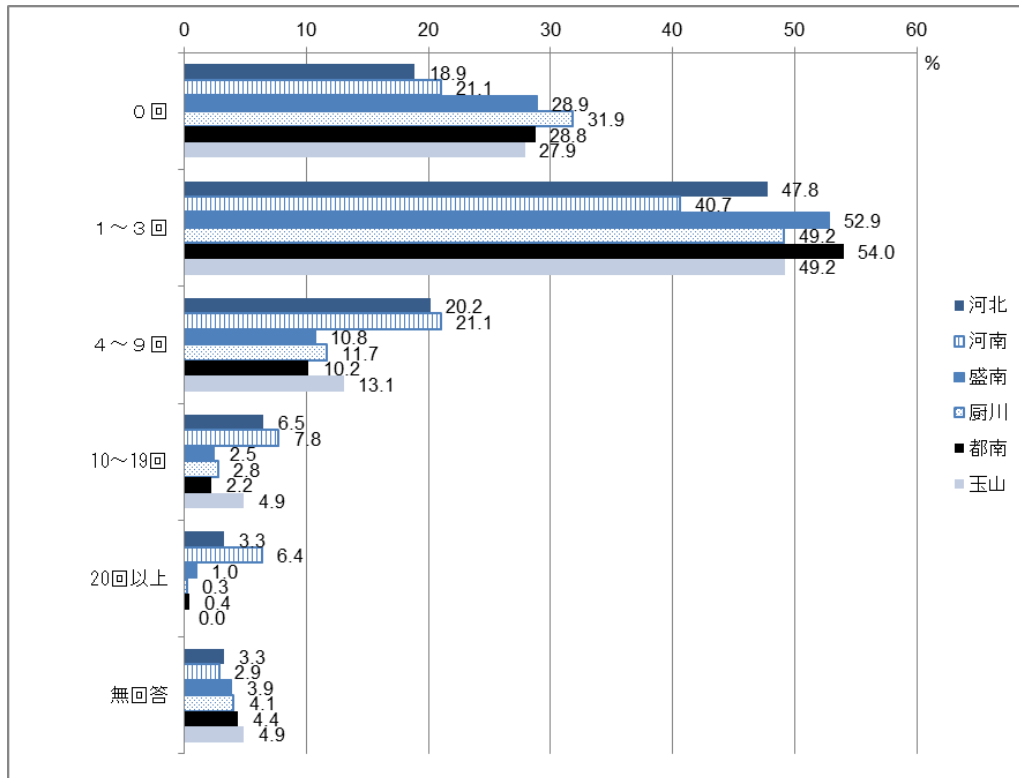
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	思う	思わない	どちらとも言えない	分からない	無回答
全 体		2249	287	943	663	314	42
性別	男	758	90	353	224	80	11
	女	931	115	371	260	174	11
	無回答	560	82	219	179	60	20
年代	18~19歳	27	8	2	5	12	0
	20~29歳	138	26	37	29	44	2
	30~39歳	254	33	104	75	41	1
	40~49歳	299	31	138	85	43	2
	50~59歳	335	33	165	96	33	8
	60~69歳	329	23	165	104	33	4
	70歳以上	307	51	113	90	48	5
	無回答	560	82	219	179	60	20
地区	河北	513	60	227	149	69	8
	河南	225	26	106	56	37	0
	盛南	237	31	105	70	28	3
	厨川	351	45	150	96	56	4
	都南	294	36	114	88	53	3
	玉山	69	7	22	25	11	4
	無回答	560	82	219	179	60	20





【地区別】

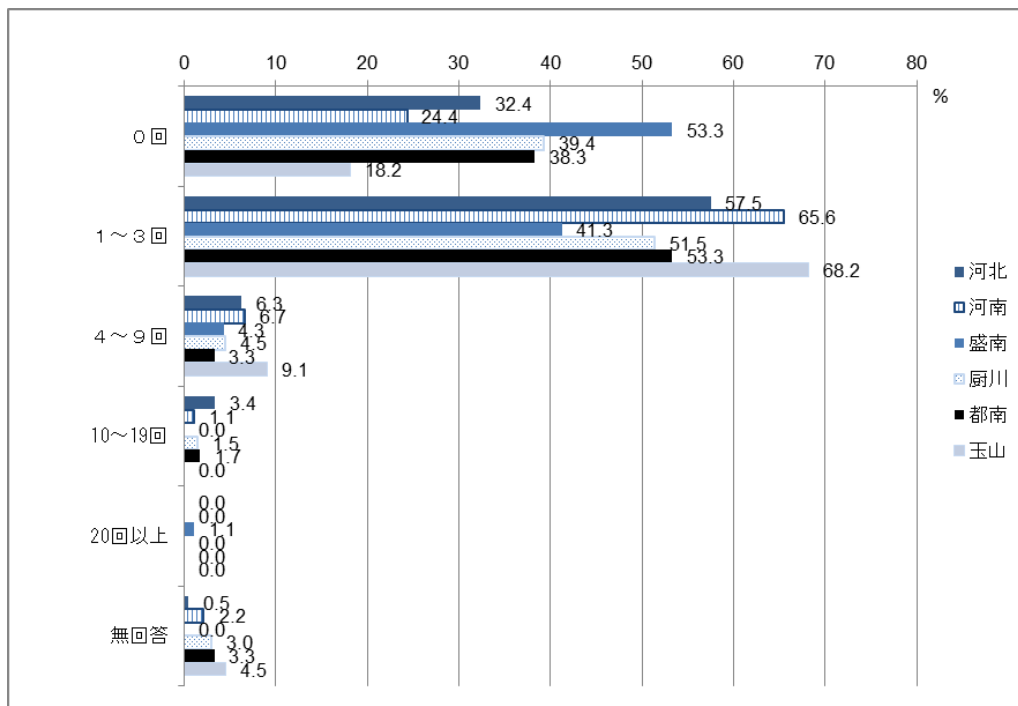


河北・河南地区は他の地区に比べて中心市街地での買い物回数が多く、中心市街地エリアに居住する人は地元である中心市街地で飲食・買い物をする割合が高いことがうかがえる。





【地区別】



玉山地区、河南地区、河北地区では、「0回」の割合が低く、1回以上中心市街地にお出かけしている人の割合が他の地区と比較して高くなっている。

一方、盛南地区は「0回」の割合が他の地区と比較し高く、5割を超えており、近くに娯楽施設等が多く立地しているためと考えられる。

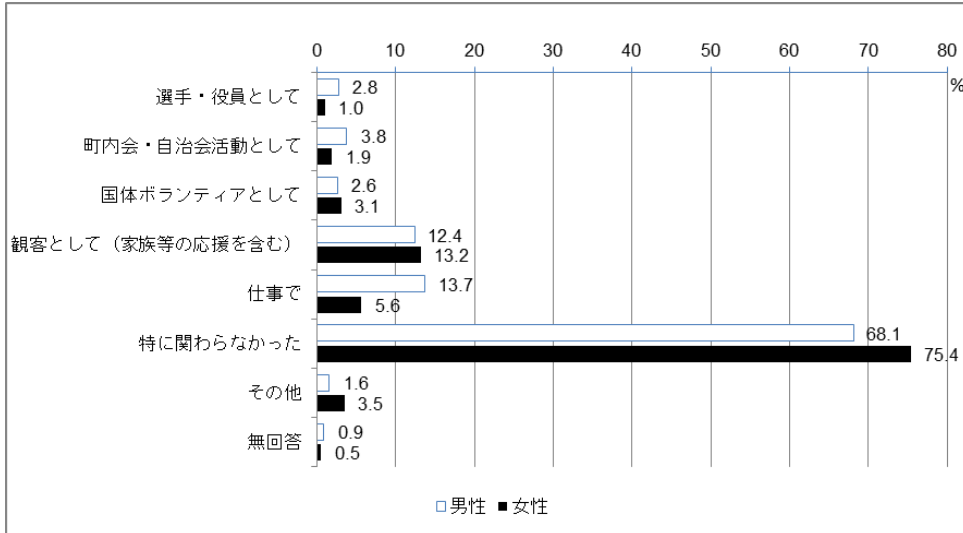
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	0回	1 ~ 3回	4 ~ 9回	10 ~ 19回	20回以上	無回答
全 体		820	283	459	43	13	2	20
性別	男	328	131	172	18	2	1	4
	女	335	109	191	17	10	0	8
	無回答	157	43	96	8	1	1	8
年代	18~19歳	21	5	13	2	0	0	1
	20~29歳	94	13	69	8	1	0	3
	30~39歳	126	60	57	7	0	1	1
	40~49歳	121	58	58	2	2	0	1
	50~59歳	114	42	67	3	2	0	0
	60~69歳	105	39	53	6	3	0	4
	70歳以上	82	23	46	7	4	0	2
	無回答	157	43	96	8	1	1	8
地区	河北	207	67	119	13	7	0	1
	河南	90	22	59	6	1	0	2
	盛南	92	49	38	4	0	1	0
	厨川	132	52	68	6	2	0	4
	都南	120	46	64	4	2	0	4
	玉山	22	4	15	2	0	0	1
	無回答	157	43	96	8	1	1	8





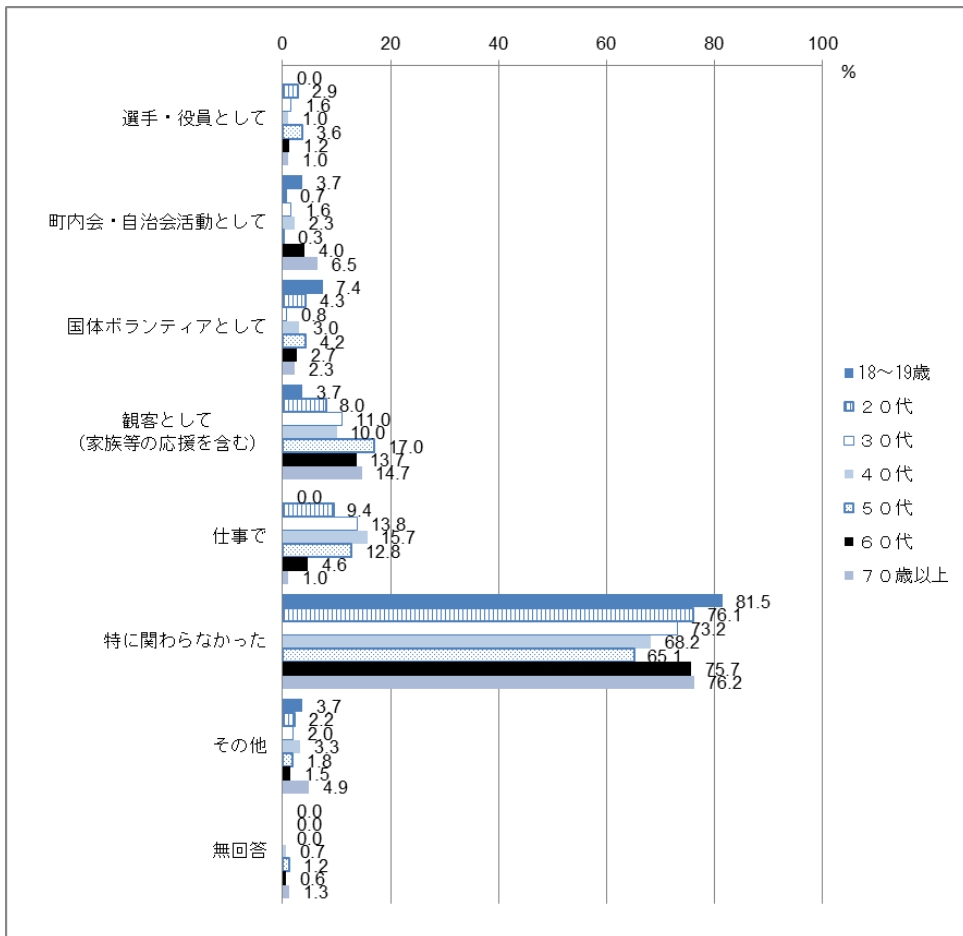
## 【性別】



「特に関わらなかった」の割合は男性が女性を7.3ポイント下回っているのに対して、「仕事で」は8.1ポイント上回っている。

スポーツ大会等の開催・運営に当たっては、育児や子育てとの両立に配慮する等、女性にも興味・関心を持ってもらえるような環境づくりを意識する必要がある。

## 【年代別】



「特に関わらなかった」の割合のうち、20代以下及び60代以上は75%を上回っている。働いている人の多い世代は、仕事で関わる機会があったが、その少ない世代は、関わり方が限られていると考えられる。募金活動や環境美化活動など、多様な関わり方ができるような様々な選択肢を提案し、専門学校や大学、町内会・自治会の参加を促す施策が必要である。

※「その他」に記載された主なもの

- 式典等への出演
- 募金・寄付
- ボランティアの具体的な活動内容
  - ・大会装飾
  - ・花いっぱいプロジェクト

【「その他」について】

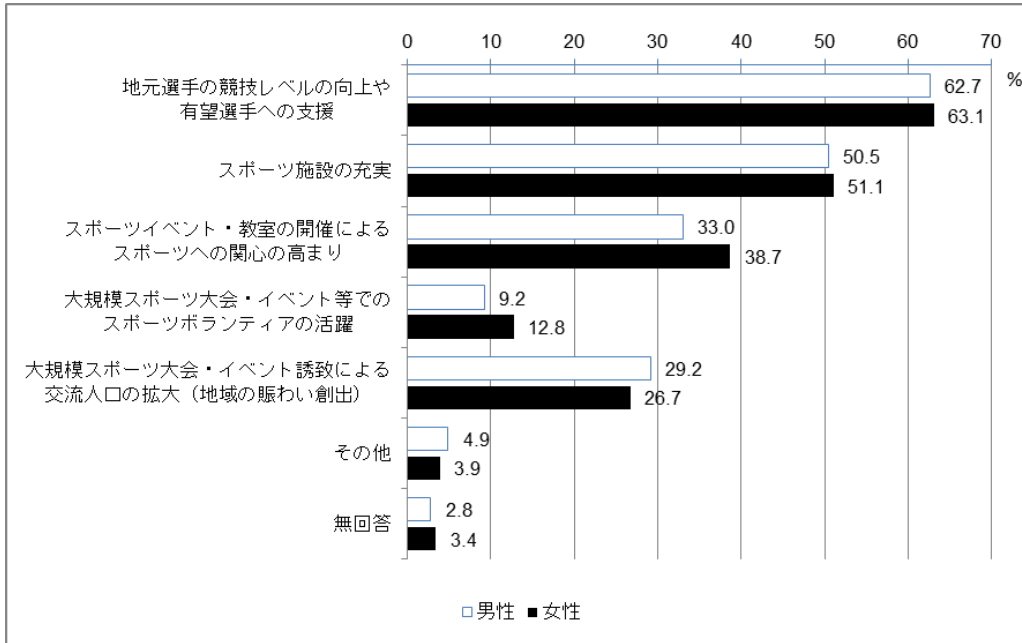
「特に関わらなかった」の割合が72.0%を占めている一方で、「その他」に記載された中には、式典等への出演や、募金・寄付、ボランティアの具体的な活動内容等を記載している回答が多数見られた。割合としては小さいかもしれないが、国体には市民が多様な関わり方をしていたことが分かる。

【性別，年代別，地区別の回答数】

		実数 (人)	選手・役員として	町内会・自治会活動として	国体ボランティアとして	観客として (家族等の応援を含む)	仕事で	特に関わらなかった	その他	無回答
全 体		2365	39	68	66	279	191	1619	63	40
性別	男	803	21	29	20	94	104	516	12	7
	女	971	9	18	29	123	52	702	33	5
	無回答	591	9	21	17	62	35	401	18	28
年代	18～19歳	27	0	1	2	1	0	22	1	0
	20～29歳	143	4	1	6	11	13	105	3	0
	30～39歳	264	4	4	2	28	35	186	5	0
	40～49歳	312	3	7	9	30	47	204	10	2
	50～59歳	355	12	1	14	57	43	218	6	4
	60～69歳	342	4	13	9	45	15	249	5	2
	70歳以上	331	3	20	7	45	3	234	15	4
	無回答	591	9	21	17	62	35	401	18	28
地区	河北	537	10	7	14	54	55	385	9	3
	河南	233	4	1	7	24	23	165	7	2
	盛南	255	4	10	6	34	25	168	5	3
	厨川	363	6	7	10	47	27	254	11	1
	都南	312	4	20	10	44	18	203	11	2
	玉山	74	2	2	2	14	8	43	2	1
	無回答	591	9	21	17	62	35	401	18	28

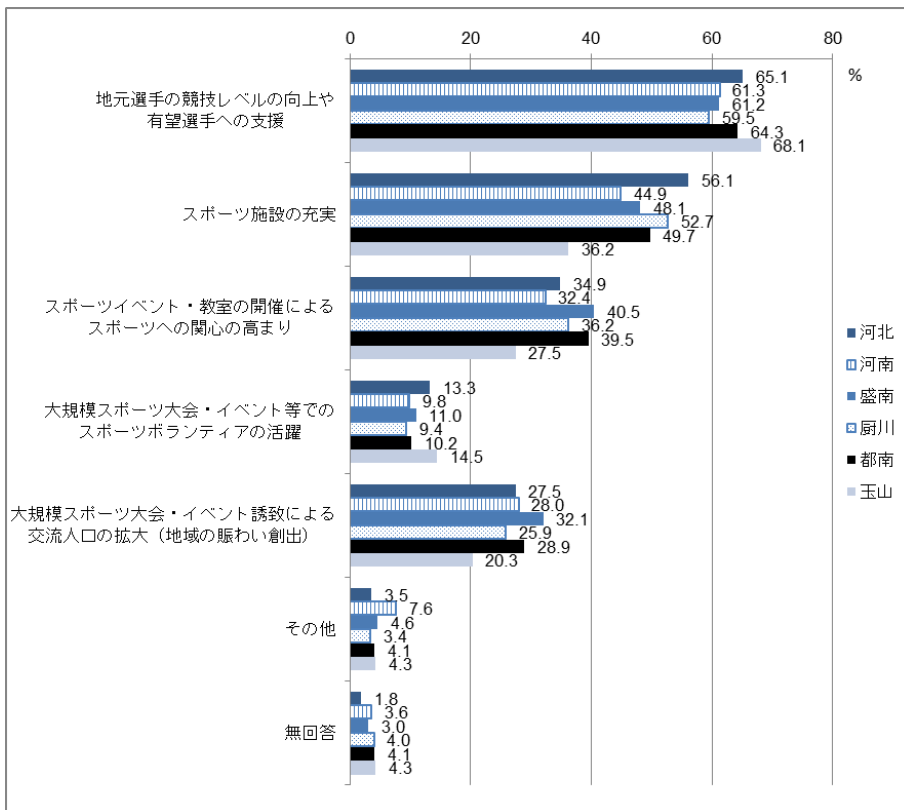


【性別】



「スポーツイベント・教室の開催によるスポーツへの関心の高まり」は女性が 38.7%で男性の 33.0%を上回っていた。スポーツイベント等の開催に当たっては、女性の視点を考慮しながら、事業の効果をより高めていく工夫が必要である。

【地区別】



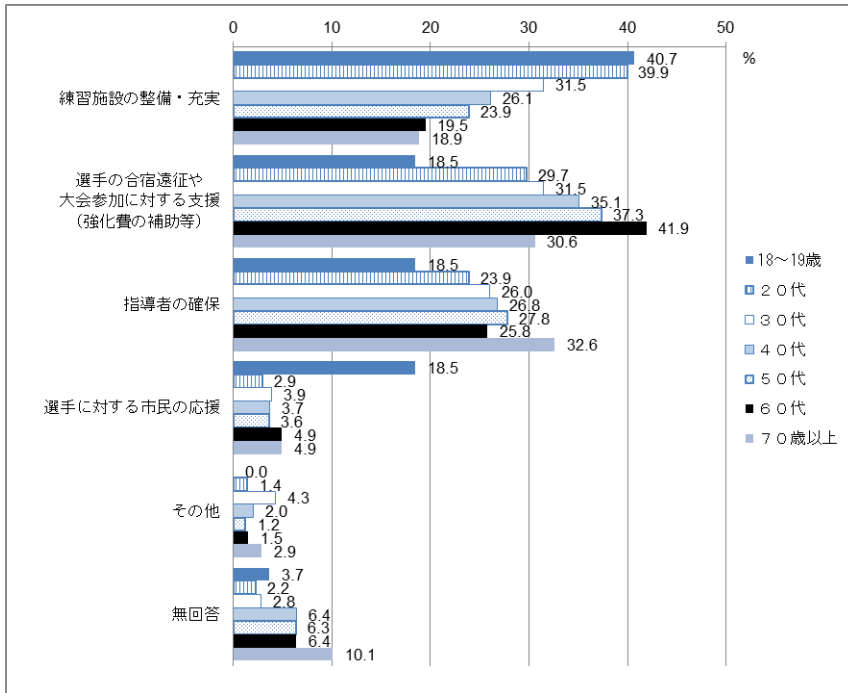
玉山地区では「スポーツ施設の充実」や「スポーツイベント・教室の開催によるスポーツへの関心の高まり」への期待が他地区より低い傾向が見られた。洪民運動公園や学校開放などにより、施設の充実は概ね図られているものと分析され、既存施設の有効活用が求められる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	地元選手の競技レベルの向上や有望選手への支援	スポーツ施設の充実	スポーツイベント・教室の開催によるスポーツへの関心の高まり	大規模スポーツ大会・イベント等でのスポーツボランティアの活躍	大規模スポーツ大会・イベント誘致による交流人口の拡大（地域の賑わい創出）	その他	無回答
全 体		4367	1391	1124	786	241	608	98	119
性別	男	1457	475	383	250	70	221	37	21
	女	1859	587	476	360	119	249	36	32
	無回答	1051	329	265	176	52	138	25	66
年代	18～19 歳	46	15	14	7	3	6	1	0
	20～29 歳	250	83	75	36	16	37	3	0
	30～39 歳	483	138	120	109	21	77	16	2
	40～49 歳	561	187	145	119	20	69	14	7
	50～59 歳	683	215	183	109	44	109	12	11
	60～69 歳	687	219	175	128	44	99	12	10
	70 歳以上	606	205	147	102	41	73	15	23
	無回答	1051	329	265	176	52	138	25	66
地区	河北	1037	334	288	179	68	141	18	9
	河南	422	138	101	73	22	63	17	8
	盛南	475	145	114	96	26	76	11	7
	厨川	671	209	185	127	33	91	12	14
	都南	590	189	146	116	30	85	12	12
	玉山	121	47	25	19	10	14	3	3
	無回答	1051	329	265	176	52	138	25	66

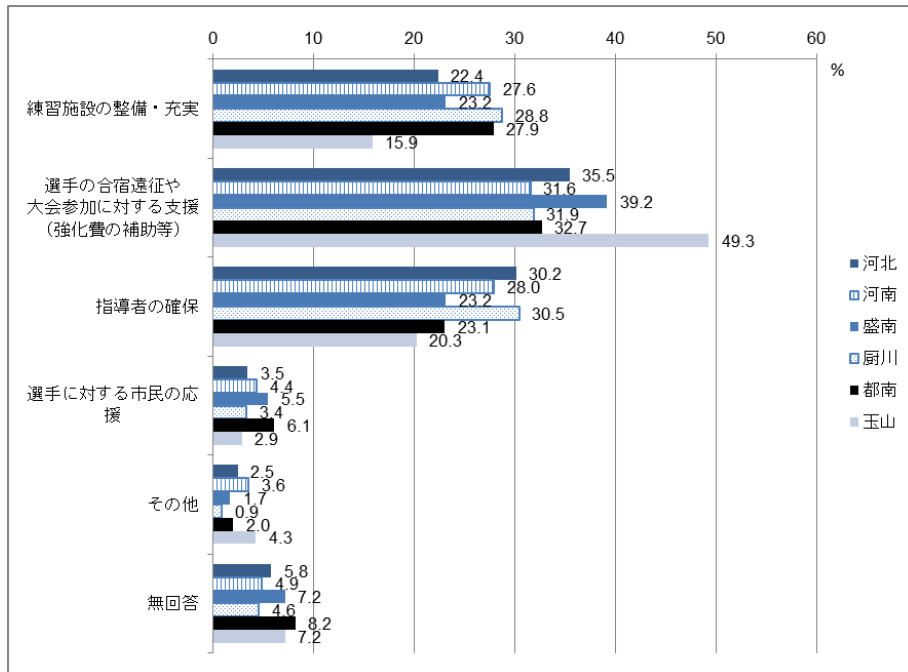


### 【年代別】



「練習施設の整備・充実」については年代が上がるほど割合が低くなり、「選手の合宿遠征や大会参加に対する支援（強化費の補助等）」と「指導者の確保」については年代が上がるほど割合が高くなる傾向が見られた。低い年代ほど自身のスポーツ活動において施設を利用する機会が多いため、施設の整備・充実が必要と考えたものと思われる。各世代で意見が分かれる傾向が見受けられたことから、取組の検討及び推進に当たっては、より分かりやすい説明が求められる。

### 【地区別】



玉山地区では「選手の合宿遠征や大会参加に対する支援（強化費の補助等）」の割合が他地区より高い傾向が見られた。前設問でも施設の充実を期待する人の割合が低かったことから、施設整備を重要視しない傾向がうかがえる。



※「その他」に記載された主なもの

- 支援の必要性に対する意見
  - ・支援は不要
  - ・スポーツ以外のことに力を入れるべき
- 支援の具体策についての意見
  - ・雇用の場を確保するべき
  - ・スポンサー

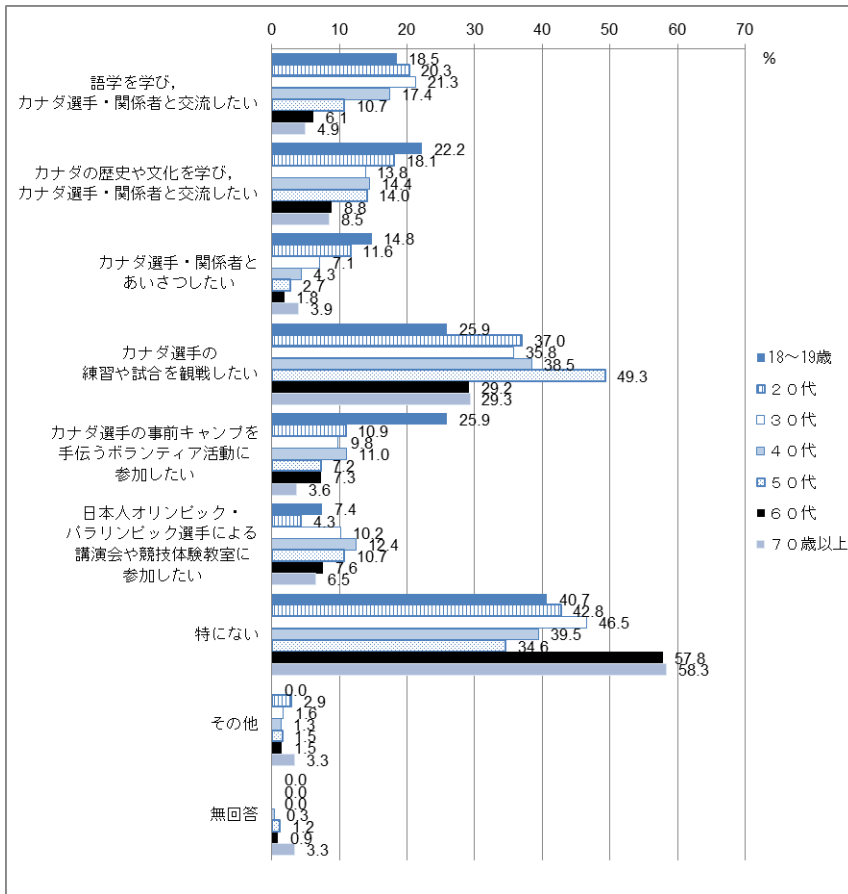
【「その他」について】

選手に対する企業からの支援（スポンサー）や雇用の場の確保等，生活しながら練習・遠征できる環境が必要との回答があった。これらは「選手の合宿遠征や大会参加に対する支援」の具体的な内容であり，市のみならず，岩手県や民間企業等を含めた全体的な支援の検討が求められる。

【性別，年代別，地区別の回答数】

		実数 (人)	練習施設の整備・充実	選手の合宿遠征や大会参加に対する支援 (教化費の補助等)	指導者の確保	選手に対する市民の応援	その他	無回答
全 体		2249	547	743	601	130	53	175
性別	男	758	176	265	213	36	22	46
	女	931	250	323	249	37	15	57
	無回答	560	121	155	139	57	16	72
年代	18～19歳	27	11	5	5	5	0	1
	20～29歳	138	55	41	33	4	2	3
	30～39歳	254	80	80	66	10	11	7
	40～49歳	299	78	105	80	11	6	19
	50～59歳	335	80	125	93	12	4	21
	60～69歳	329	64	138	85	16	5	21
	70歳以上	307	58	94	100	15	9	31
	無回答	560	121	155	139	57	16	72
地区	河北	513	115	182	155	18	13	30
	河南	225	62	71	63	10	8	11
	盛南	237	55	93	55	13	4	17
	厨川	351	101	112	107	12	3	16
	都南	294	82	96	68	18	6	24
	玉山	69	11	34	14	2	3	5
	無回答	560	121	155	139	57	16	72





**【年代別】**

「特にない」は60代以上において回答の割合が高い傾向が見られた。高齢のため、参加したくてもできないという自由記載が複数見られるため、同様の理由から特にないという回答が多いと推察される。

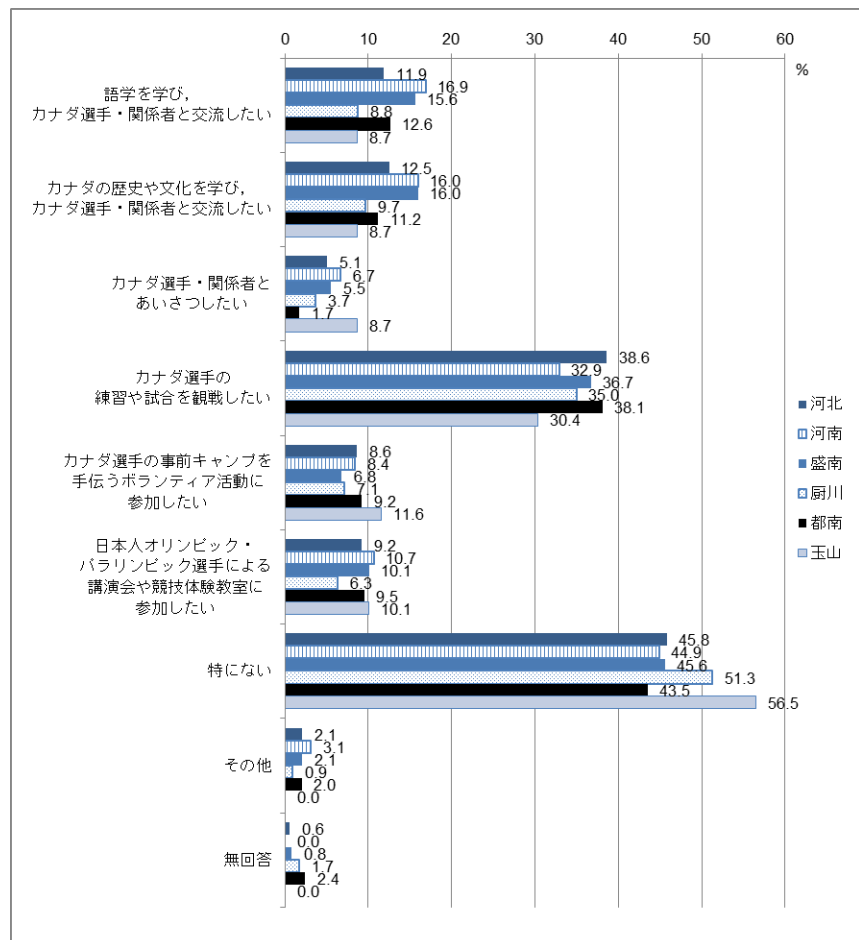
高齢者でも関わられるような交流事業を検討する必要がある。

**【地区別】**

玉山地区では「特にない」が他地区より高い傾向が見られた。

事前キャンプは、練習施設がある盛岡・都南地域での実施となるため、「特にない」の割合が他地区と比較して高くなったと考えられる。

ホストタウン交流が市域全体のムーブメントとなるよう、玉山地区における周知強化を図る必要がある。



【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	語学を学び、カナダ選手・関係者と交流したい	カナダの歴史や文化を学び、カナダ選手・関係者と交流したい	カナダ選手・関係者とあいさつしたい	カナダ選手の練習や試合を観戦したい	カナダ選手の事前キャンプを手伝うボランティア活動に参加したい	日本人オリンピック・パラリンピック選手による講演会や競技体験教室に参加したい	特にない	無回答
全	体	2929	267	257	97	770	169	180	1076	52
性別	男	997	85	105	30	289	55	62	354	12
	女	1249	125	106	48	326	84	90	437	20
	無回答	683	57	46	19	155	30	28	285	20
年代	18～19歳	42	5	6	4	7	7	2	11	0
	20～29歳	204	28	25	16	51	15	6	59	4
	30～39歳	371	54	35	18	91	25	26	118	4
	40～49歳	416	52	43	13	115	33	37	118	4
	50～59歳	442	36	47	9	165	24	36	116	5
	60～69歳	398	20	29	6	96	24	25	190	5
	70歳以上	373	15	26	12	90	11	20	179	10
	無回答	683	57	46	19	155	30	28	285	20
地区	河北	689	61	64	26	198	44	47	235	11
	河南	314	38	36	15	74	19	24	101	7
	盛南	330	37	38	13	87	16	24	108	5
	厨川	437	31	34	13	123	25	22	180	3
	都南	383	37	33	5	112	27	28	128	6
	玉山	93	6	6	6	21	8	7	39	0
	無回答	683	57	46	19	155	30	28	285	20

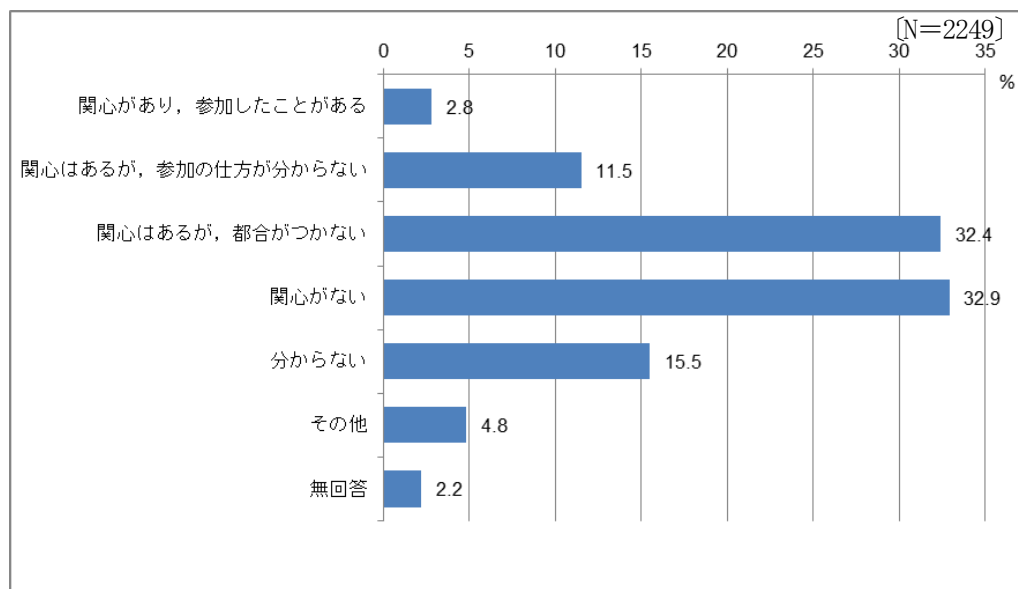
**問 20** 大きなスポーツイベントではボランティアの活躍が期待されていますが、あなたは、スポーツボランティアに関心はありますか。当てはまるものに○を付けてください。

**【スポーツボランティアの例】**

啄木マラソン大会や川下り大会等のスポーツイベントでの受付業務や選手誘導  
グルージャ盛岡・岩手ビッグブルズ等プロスポーツの試合での会場準備や受付業務

- 1 関心があり、参加したことがある
- 2 関心はあるが、参加の仕方が分からない
- 3 関心はあるが、都合がつかない
- 4 関心がない
- 5 分からない
- 6 その他 ( )

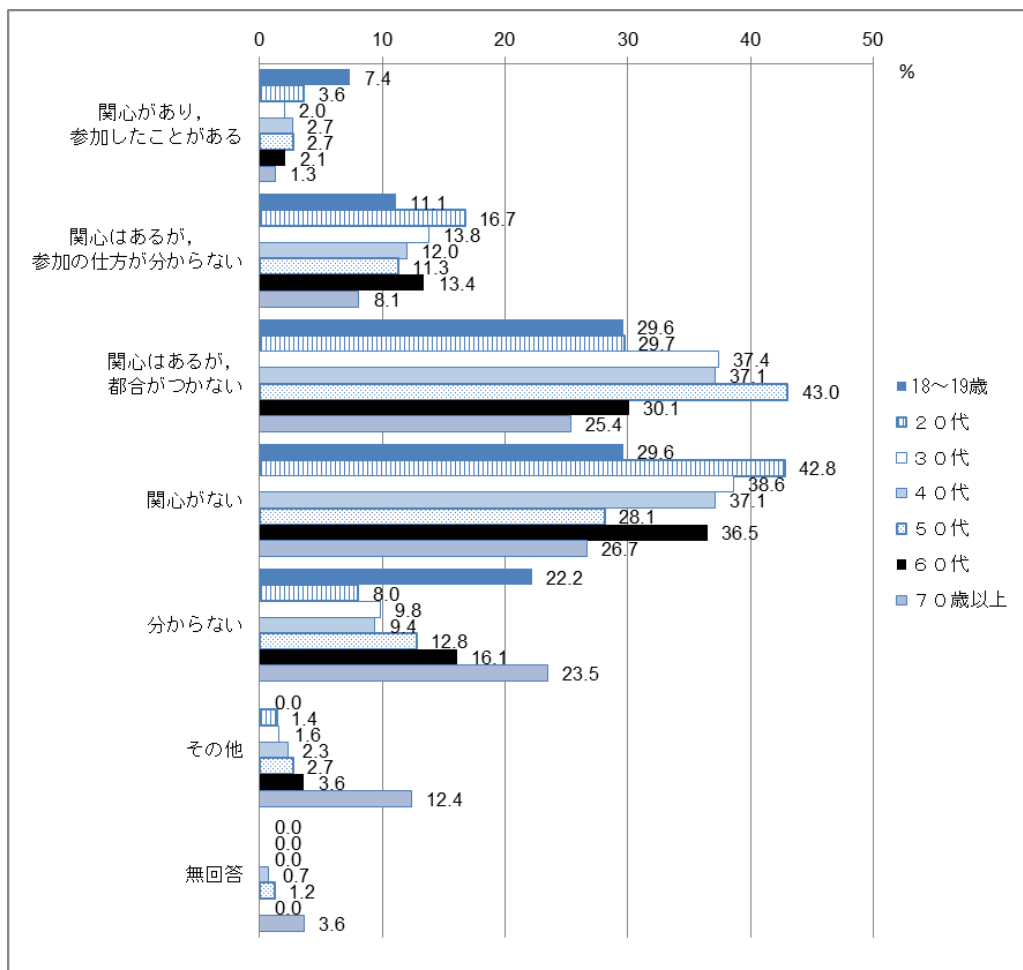
**【全体】**



「関心があり、参加したことがある」の割合は2.8%と低いですが、「関心はあるが、都合がつかない」の32.4%と、「関心はあるが、参加の仕方が分からない」の11.5%を合わせると4割を占めていることが分かる。

今後、スポーツボランティアへの参加の仕方を分かりやすくし、参加へ結びつけることが課題であると考えられる。

## 【年代別】



70歳以上の回答の内訳をしてみると、「興味がない」が26.7%で他の年代よりも低い一方、「その他」が12.4%で他の年代よりも突出して高い。

「その他」の自由記載の過半数が高齢や体力を理由にスポーツボランティアに関わることのできない旨を記載していることから、興味はあるが年齢や体力を理由に参加できないという状況がうかがえる。

### ※「その他」に記載された主なもの

- ・興味はあるが高齢のため参加できない
- ・体力に不安がある

### 【「その他」について】

「その他」の回答が全体の4.8%を占めているが、その自由記載の過半数が高齢や体力を理由にスポーツボランティアに関わることのできない旨を記載している。

スポーツボランティアの活動の中には、必ずしも体力を必要としない活動もあることを周知していくとともに、参加者の体力や能力に合わせてボランティアのメニューを提案していくことが求められると考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

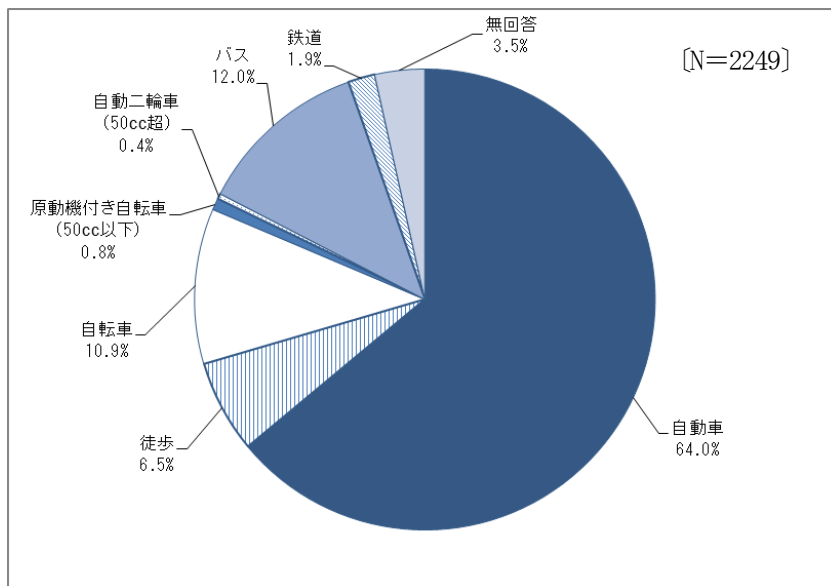
		実数	関心があり、 参加したことがある	関心はあるが、 参加の仕方が分からない	関心はあるが、 都合がつかない	関心がない	分からない	その他	無回答
全 体		2295	63	259	728	739	348	109	49
性別	男	771	25	90	266	265	93	28	4
	女	948	15	114	310	307	145	44	13
	無回答	576	23	55	152	167	110	37	32
年代	18～19 歳	27	2	3	8	8	6	0	0
	20～29 歳	141	5	23	41	59	11	2	0
	30～39 歳	262	5	35	95	98	25	4	0
	40～49 歳	303	8	36	111	111	28	7	2
	50～59 歳	341	9	38	144	94	43	9	4
	60～69 歳	335	7	44	99	120	53	12	0
	70 歳以上	310	4	25	78	82	72	38	11
	無回答	576	23	55	152	167	110	37	32
地区	河北	523	9	66	190	164	66	23	5
	河南	230	7	23	71	85	30	11	3
	盛南	240	4	32	80	81	35	7	1
	厨川	358	6	39	118	126	50	17	2
	都南	298	6	35	96	98	45	12	6
	玉山	70	8	9	21	18	12	2	0
	無回答	576	23	55	152	167	110	37	32

## 《テーマ4 交通手段について》

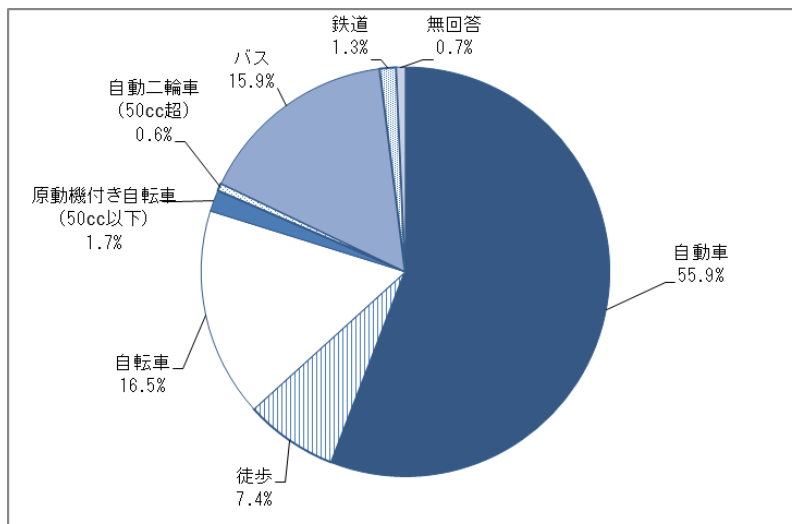
**問 21** あなたが、普段利用している主な交通手段は何ですか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1 自動車            | 2 徒歩                 |
| 3 自転車            | 4 原動機付き自転車 (50cc 以下) |
| 5 自動二輪車 (50cc 超) | 6 バス                 |
| 7 鉄道             |                      |

### 【全体】

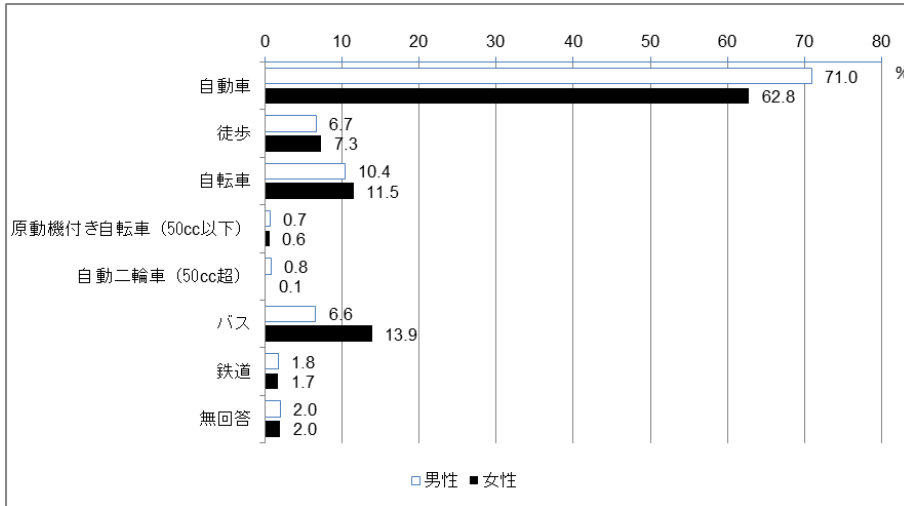


「自動車」の割合が64.0%で最も高く、次いで「バス」が12.0%、「自転車」が10.9%と続いている。前回（平成17年度）の同様の調査では、「自動車」が55.9%、「自転車」が16.5%、「バス」が15.9%となっており、前回調査よりも自動車利用が高くなり、バス・自転車の利用者が減少している。マイカー依存が高い状況が続いていることから、今後も公共交通利用促進に取り組む必要がある。



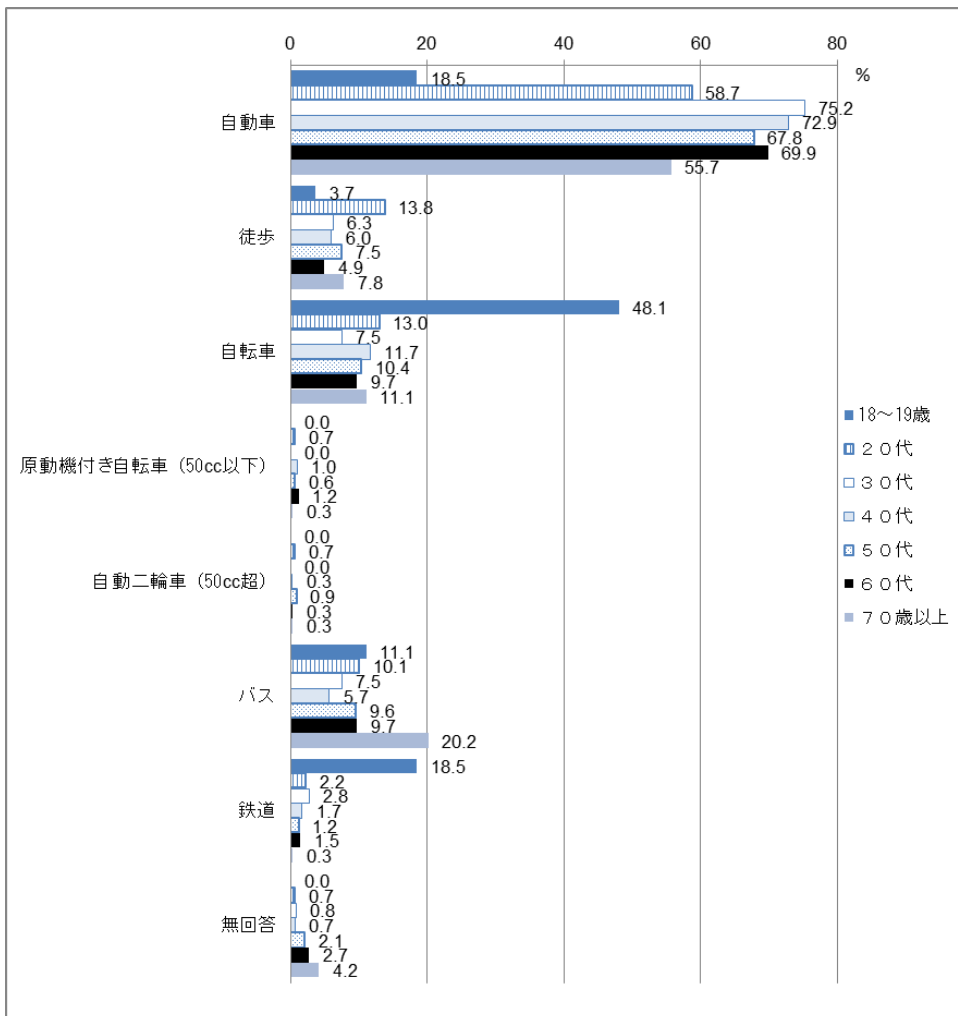


### 【性別】



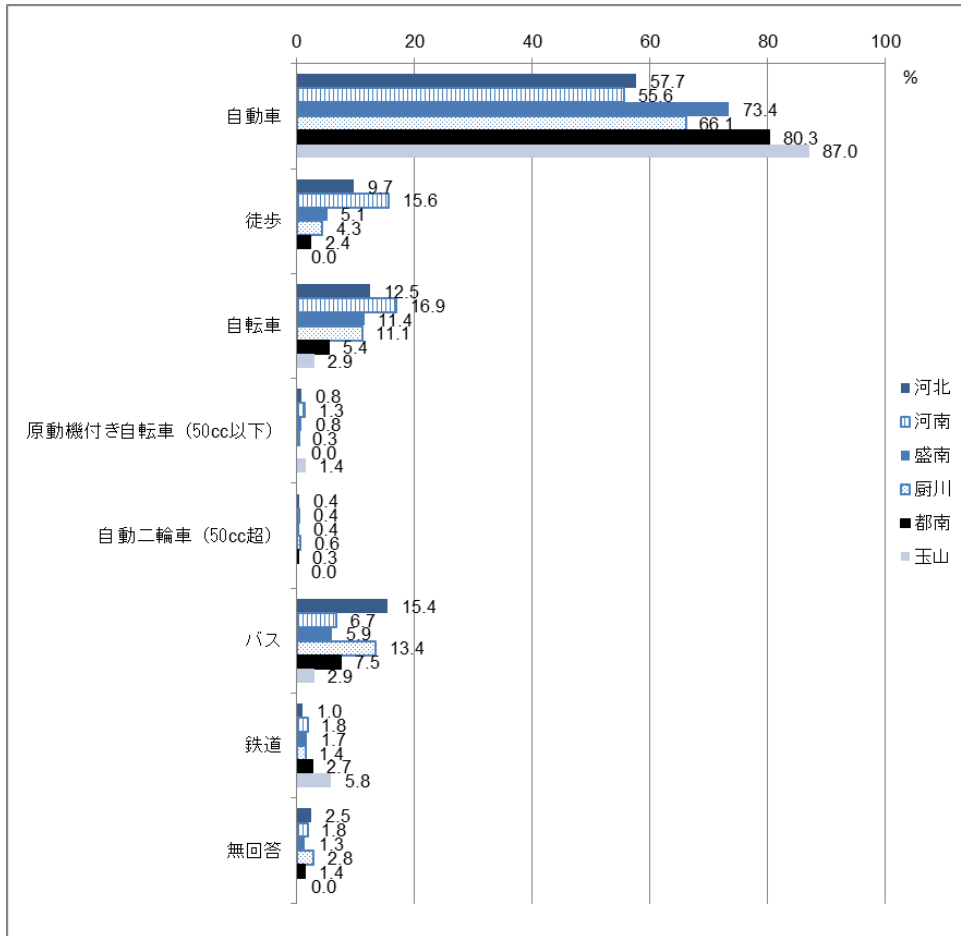
「自動車」の割合は男性が71.0%で女性の62.8%を上回り、「バス」は、女性が13.9%で男性の6.6%を上回っている。これは、運転免許保有者の統計上、女性に比べて男性が多いことや、男性の方が通勤や仕事での自動車利用が多いためと思われる。

### 【年代別】



30代から60代の自動車利用が特に多いが、これは通勤や仕事での利用と考えられる。18歳から19歳の自転車、鉄道利用が特に多い理由は、運転免許取得前の高校生や自動車を保有していない学生と思われる。バス利用については70歳以上が多く、免許返納等により自動車から公共交通への転換意識が高まっている状況がうかがえるが、おでかけバス事業も利用促進に貢献しているものと思われる。

【地区別】



玉山・都南・盛南地区において、自動車利用が多い。これは、鉄道やバス路線を使うことができる地域が限られたり、バス運行の不便な地域があるためと思われる。今後、公共交通が利用しにくい地域状況を把握しながら公共交通利用促進策を検討していく必要がある。

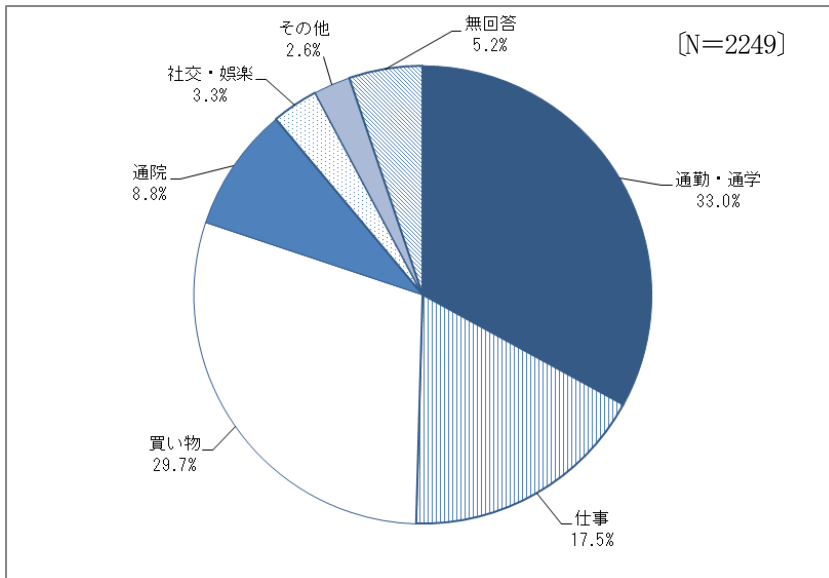
【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	自動車	徒歩	自転車	原動機つき自転車 (50cc以下)	自動二輪車 (50cc超)	バス	鉄道	無回答
全 体		2249	1438	147	245	19	8	270	43	79
性別	男	758	538	51	79	5	6	50	14	15
	女	931	585	68	107	6	1	129	16	19
	無回答	560	315	28	59	8	1	91	13	45
年代	18～19歳	27	5	1	13	0	0	3	5	0
	20～29歳	138	81	19	18	1	1	14	3	1
	30～39歳	254	191	16	19	0	0	19	7	2
	40～49歳	299	218	18	35	3	1	17	5	2
	50～59歳	335	227	25	35	2	3	32	4	7
	60～69歳	329	230	16	32	4	1	32	5	9
	70歳以上	307	171	24	34	1	1	62	1	13
	無回答	560	315	28	59	8	1	91	13	45
地区	河北	513	296	50	64	4	2	79	5	13
	河南	225	125	35	38	3	1	15	4	4
	盛南	237	174	12	27	2	1	14	4	3
	厨川	351	232	15	39	1	2	47	5	10
	都南	294	236	7	16	0	1	22	8	4
	玉山	69	60	0	2	1	0	2	4	0
	無回答	560	315	28	59	8	1	91	13	45

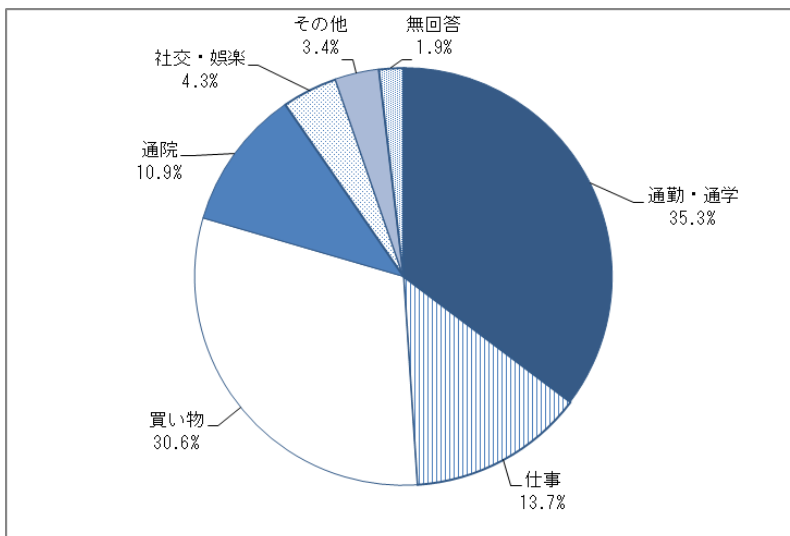
**問22** あなたが、問21 で選んだ交通手段を利用する主な目的は何ですか。当てはまるもの1つに〇を付けてください。

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1 通勤・通学 | 2 仕事      |
| 3 買い物   | 4 通院      |
| 5 社交・娯楽 | 6 その他 ( ) |

**【全体】**



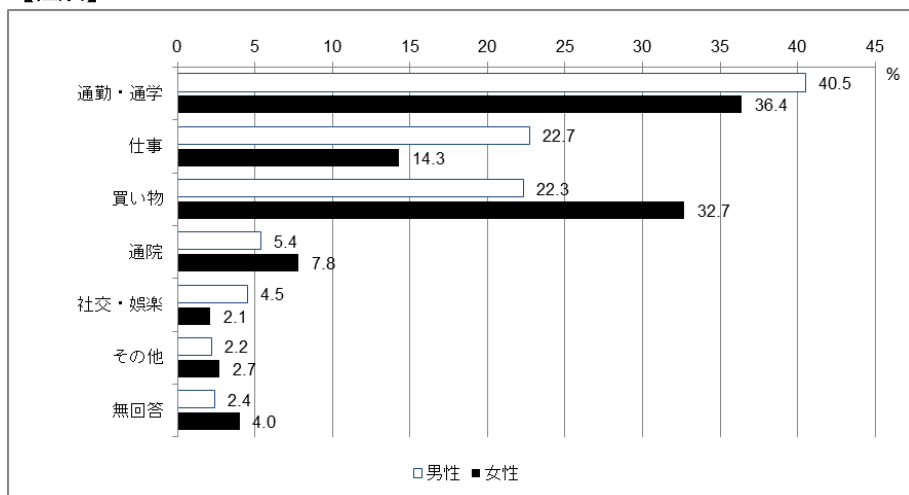
「通勤・通学」の割合が33.0%で最も高く、次いで「買い物」が29.7%、「仕事」が17.5%と続いている。前回（平成17年度）の同様の調査では、「通勤・通学」が35.3%、「買い物」が30.6%、「仕事」が13.7%となっており、前回調査と同様の割合である。



**【参考】**

第16回市民意識調査（平成17年度）の同設問の結果

【性別】



男性が交通手段を利用する主な目的は「通勤・通学」であり、女性は「通勤・通学」や「買い物」での利用が特に多い。

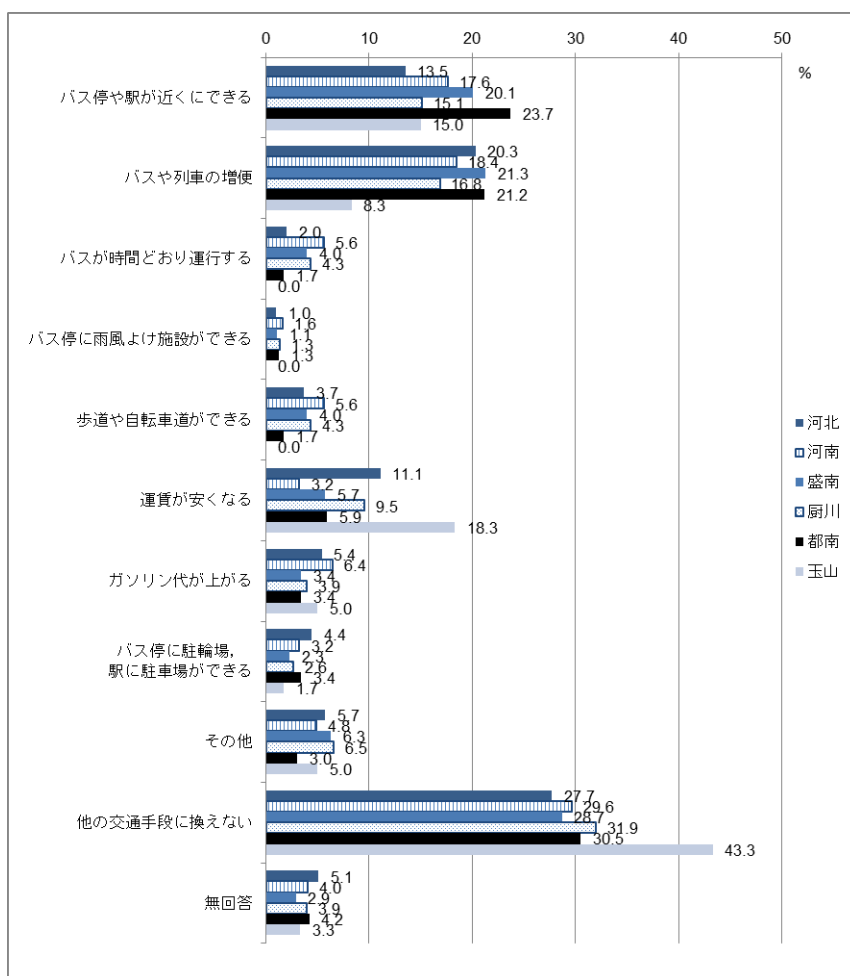
※「その他」に記載された主なもの

- ・多目的利用
- ・送迎

【性別，年代別，地区別の回答数】

		実数 (人)	通勤・通学	仕事	買い物	通院	社交・娯楽	その他	無回答
全 体		2249	742	393	667	199	74	58	116
性別	男	758	307	172	169	41	34	17	18
	女	931	339	133	304	73	20	25	37
	無回答	560	96	88	194	85	20	16	61
年代	18～19歳	27	19	0	5	0	2	0	1
	20～29歳	138	81	20	31	2	3	1	0
	30～39歳	254	127	64	43	4	7	5	4
	40～49歳	299	162	61	56	6	7	3	4
	50～59歳	335	168	72	68	8	3	5	11
	60～69歳	329	72	64	135	19	18	13	8
	70歳以上	307	17	24	135	75	14	15	27
	無回答	560	96	88	194	85	20	16	61
地区	河北	513	190	86	157	41	23	9	7
	河南	225	83	43	69	7	4	8	11
	盛南	237	91	44	65	15	6	8	8
	厨川	351	133	58	98	26	11	11	14
	都南	294	119	59	72	19	6	5	14
	玉山	69	30	15	12	6	4	1	1
	無回答	560	96	88	194	85	20	16	61





### 【地区別】

玉山地区は「運賃が安くなる」や「他の交通手段に換えない」の割合が高い。市中心部までバス・鉄道運賃が高いこと、バス・鉄道運行地域が限られているためと考えられる。

### ※「その他」に記載された主なもの

- ・バス路線、バス停、運行本数等の改善
- ・免許返納後に他の交通手段に換える
- ・公共交通の利用環境改善

#### 【「その他」について】

バスの運行本数、運行ルート、バス停の位置等の改善に関する意見が多かったことから、地域のニーズを把握しながら改善していく必要がある。また、今は運転できるが、高齢になり運転免許返納後、公共交通を利用するという意見もあった。今後、このような意見は高齢化が進むにつれ増えると思われる。

### ※「他の交通手段に換えない理由」に記載された主なもの

- ・送迎や荷物、仕事の都合上、車利用が必要
- ・自動車が便利だから
- ・公共交通が不便だから
- ・公共交通が近くにないから

#### 【「他の交通手段に換えない理由」について】

子の送迎や買い物後の荷物運搬、仕事の都合上、自動車を利用するという意見が多かった。また、自動車が便利、公共交通は不便という意見も多数あるので、利便性向上等の検討や公共交通を利用するメリット（環境・健康・経済的等）を広く周知する方法について、今後検討する必要がある。

【性別、年代別、地区別の回答数】

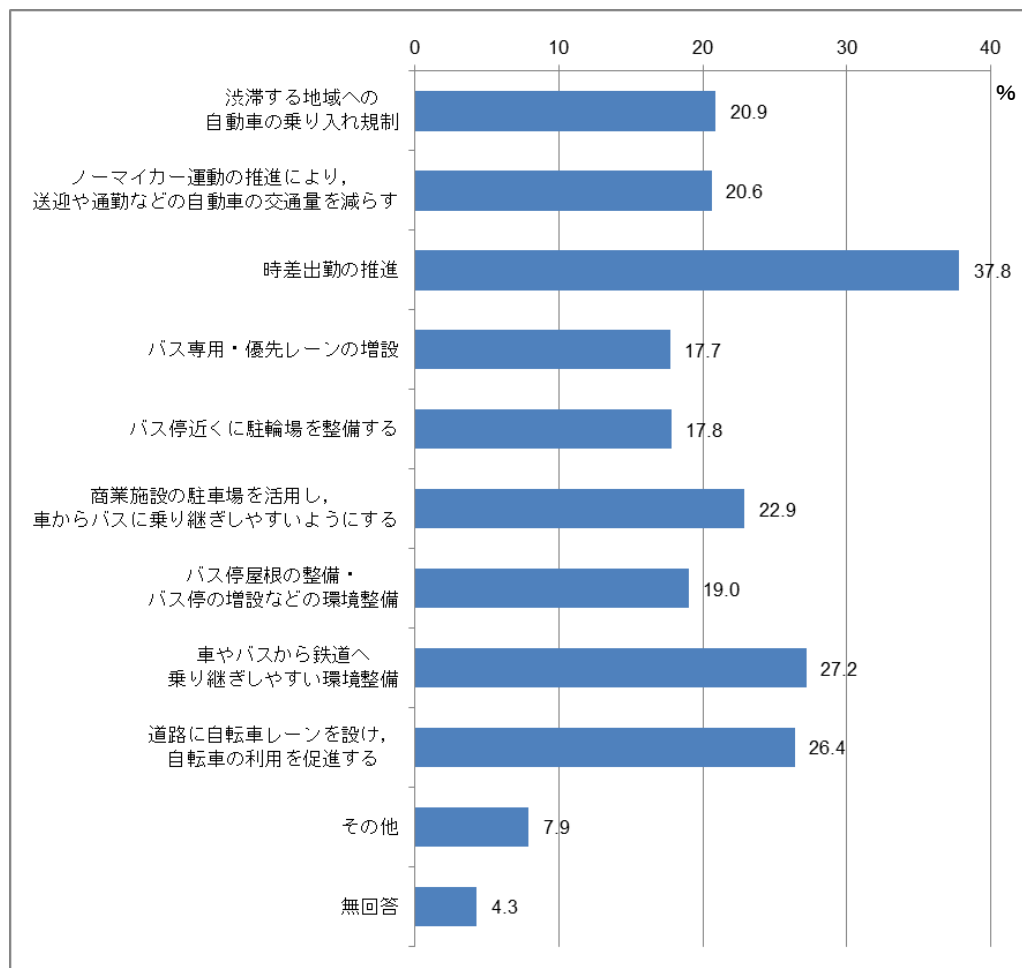
		実数 (人)	バス停や駅が近くにできる	バスや列車の増便	バスが時間どおり運行する	バス停に雨風よけ施設ができる	歩道や自転車道ができる	運賃が安くなる	ガソリン代が上がる	バス停に駐輪場、駅に駐車場ができる	その他	他の交通手段に換えない	無回答
全 体		1438	247	267	50	19	49	139	57	47	74	409	80
性別	男	538	81	102	15	2	24	40	35	16	28	174	21
	女	585	116	112	19	11	15	54	15	20	31	167	25
	無回答	315	50	53	16	6	10	45	7	11	15	68	34
年代	18～19 歳	5	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	20～29 歳	81	18	24	2	0	2	7	0	1	3	22	2
	30～39 歳	191	33	37	7	6	3	8	7	4	11	70	5
	40～49 歳	218	38	38	1	2	8	23	11	7	7	72	11
	50～59 歳	227	32	55	9	0	8	16	6	8	10	75	8
	60～69 歳	230	40	29	5	3	11	25	19	9	14	68	7
	70 歳以上	171	34	30	10	2	6	15	6	7	14	34	13
	無回答	315	50	53	16	6	10	45	7	11	15	68	34
地区	河北	296	40	60	6	3	11	33	16	13	17	82	15
	河南	125	22	23	7	2	7	4	8	4	6	37	5
	盛南	174	35	37	7	2	7	10	6	4	11	50	5
	厨川	232	35	39	10	3	10	22	9	6	15	74	9
	都南	236	56	50	4	3	4	14	8	8	7	72	10
	玉山	60	9	5	0	0	0	11	3	1	3	26	2
	無回答	315	50	53	16	6	10	45	7	11	15	68	34



**問 24** あなたは、交通渋滞を緩和するために道路整備以外にどのような方法が必要だと思いますか。最も当てはまるものから3つまで○を付けてください。

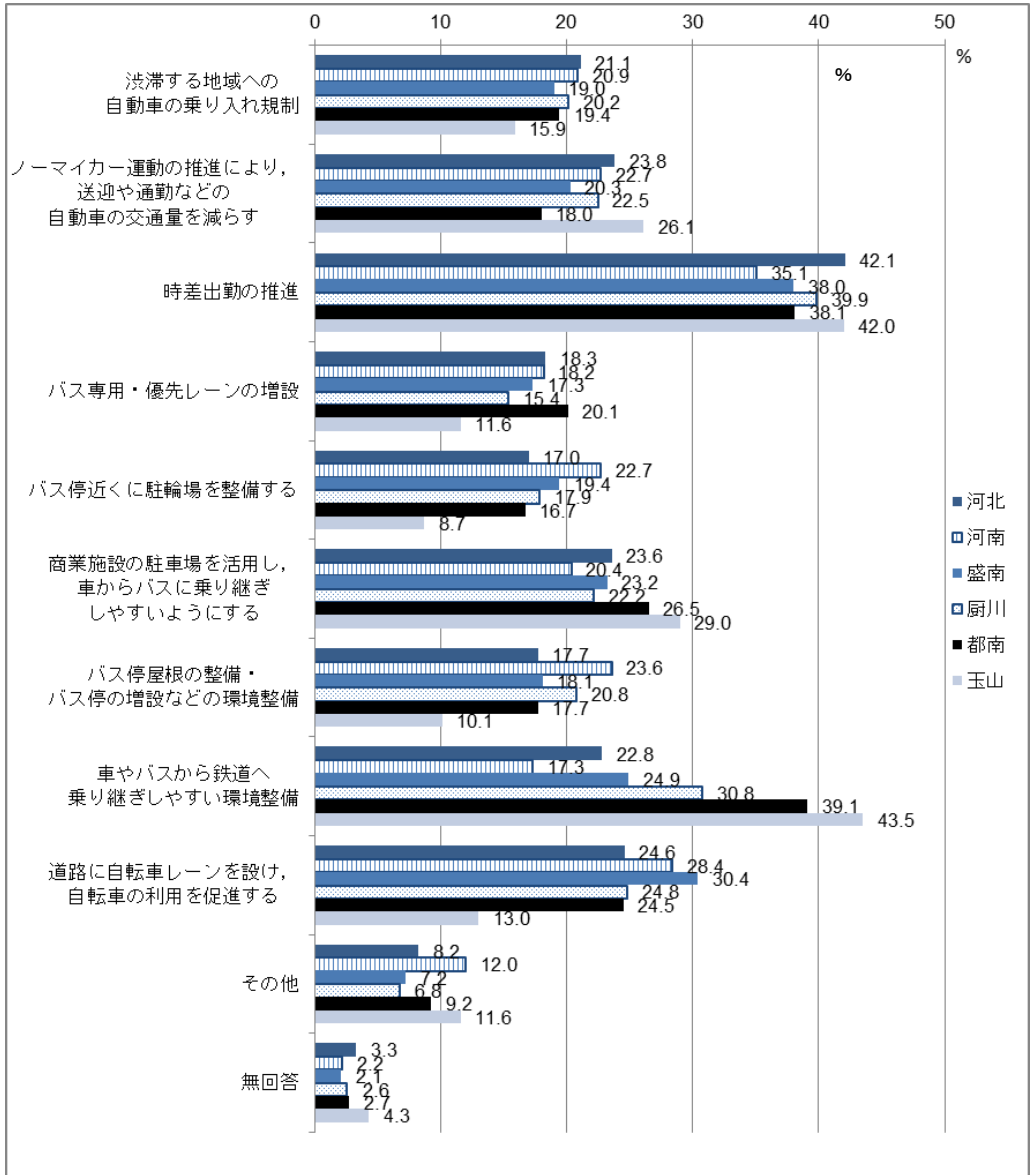
- 1 渋滞する地域への自動車の乗り入れ規制
- 2 ノーマイカー運動の推進により、送迎や通勤などの自動車の交通量を減らす
- 3 時差出勤の推進
- 4 バス専用・優先レーンの増設
- 5 バス停近くに駐輪場を整備する
- 6 商業施設の駐車場を活用し、車からバスに乗り継ぎしやすいようにする
- 7 バス停屋根の整備・バス停の増設などの環境整備
- 8 車やバスから鉄道へ乗り継ぎしやすい環境整備
- 9 道路に自転車レーンを設け、自転車の利用を促進する
- 10 その他 ( )

**【全体】**



「時差出勤の推進」の割合が37.8%で最も高く、次いで「車やバスから鉄道へ乗り継ぎしやすい環境整備」が27.2%、「道路に自転車レーンを設け、自転車の利用促進する」が26.4%と続いている。今後も時差出勤の民間事業者などに対する啓発や、車やバスから鉄道へ乗り継ぎしやすく、自転車でも移動しやすい環境の整備が求められる。

【地区別】



「時差出勤の推進」の割合は、地区を問わず高いが、都南地区や玉山地区では、特に「車やバスから鉄道への乗り継ぎしやすい環境整備」等の乗り継ぎ利用に関する対策を望んでいる。

※「その他」に記載された主なもの

- ・バスの運行本数の増
- ・運賃の値下げ
- ・信号機の改善
- ・地下鉄や路面電車の導入
- ・道路の拡幅や走行レーンの増設

【「その他」について】

鉄道やバスの運賃値下げや運行本数の増により、公共交通利用が増えるのではないかという意見が多かった。朝夕の通勤通学時間帯と日中の利用者の状況を考慮した運行体系の見直しを検討しながら、公共交通利用を促進する必要がある。

【性別、年代別、地区別の回答数】

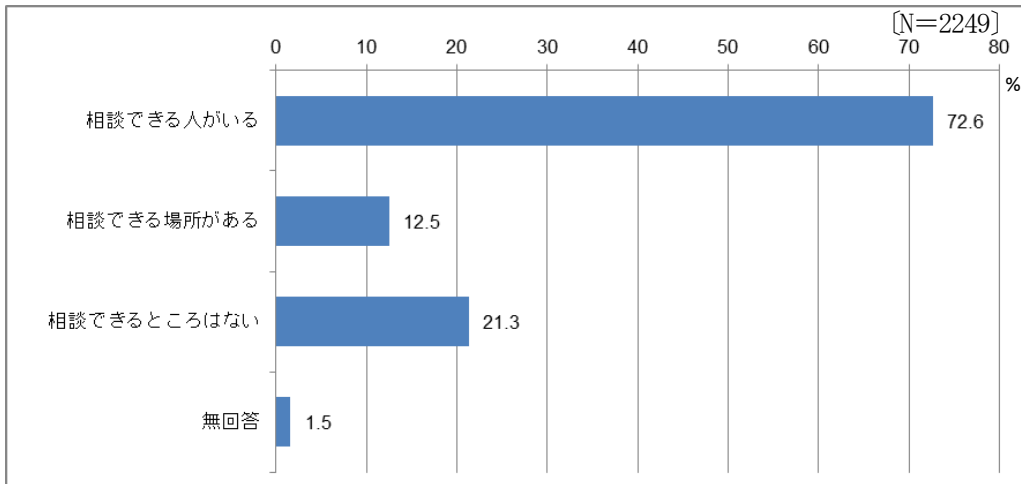
		実数	渋滞する地域への自動車の乗り入れ規制	ノーマイカー運動の推進により、送迎や通勤などの自動車の交通量を減らす	時差出勤の推進	バス専用・優先レーンの増設	バス停近くに駐輪場を整備する	商業施設の駐車場を活用し、車からバスに乗り継ぎしやす いようにする	バス停屋根の整備・バス停の増設などの環境整備	車やバスから鉄道へ乗り継ぎしやすい環境整備	道路に自転車レーンを設け、自転車の利用を促進する	その他	無回答
全	体	5002	470	463	849	397	401	516	428	611	594	177	96
性別	男	1684	193	172	307	138	107	172	104	205	187	80	19
	女	2098	146	199	359	159	195	226	215	263	243	65	28
	無回答	1220	131	92	183	100	99	118	109	143	164	32	49
年代	18～19歳	65	7	4	7	7	9	6	6	9	9	1	0
	20～29歳	291	14	19	53	27	30	31	30	45	33	8	1
	30～39歳	543	28	39	114	36	50	63	59	81	46	26	1
	40～49歳	648	49	67	123	36	56	64	54	86	74	34	5
	50～59歳	735	68	66	146	48	50	72	56	110	75	32	12
	60～69歳	788	86	94	129	57	64	97	54	83	99	20	5
	70歳以上	712	87	82	94	86	43	65	60	54	94	24	23
	無回答	1220	131	92	183	100	99	118	109	143	164	32	49
地区	河北	1141	108	122	216	94	87	121	91	117	126	42	17
	河南	503	47	51	79	41	51	46	53	39	64	27	5
	盛南	521	45	48	90	41	46	55	43	59	72	17	5
	厨川	786	71	79	140	54	63	78	73	108	87	24	9
	都南	682	57	53	112	59	49	78	52	115	72	27	8
	玉山	149	11	18	29	8	6	20	7	30	9	8	3
	無回答	1220	131	92	183	100	99	118	109	143	164	32	49

## 《テーマ5 こころの健康づくりについて》

**問 25** あなたは、悩みや問題を抱えたとき相談できるところ（人や場所）がありますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

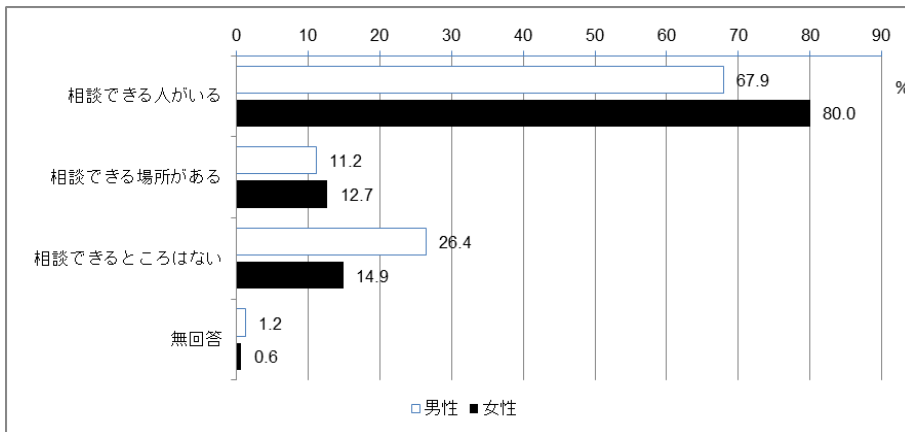
- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1 相談できる人がいる   | 2 相談できる場所がある |
| 3 相談できるところはない |              |

### 【全体】



「相談できる人がいる」の割合が72.6%と高く、「相談できる場所がある」は12.5%となっている。約8割の方が悩んだときに相談や援助をまわりに求めることができていることが分かった。

### 【性別】

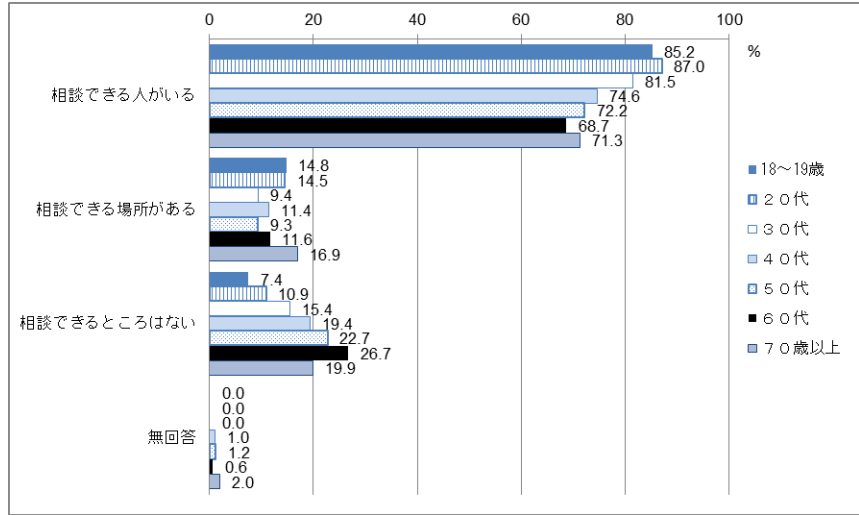


「相談できる人がいる」の割合は女性が80.0%と男性より12.1ポイント上回っている。女性の8割は相談できる場所があることが分かる。それに対し、男性の26.4%が「相談できるところはない」と回答しており、女性より11.5ポイント上回っている。

**【年代別】**

「相談できる人がいる」の割合は低い年代に高く、20代が87.0%、30代が81.5%と高い傾向を示し、年代が上がるにつれ割合が低くなる傾向にあり、60代が68.7%と最も低くなっている。

「相談できる場所がある」の割合が最も高かったのは70歳以上で16.9%だった。



**【性別, 年代別, 地区別の回答数】**

		実数	相談できる人がいる	相談できる場所がある	相談できるところはない	無回答
全 体		2427	1633	281	480	33
性別	男	809	515	85	200	9
	女	1008	745	118	139	6
	無回答	610	373	78	141	18
年代	18~19歳	29	23	4	2	0
	20~29歳	155	120	20	15	0
	30~39歳	270	207	24	39	0
	40~49歳	318	223	34	58	3
	50~59歳	353	242	31	76	4
	60~69歳	354	226	38	88	2
	70歳以上	338	219	52	61	6
	無回答	610	373	78	141	18
地区	河北	555	394	77	78	6
	河南	237	156	18	60	3
	盛南	254	183	27	44	0
	厨川	381	258	42	79	2
	都南	317	224	31	59	3
	玉山	73	45	8	19	1
	無回答	610	373	78	141	18

**【全体を通して】**

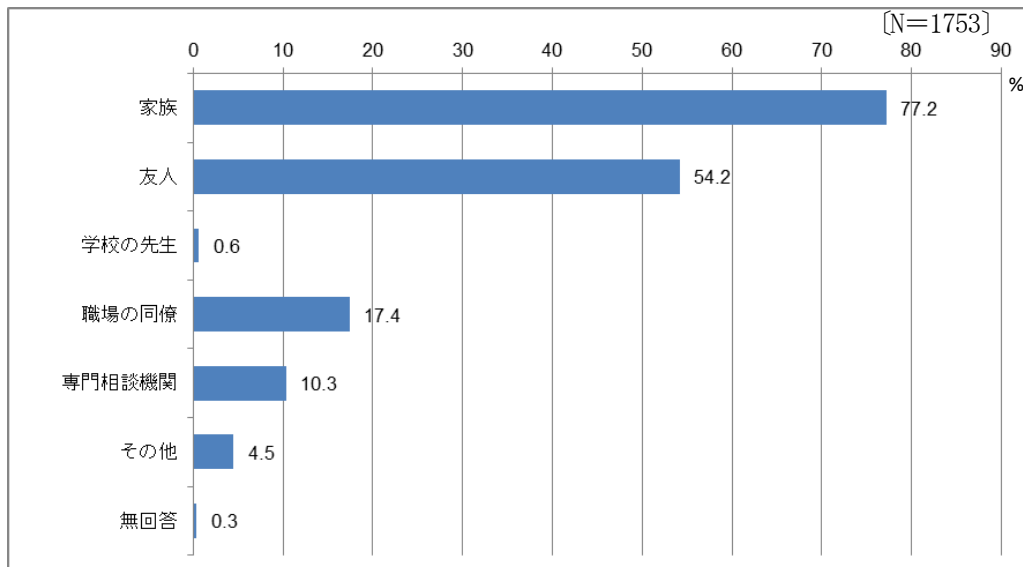
回答者2,249人のうち、約2割に当たる480人が「相談できるところはない」と回答している。性別では男性に多く、年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向がうかがえた。

悩みを抱えた男性や高齢者が必要時相談できるよう、相談窓口を広く周知して行く必要がある。

**問 26** 問 25 で「1 相談できる人がいる」「2 相談できる場所がある」を選んだ方にお聞きします。相談できる人はどなたですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

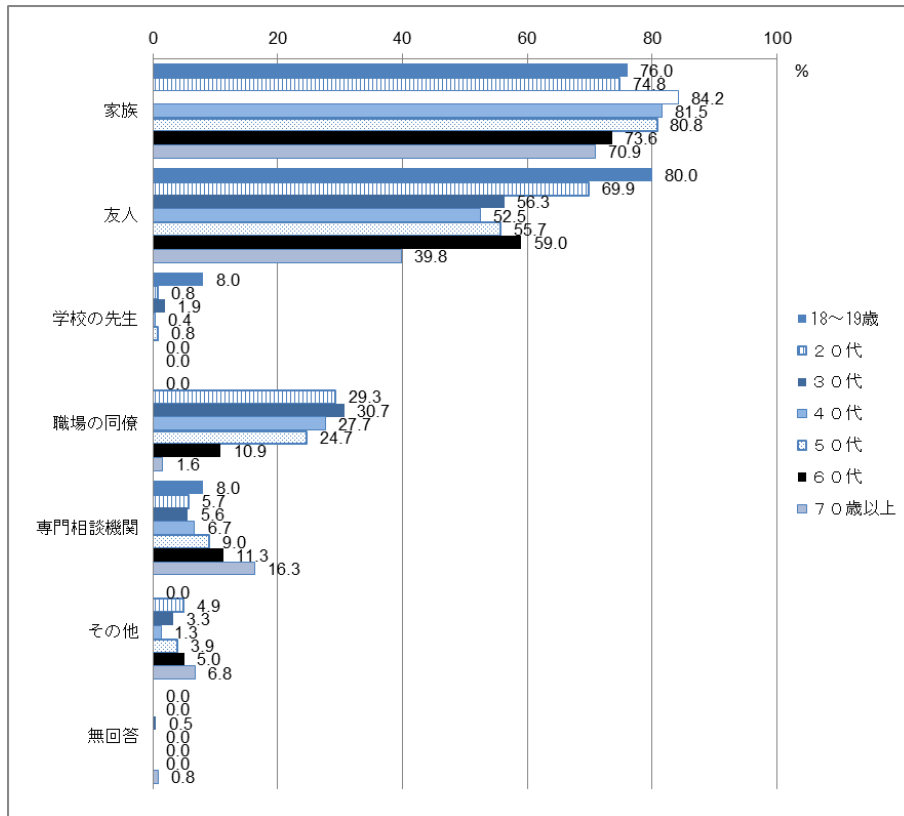
- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 家族     | 2 友人      |
| 3 学校の先生  | 4 職場の同僚   |
| 5 専門相談機関 | 6 その他 ( ) |

**【全体】**



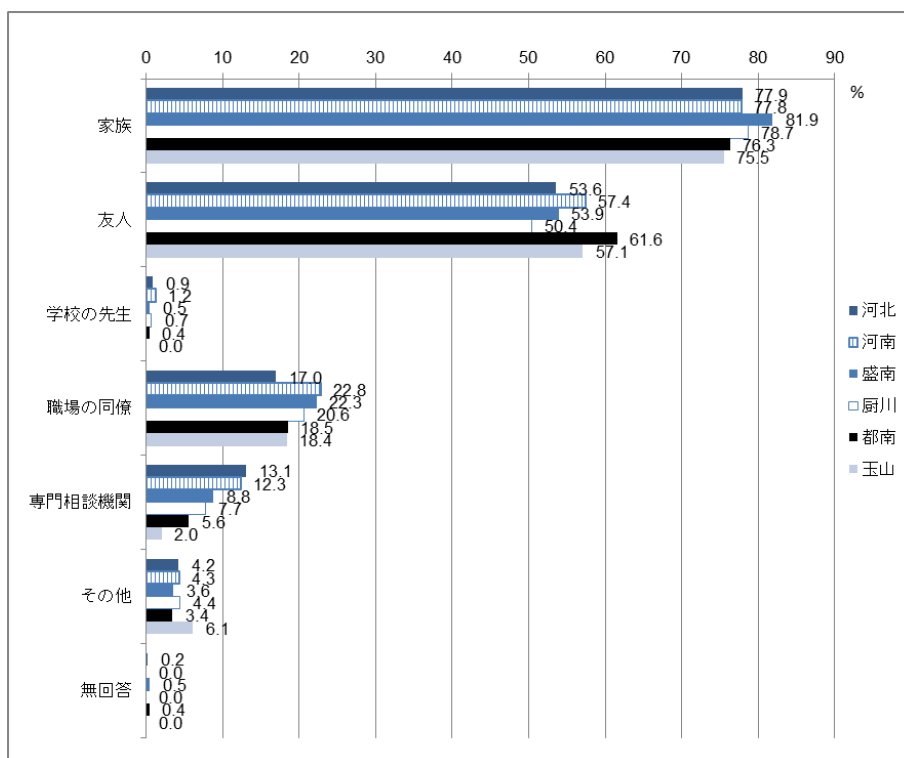
「家族」の割合が77.2%と最も高く、次いで「友人」が54.2%、「職場の同僚」が17.4%だった。「学校の先生」は0.6%と低い結果であったが、これは調査対象者が18歳以上であるためと思われる。

### 【年代別】



「家族」の割合は30代から50代で8割を超えていた。「友人」は20代以下が約7割以上と低い年代において高い傾向だった。「専門相談機関」の割合は70歳以上で16.3%と他の年代に比べ高い傾向にあることが分かった。

### 【地区別】



「家族」の割合が盛南地区で81.9%と高い傾向があり、「専門相談機関」の割合は、市内中心部から離れた地区では低い傾向がうかがえた。都南・玉山地区における相談窓口の啓発が必要である。

※「その他」に記載された主なもの

- ・親戚
- ・病院（かかりつけ医）
- ・近所の人

【全体を通して】

大半の人が、悩んだ時は家族や友人に相談している。年代が上がると、家族以外に専門機関の相談割合が高くなっており、介護や介護予防を通じた地域包括支援センターなど専門機関が身近な相談になっているのではないかと考えられる。

【性別，年代別，地区別の回答数】

		実数	家族	友人	学校の先生	職場の同僚	専門相談機関	その他	無回答
全 体		2883	1353	950	11	305	180	79	5
性別	男	884	418	269	3	110	65	18	1
	女	1354	628	466	7	151	63	37	2
	無回答	645	307	215	1	44	52	24	2
年代	18～19 歳	43	19	20	2	0	2	0	0
	20～29 歳	228	92	86	1	36	7	6	0
	30～39 歳	392	181	121	4	66	12	7	1
	40～49 歳	405	194	125	1	66	16	3	0
	50～59 歳	446	206	142	2	63	23	10	0
	60～69 歳	382	176	141	0	26	27	12	0
	70 歳以上	342	178	100	0	4	41	17	2
	無回答	645	307	215	1	44	52	24	2
地区	河北	716	334	230	4	73	56	18	1
	河南	285	126	93	2	37	20	7	0
	盛南	331	158	104	1	43	17	7	1
	厨川	442	214	137	2	56	21	12	0
	都南	386	177	143	1	43	13	8	1
	玉山	78	37	28	0	9	1	3	0
	無回答	645	307	215	1	44	52	24	2

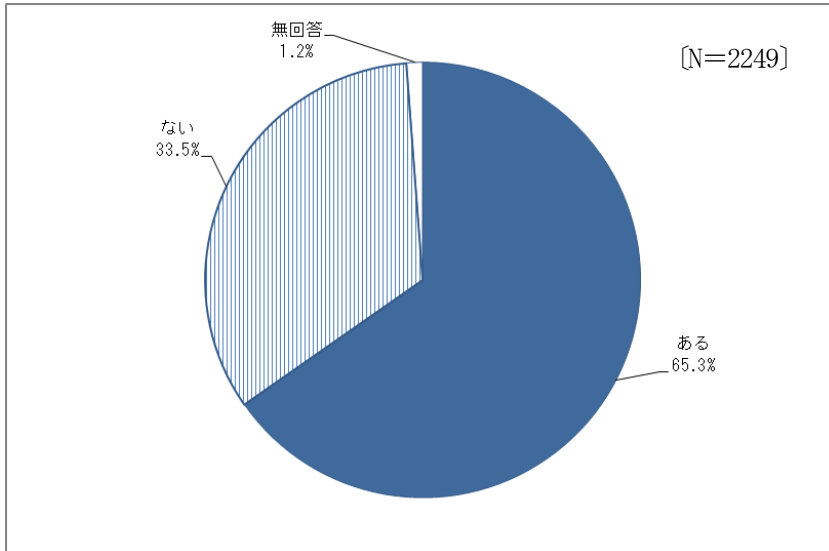


**問 27** あなたは、悩んでいる人の相談を受けたことがありますか。当てはまるもの1つに〇を付けてください。

1 ある

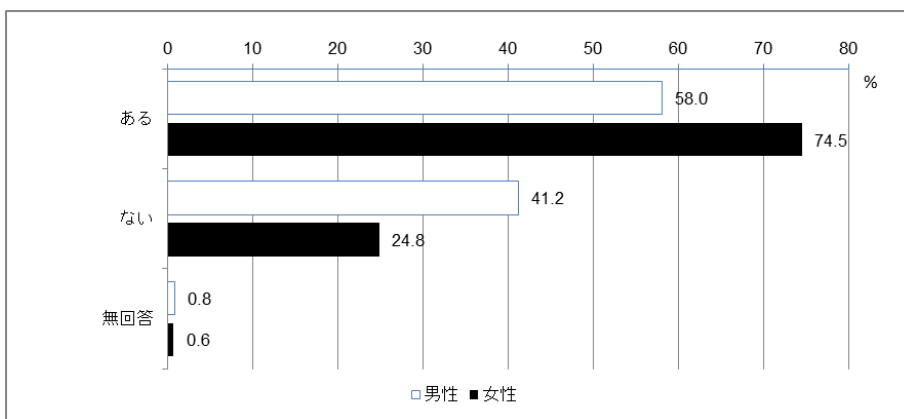
2 ない

**【全体】**



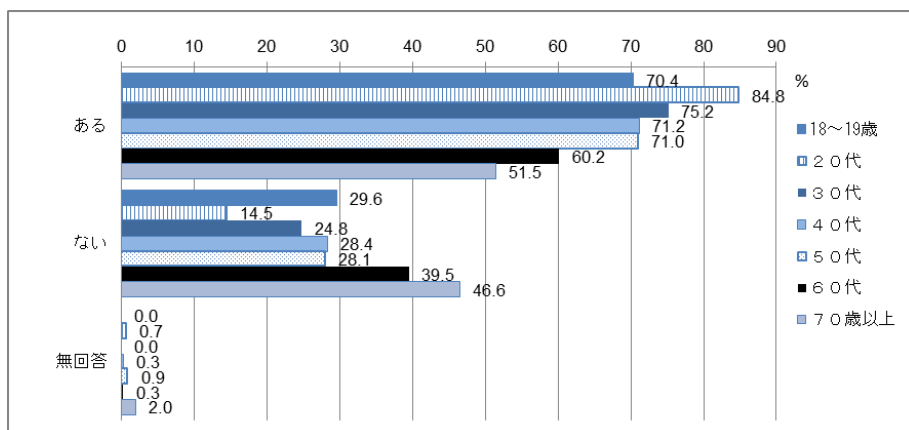
「ある」の割合は65.3%、「ない」は33.5%だった。悩みを抱えた人が地域とのつながりを持ち、生活、相談できるような支援体制が望まれる。

**【性別】**



「ある」の割合は、女性が74.5%で男性より16.5ポイント高かった。

### 【年代別】



「ある」の割合が20代で84.8%と高く、「ない」が70歳以上で46.6%と高かった。年代が上がると、他者の悩みを聞く機会が少なくなっている傾向がうかがえた。

### 【全体を通して】

相談体制の現状を見直し、相談しやすい体制づくりの充実が望まれる。

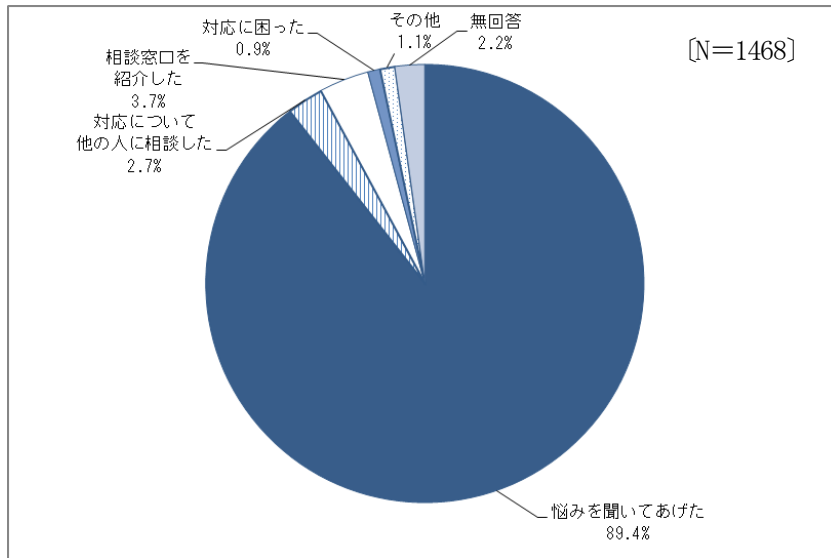
### 【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	ある	ない	無回答
全 体		2249	1468	753	28
性別	男	758	440	312	6
	女	931	694	231	6
	無回答	560	334	210	16
年代	18～19歳	27	19	8	0
	20～29歳	138	117	20	1
	30～39歳	254	191	63	0
	40～49歳	299	213	85	1
	50～59歳	335	238	94	3
	60～69歳	329	198	130	1
	70歳以上	307	158	143	6
	無回答	560	334	210	16
地区	河北	513	335	174	4
	河南	225	150	74	1
	盛南	237	170	67	0
	厨川	351	226	122	3
	都南	294	210	80	4
	玉山	69	43	26	0
	無回答	560	334	210	16

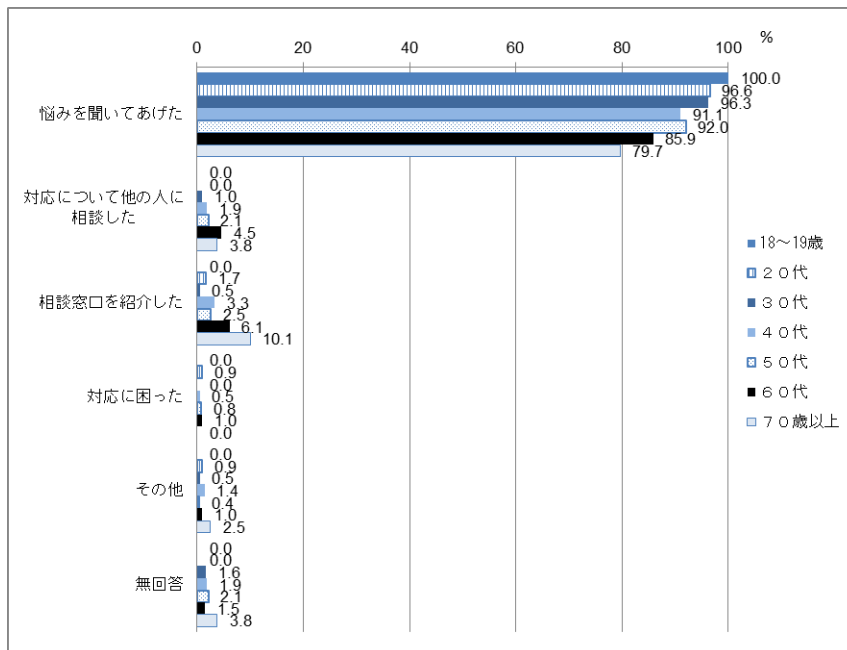
**問28** 問27で「1 ある」を選んだ方にお聞きします。あなたは、悩みを相談されたときどう対応しましたか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1 悩みを聞いてあげた | 2 対応について他の人に相談した |
| 3 相談窓口を紹介した | 4 対応に困った         |
| 5 その他 ( )   |                  |

**【全体】**



「悩みを聞いてあげた」の割合が89.4%と最も高く、次いで「相談窓口を紹介した」が3.7%、「対応について他の人に相談した」が2.7%だった。大半の方が、傾聴したり、相談に乗ったりすることができていた。対応に困った人は少なく、全体で0.9%であった。



**【年代別】**

「悩みを聞いてあげた」の割合は低い年代において高い傾向が見られた。

「対応について他の人に相談した」や「相談窓口を紹介した」の割合は、60代以上で高くなる傾向が見られた。高齢になるほど相談を受けるより相談先を紹介する傾向が見られた。

※「その他」に記載された主なもの

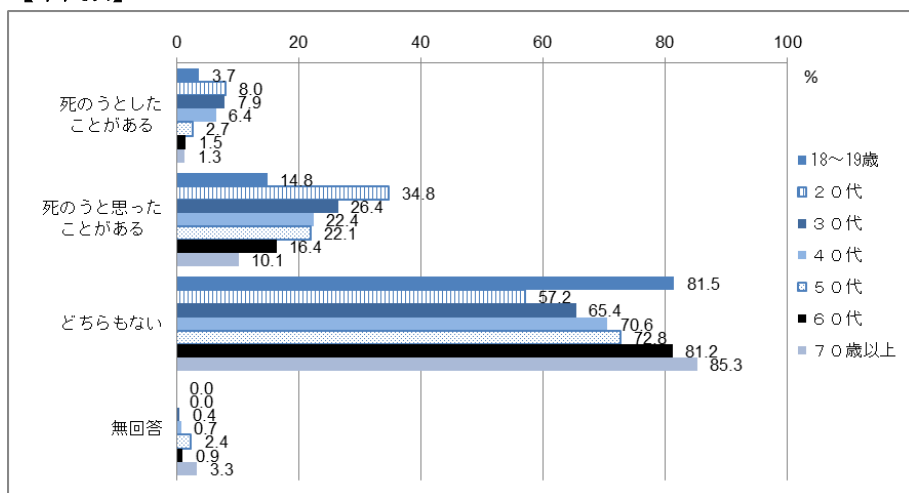
- ・助言をした
- ・傾聴した

【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数 (人)	悩みを聞いてあげた	対応について他の人に相談した	相談窓口を紹介した	対応に困った	その他	無回答
全 体		1468	1314	39	54	13	16	32
性別	男	440	387	11	21	4	6	11
	女	694	638	15	23	2	6	10
	無回答	334	289	13	10	7	4	11
年代	18～19 歳	19	19	0	0	0	0	0
	20～29 歳	117	113	0	2	1	1	0
	30～39 歳	191	184	2	1	0	1	3
	40～49 歳	213	194	4	7	1	3	4
	50～59 歳	238	219	5	6	2	1	5
	60～69 歳	198	170	9	12	2	2	3
	70 歳以上	158	126	6	16	0	4	6
	無回答	334	289	13	10	7	4	11
地区	河北	335	299	6	14	3	2	11
	河南	150	134	2	8	1	3	2
	盛南	170	149	4	10	2	2	3
	厨川	226	209	7	6	0	2	2
	都南	210	194	5	6	0	3	2
	玉山	43	40	2	0	0	0	1
		無回答	334	289	13	10	7	4



### 【年代別】



「死のうと思ったことがある」の割合は、20代が34.8%、30代が26.4%で、低い年代に希死念慮が高い傾向が見られた。低い年代に対し悩んだ時の相談窓口の啓発が必要と思われる。また、小さい時期からこころの健康教育をすすめることが必要と思われる。

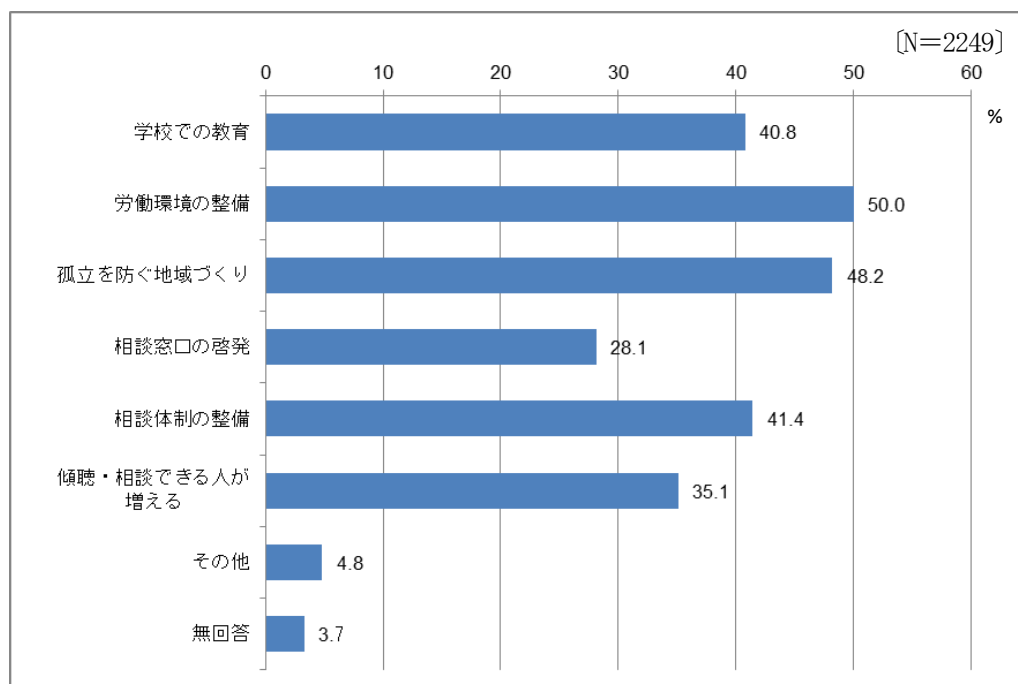
### 【性別，年代別，地区別の回答数】

		実数 (人)	死のうとしたことがある	死のうと思ったことがある	どちらもない	無回答
全 体		2249	89	460	1654	46
性別	男	758	32	129	590	7
	女	931	37	216	661	17
	無回答	560	20	115	403	22
年代	18～19歳	27	1	4	22	0
	20～29歳	138	11	48	79	0
	30～39歳	254	20	67	166	1
	40～49歳	299	19	67	211	2
	50～59歳	335	9	74	244	8
	60～69歳	329	5	54	267	3
	70歳以上	307	4	31	262	10
	無回答	560	20	115	403	22
地区	河北	513	16	95	398	4
	河南	225	8	48	163	6
	盛南	237	11	55	171	0
	厨川	351	15	68	261	7
	都南	294	16	68	204	6
	玉山	69	3	11	54	1
	無回答	560	20	115	403	22

**問 30** あなたは、こころの健康づくりの効果をあげるために有効と思われるものはありますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1 学校での教育     | 2 労働環境の整備       |
| 3 孤立を防ぐ地域づくり | 4 相談窓口の啓発       |
| 5 相談体制の整備    | 6 傾聴・相談できる人が増える |
| 7 その他 ( )    |                 |

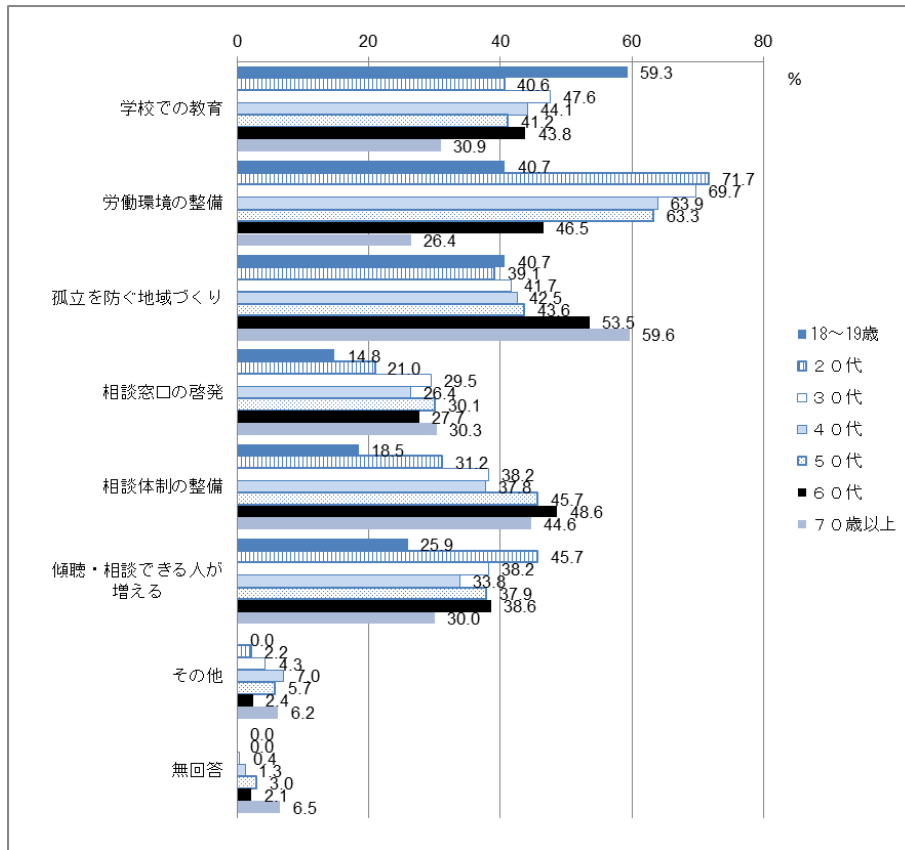
**【全体】**



「労働環境の整備」の割合が 50.0%で最も高く、次いで「孤立を防ぐ地域づくり」が 48.2%、「相談体制の整備」が 41.4%、「学校での教育」が 40.8%であった。

支援機関や人材に関することについては「相談窓口の啓発」の割合が 28.1%、「傾聴・相談できる人が増える」が 35.1%であった。

## 【年代別】



「労働環境の整備」の割合は、20代が71.7%と高く、次いで働き世代の30代から50代で6割以上と高い傾向が見られた。

「孤立を防ぐ地域づくり」の割合は、50代以下が4割前後であるのに対し、60代が53.5%、70歳以上が59.6%と高い傾向が見られた。

「相談体制の整備」の割合は、50代以上になると4割以上が必要と感じている。

### ※「その他」に記載された主なもの

- 地域における交流の場や社会全体に対する意見
  - ・気兼ねなく過ごせる公共の場
  - ・挨拶や声かけ
- 親子の関わりや友人関係についての意見
  - ・親子教室、家庭教育
  - ・友人をつくる
- 行政や制度についての意見
  - ・行政の窓口対応の向上
  - ・経済支援による生活向上
- 健康づくりについての意見
  - ・からだを鍛える
  - ・ストレス発散の場



【性別、年代別、地区別の回答数】

		実数	学校での教育	労働環境の整備	孤独を防ぐ地域づくり	相談窓口の啓発	相談体制の整備	傾聴・相談できる人が増える	その他	無回答
全 体		5673	918	1125	1085	632	931	789	109	84
性別	男	1880	302	414	334	212	325	247	34	12
	女	2466	400	510	469	260	383	367	47	30
	無回答	1327	216	201	282	160	223	175	28	42
年代	18～19 歳	54	16	11	11	4	5	7	0	0
	20～29 歳	347	56	99	54	29	43	63	3	0
	30～39 歳	685	121	177	106	75	97	97	11	1
	40～49 歳	768	132	191	127	79	113	101	21	4
	50～59 歳	906	138	212	146	101	153	127	19	10
	60～69 歳	866	144	153	176	91	160	127	8	7
	70 歳以上	720	95	81	183	93	137	92	19	20
	無回答	1327	216	201	282	160	223	175	28	42
地区	河北	1344	222	278	261	148	217	187	21	10
	河南	572	88	124	100	70	89	82	15	4
	盛南	614	102	124	114	66	96	99	10	3
	厨川	879	141	200	156	97	150	111	13	11
	都南	762	120	158	144	75	126	109	19	11
	玉山	175	29	40	28	16	30	26	3	3
	無回答	1327	216	201	282	160	223	175	28	42

第 22 回市民意識調査結果報告書  
平成 30 年 1 月発行

発行・編集 盛岡市市長公室広聴広報課  
〒020-8530 盛岡市内丸 12 番 2 号  
電話 (019) 626-7517 (直通)

この報告書は再生紙を使用しています。